

- このたびは、当社製品をお買いあげいただきましてまことにありがとうございます。
- この取付説明書に示した表示記号の内容は、製品を安全に正しく施工していただき、施主様等の危害や損害を未然に防止するためのものです。
表示記号の内容を良く理解したうえで、本書の内容（指示）にしたがってください。
- この取付説明書では、次のような記号を使用しています。

安全に関する記号 記号の意味

-  **警告** ●取扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負うおそれのある内容を示しています。
-  **注意** ●取扱いを誤った場合に、使用者が中・軽傷を負うおそれのある内容、または物的損害のおそれがある内容を示しています。

一般情報に関する記号

-  **ポイント**
 - 取付手順で、特に注意して作業をしていただきたいことを示しています。
 - 守っていただかないと組付けができない内容、または製品全体に後々不具合が発生するおそれのある内容を示しています。
- ※
 - 取付説明の内容全体（個々の説明枠）にかかる注意事項を示しています。
 - 取付説明の内容に制限がある場合の条件を示しています。
-  **補足** ●説明の内容で知っておくと便利なことを示しています。

※製品破損、倒壊による人への危害・物的損害が想定されますので、下記事項をお守りください。

<施工の前に>

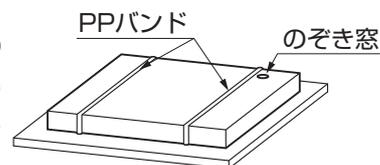
注意

- 製品の施工には、危険を伴う場合がありますので、必ず専門の工事業者による施工をお願いします。
- 製品の施工は、2人以上の作業で行ってください。

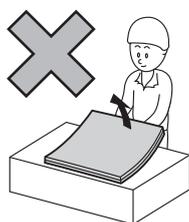
ポイント

セラミックタイルの荷扱いの方法

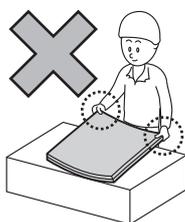
- セラミックタイルが納品後、保管場所への移動や施工に入る前に必ず開梱し中身の状態（割れ・欠けがないか）を確認してください。納品後の損傷は免責とさせていただきます。お取り扱いには十分注意してください。この時、必ず水平な作業台などの上に、「のぞき窓」が上になるように置き安定した状態で開梱してください。
- 梱包を再利用する場合は、丁寧に開梱してください。
- パレットからタイルを運び出す際は、PPバンドをつかんで持ち上げないでください。
- 梱包は2枚入りで、一枚の重さは約13kgです。運搬は2人以上で縦持ちで行ってください。梱包単位で運搬する場合は、必ず1梱包ずつ運搬してください。
- 運搬時、開梱時ともにたわむような持ち方はしないでください。



開梱し、中身の状態を確認



× タイルの片側のみ持ち上げる



× タイルの角部を持つ



2人以上で、縦持ち運搬

<施工の前に つづき>

🔑 ポイント

- 正しく施工、組付けをするために、施工前に必ず取付説明書をお読みください。
- 製品の施工については、必ず取付説明書にしたがってください。
- 施工終了後、取扱説明書は施主様にお渡しください。
- 梱包明細表で必要な部材、部品が揃っているか確認してください。
- 施工手順は、「Gフレーム 取付説明書 (E248) G取付説明書区分表」で使用する取付説明書を確認してください。
- 使用するシーリング剤は、以下のアルコール系シーリング剤を現場で手配してください。
 - ・信越化学工業(株)「シーラント72」・GE東芝シリコン(株)「トスシール380」・ダウ東レ(株)「SE960」

<施工上のご注意>

⚠️ 注意

- ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を確実に締付け、固定してください。
- アルミ製品が異種金属と接触する場合は、絶縁処理をしてください。
- 製品の改造は絶対にしないでください。
- 施工終了後は、ボルト、ネジなどにゆるみがないか確認してください。

🔑 ポイント

- 施工工事にあたっては、安全に施工を行なってください。
 - ・作業服および保護具(保護帽、安全帯、眼、手、足の保護具)を正しく使用してください。
 - ・作業場所の整理整頓を行なうとともに、安全確保を行なってください。
特に高所作業での安全確保、倒壊防止、照明による照度の確保など。
 - ・器具、工具、保護具などの機能を確認し、使用してください。
 - ・作業は、相互の作業と各作業工程を考慮して進めてください。免許、技能講習、特別教育が必要な作業は、有資格者が行なってください。
 - ・作業者が相互に安全確認を行なってください。健康状態を十分に確認し、健康管理を実施してください。
 - ・万が一、事故が発生した際には、直ちに手当を行ない、救助を第一に心がけてください。
- 取付説明書の順序通りに組付けてください。製品の強度など、性能が低下する場合があります。
- 施工中についた汚れは取除き、誤ってキズをつけた場合は補修塗料で補修してください。
- 製品の強度低下、またはケガの原因になりますので、ボルト、ネジは弊社純正品の規定本数を使い、下記の推奨締付けトルクで固定した後にゆるみがないか確認してください。
 - ・φ4ネジ：2.5N・m±0.5N・m(25±5kgf・cm) ・φ5ネジ：3.0N・m±0.5N・m(30±5kgf・cm)

<基礎工事についてのご注意>

⚠️ 注意

- 基礎は弊社指定の寸法以上にしてください。強度低下の原因になります。
- 寒冷地で凍上するおそれのある地域で使用する場合は、凍上線の下まで基礎を設けてください。強度低下の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液が、施工中に製品に付着しないように注意してください。抽出液は強アルカリ性で、シミやムラなどの外観不良の原因になります。
- 製品の表面に付着したモルタルやコンクリートなどは、速やかに拭き取ってください。
- 養生期間は十分にとり、その間に重い物をのせたり、振動を与えないでください。

🔑 ポイント

- コンクリート(またはモルタル)には、塩分を含む砂(海砂)および塩素系や強アルカリ系のコンクリート用混和剤(凍結防止剤、凝固促進剤、急結剤など)は使用しないでください。使用するとアルミなどの金属が腐食する原因になります。必要な場合は非塩素系や非アルカリ系の混和剤をご使用ください。

<仕上げ材(タイル)施工のご注意>

警告

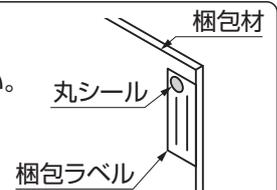
- モルタルにてタイル張りする「モルタル張り工法」は絶対に行なわないでください。はく離や脱落してケガに至るおそれがあります。またヒビ割れが発生することにより、躯体内部に雨水が浸入して躯体を劣化させるおそれがあります。

注意

- 本工事は、専用乾式下地に専用タイルを専用接着剤で張付ける「接着剤張り工法」を採用しています。この工法以外では仕上げ材施工を行なわないでください。
- 取付説明書の順序通りに施工してください。所定の性能が得られないだけでなく、はく離や脱落してケガに至る場合があります。

ポイント

- タイルの梱包ラベルに貼られた「丸シール」の色が異なる梱包を同一製品に張り付ける場合は、施工前にタイルを仮並べして、色合い・模様の問題がないことを確認してから施工してください。
- 施工にあたっては、必ず使用する材料に付属する注意書きや取付説明書にしたがってください。



INDEX

※後付けポスト・スマート宅配ポストTA型・ボックスセットKN型・サイン・インターホン・照明を取付ける場合は、必ず先に本書の取付けページと該当商品の取付説明書を参照してください。本書の取付けページや該当商品の取付説明書を見落とすと、取付けができない場合があります。

1 施工前の重要確認事項	5	9 150角フレーム・150角柱の下地材の取付け	53
1. 柱・フレーム施工状態の確認.....	5	1. 150角フレーム・150角柱のGウォールの納まり... 53	
2. 施工条件.....	6	2. パネル取付部材の取付け.....	55
3. ラッピングボード・下地ボード・セラミックタイルの取扱いについて	10	3. 巾木の取付け.....	55
4. Gルーフリータイプと併用し、化粧樋(外側排水用)を使用する場合...	11	4. 中間支柱とフレームの取付け.....	56
5. 化粧樋の納まり.....	13	5. 基礎の打設.....	56
6. Gルーフリータイプと併用し、天井ボード材を使用する場合.....	15	6. ラッピングボード取付用両面テープの取付け... 57	
2 梱包明細表	17	10 後付けポストの取付け	58
3 基本パターン	20	1. 各種ボードの加工と取付け.....	58
4 基本寸法と各部の名称	21	11 宅配ポスト・宅配ボックス取付枠の取付け	61
1. 各部名称.....	21	1. 取付枠の組立て.....	61
2. 基本寸法.....	23	2. 取付枠の施工.....	62
3. 基礎寸法.....	28	12 ふかし壁の取付け	65
5 配線工事	29	1. Gウォールの壁下地作業.....	65
6 取付け前の準備	30	2. 電源ケーブルの取回し(ビームラインライトを取付ける場合)...	66
1. 部材の加工.....	30	3. ラッピングボード取付用両面テープの取付け...	67
2. 部品の取付け・組付け.....	32	4. ラッピングボードまたはタイル用下地材の貼付け...	67
7 Gフレームへの取付け(単独仕様の場合)	33	5. ふかし壁の取付け.....	68
1. 巾木と下枠の取付け.....	33	13 タイル用下地ボードの取付け	73
2. 中間支柱とフレームの取付け.....	36	14 施工仕上げ：ラッピングボードの取付け	74
3. 中間柱ふかし材の取付け.....	36	1. ラッピングボードの加工と取付け.....	74
4. 端部小口セットAの取付け.....	37	15 仕上げの施工：セラミックタイル仕上げ	75
5. 上部見切り材の取付け(ラッピングボード仕様の場合)...	38	1. 施工フロー.....	75
6. 端部小口セットBの取付け(タイルを小口に貼る場合)...	39	2. 施工部材の準備と施工面の確認(養生).....	76
7. 上部見切り材の取付け(セラミックタイル仕様の場合)...	40	3. タイル取付位置の墨出し.....	78
8 Gウォールコーナー仕様下地取付け(ラッピングボードとセラミックタイルの場合) ...	41	4. タイルの切断と加工.....	79
1. 基本構造.....	41	5. 土間・巾木への養生.....	82
2. コーナーの作成と墨出し.....	41	6. カートリッジガンの準備.....	82
3. 巾木出隅コーナー部品の取付け.....	42	7. セラミックタイルの取付け.....	83
4. 巾木の取付け.....	43	8. 下段タイルの養生.....	86
5. 下枠の取付け.....	45	9. 上段タイルの張付け.....	86
6. 中間支柱とフレームの取付け.....	46	10. セラミックタイルの目地詰め・シーリング・仕上げ作業.....	88
7. 中間柱ふかし材の取付け.....	47	16 サイン取付け	89
8. 入隅コーナー部材の取付け.....	48	1. サイン取付時の確認事項.....	89
9. 出隅コーナー部材の取付け(ラッピングボード仕様・セラミックタイル仕様)...	49	2. 施工時に取付けが必要なサインの場合.....	89
10. 上部出隅コーナー部品の取付け.....	49	3. 施工後に取付けが可能なサインの場合.....	89
11. 上部見切り材の取付け(出隅).....	50	17 インターホンと照明器具の取付け	90
12. 上部見切り材の取付け(入隅).....	50	18 水抜き穴の加工	90
13. 端部見切り材の取付け(ラッピングボード仕様の場合)...	51	19 シーリング	91
14. タイル小口巾木の取付け(セラミックタイル仕様の場合)...	52		
15. タイル用端部ふかし材の取付け.....	52		

1 施工前の重要確認事項

1. 柱・フレーム施工状態の確認

※施工時には下記の事項を厳守してください。
 ※Gウォールの構造は、Gフレームのフレームと柱を使用した製品です。
 Gフレームと柱の施工は、Gフレームの取付説明書 (E248)を参照してください。
 ※Gウォールの施工時には、フレームカバーは使用しません。

1-1 柱の確認 (図はGフレーム標準と90角柱施工の場合を示す)

(Gウォールの施工は150フレームと150角柱の施工の場合もあります)

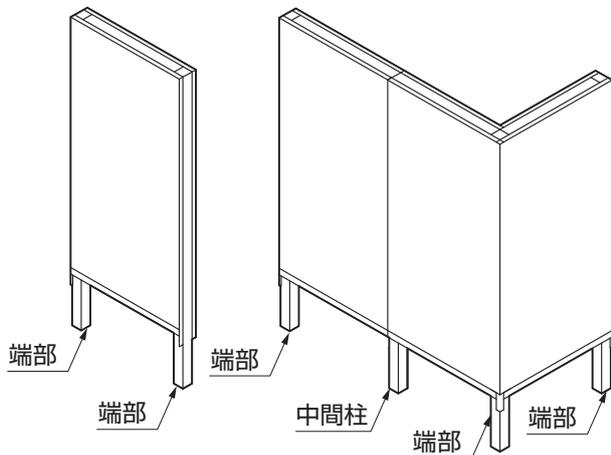


図1-1
ラッピングボード仕様
の場合

図1-2
ラッピングボード仕様
コーナーの場合

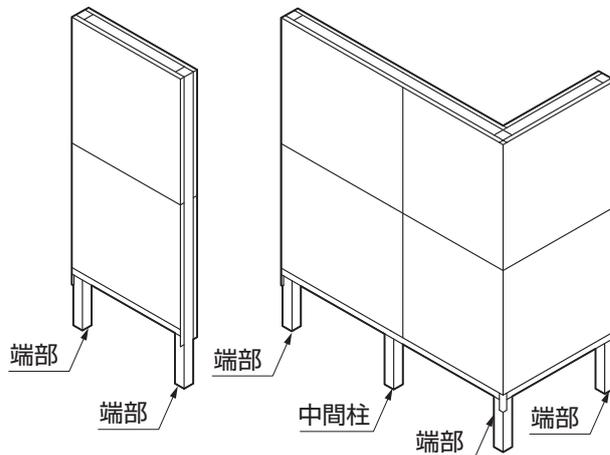


図1-3
タイル仕様の場合

図1-4
タイル仕様
コーナーの場合

表1-1

		H24		H29	
		柱		柱	
		端部	中間	端部	中間
G ウォール	W10	○	○	○	○
	W20	○	○	○	○
	W30	○	○	○	○

1-2 フレームの施工寸法の確認

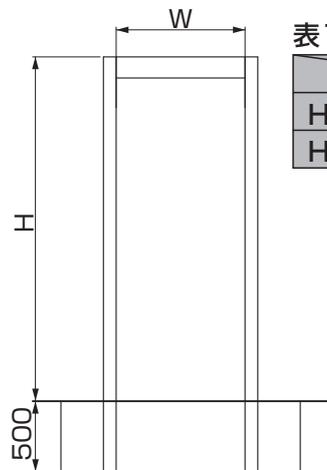


図1-5 標準仕様の場合

表1-2

		H
H24	標準と150角	2450
H29	標準と150角	2905

表1-3

	W
W10	910
W20	1910
W30	2910

●コーナー施工の場合、W10時のW寸法は887にしてください。
 (150角柱仕様の場合もW寸法は同じです)

ポイント

●フレーム施工寸法を確認してください。

1-3 基礎について

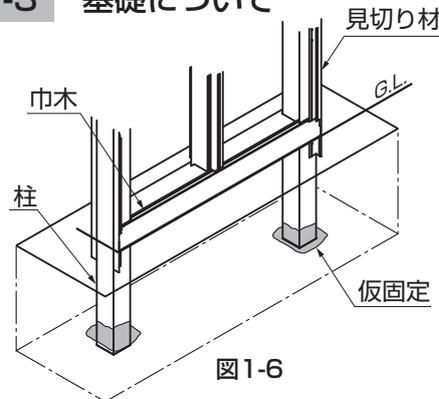


図1-6



表1-4 施工の流れ

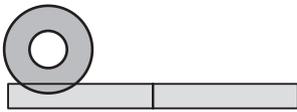
ポイント

●柱の基礎打設前であることを確認してください。
 基礎打設後の場合、見切り材、巾木、柱の取付けができません。

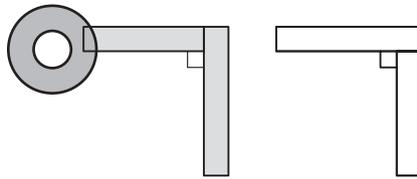
2. 施工条件

2-1 Gウォール共通

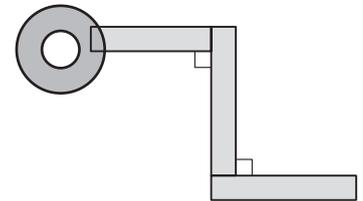
(1) 直線連結



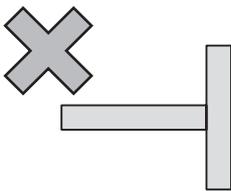
(2) L字連結 ※90°のみ



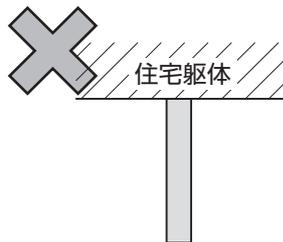
(3) Z字連結 ※90°のみ



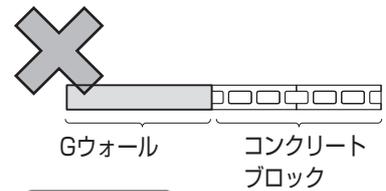
(4) T字連結



(5) 住宅接続



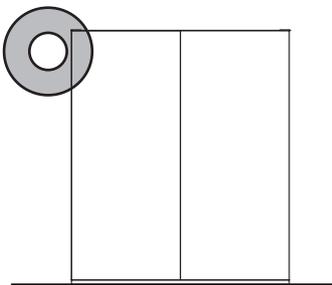
(6) コンクリートブロック積接続



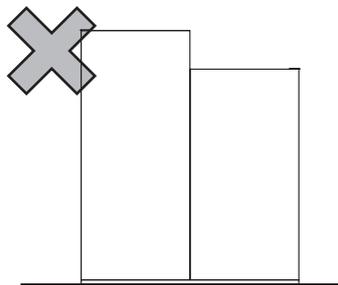
ポイント

●その他RC造、木軸などの構造への接続もできません。

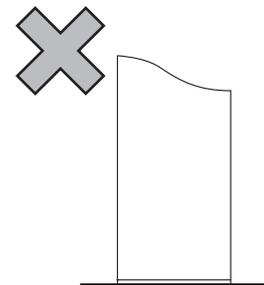
(7) 同一高さ施工



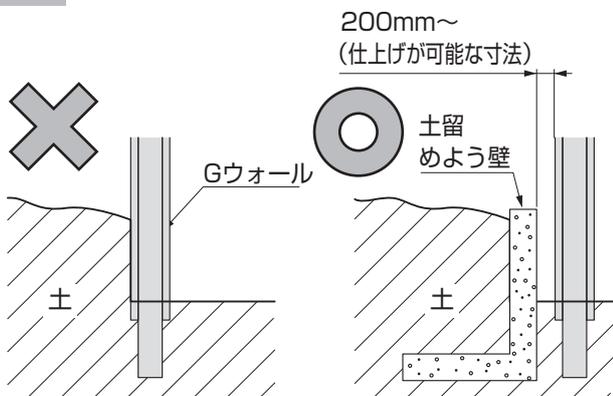
(8) 高さ段違い施工



(9) 曲線カット施工



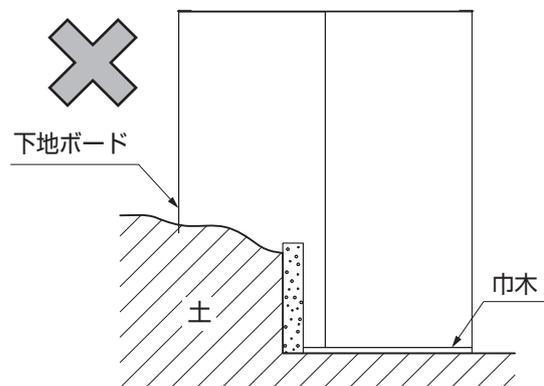
2-2 土留め施工



ポイント

●Gウォールは土留めとしての使用はできません。別途土留めよう壁を設置してください。

2-3 埋め込み



ポイント

●下地ボード、巾木部分は埋め込みはできません。

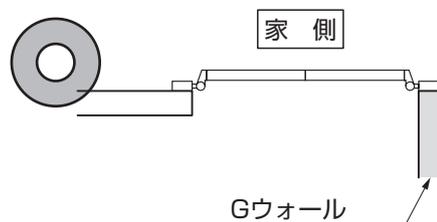
2. (つづき)

2-4 門扉納まり

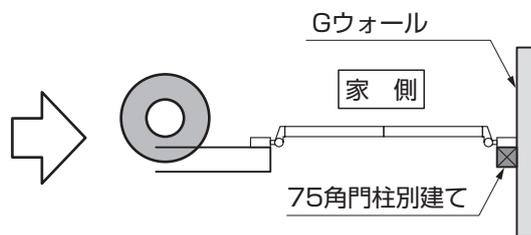
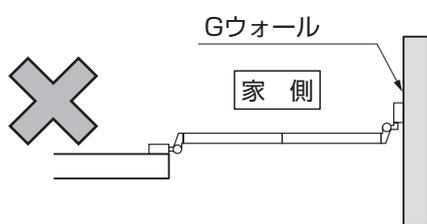
(1) 基本納まり



(2) I型 (家側) 納まり



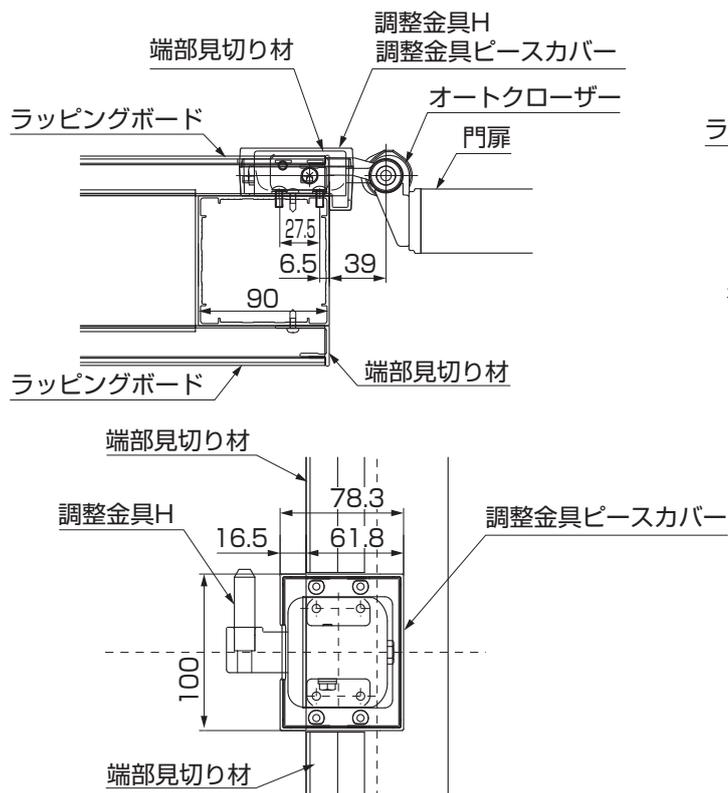
(3) T型納まり



2-5 調整金具の納まり

Gウォール (90角柱) 調整金具H使用の場合

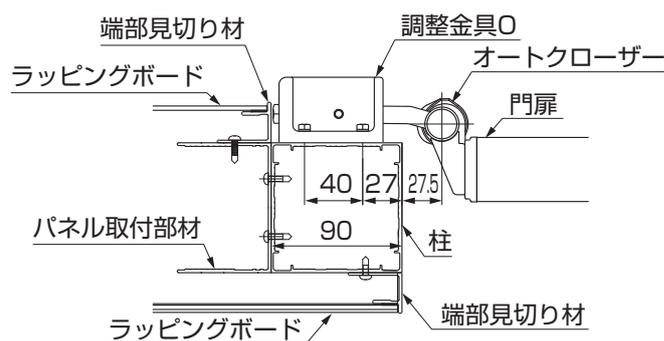
※図はラッピングボードの場合を示しますが、セラミックタイルの場合は、端部見切り材(小口セットA)ではなく端部ふかし材(小口セットB)を使用して柱側面にセラミックタイルを貼ることも可能です。



Gウォール (90角柱) 調整金具O使用の場合

※図はラッピングボードの場合を示しますが、セラミックタイルも同様に端部見切り材(小口セットA)使用の納まりとなります。

※調整金具Oを使用の場合は、調整金具カバーは付きません。



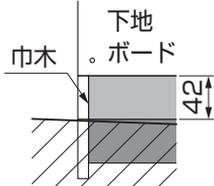
ポイント

- 調整金具Hを使用してピースカバーを使用する場合は、端部見切り材をピースカバーの高さ分切断加工して取付けてください。
- ラッピングボードやセラミックタイルを取付る時、ピースカバー分切り欠き加工をして取付けてください。
- 調整金具の取付けは、A618の取付説明書を参照してください。

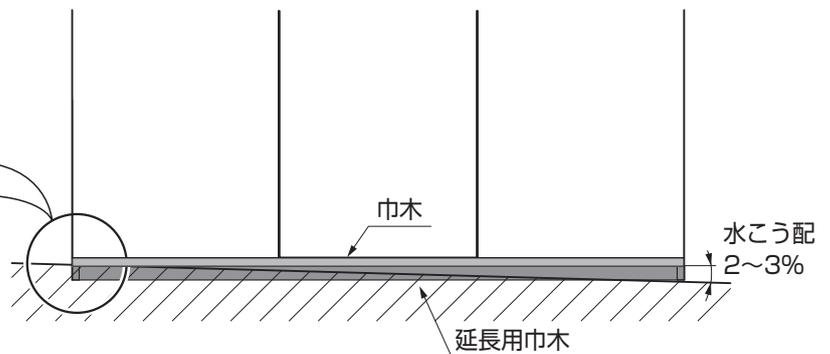
2. (つづき)

2-6 水こう配

ポイント



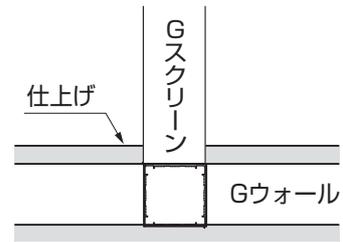
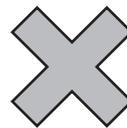
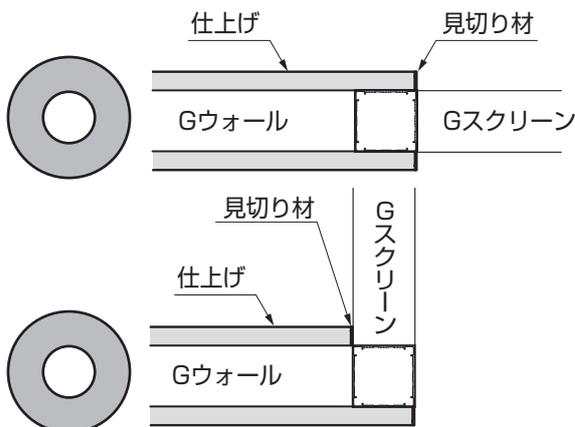
- 巾木の埋め込みはできません。下地ボードの不具合につながります。



ポイント

- 延長用巾木は最大3000mmのGウォール本体に対して、土間水こう配2~3%に対応できます。

2-7 Gスクリーンの取付け



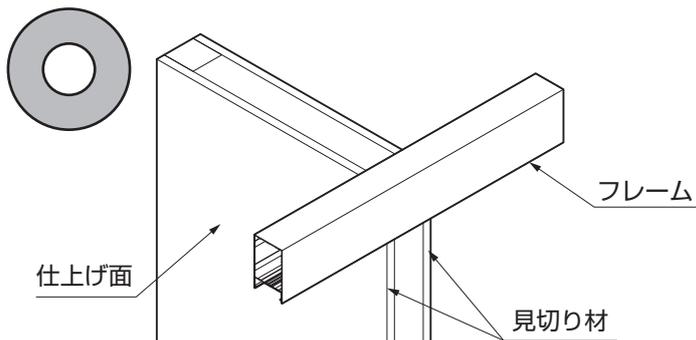
ポイント

- Gスクリーン取付けの場合は、端部見切り材または端部ふかし材を使用してください。

ポイント

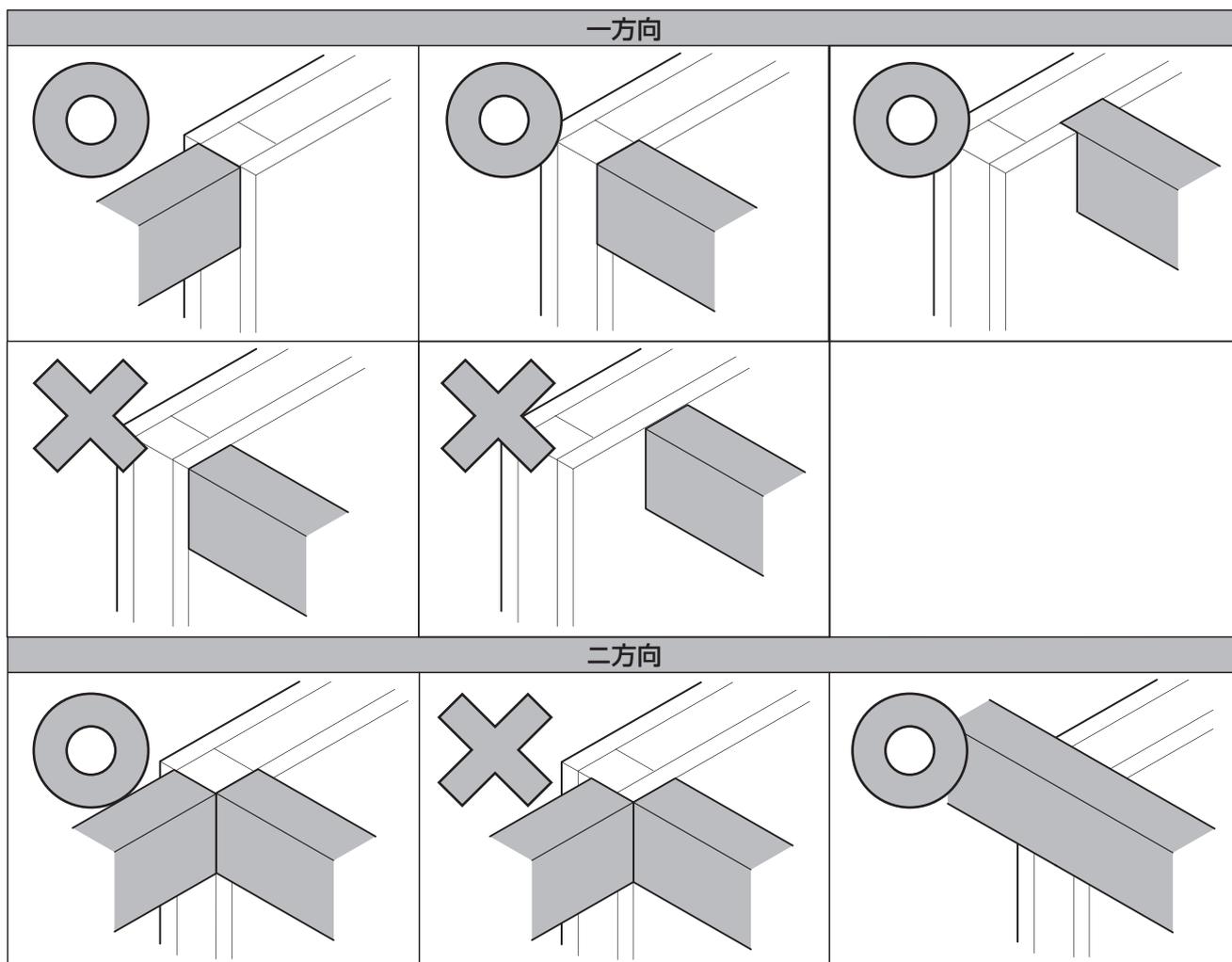
- Gスクリーン取付けの場合は、端部見切り材または端部ふかし材を使用してください。

2-8 フレーム直交納まり

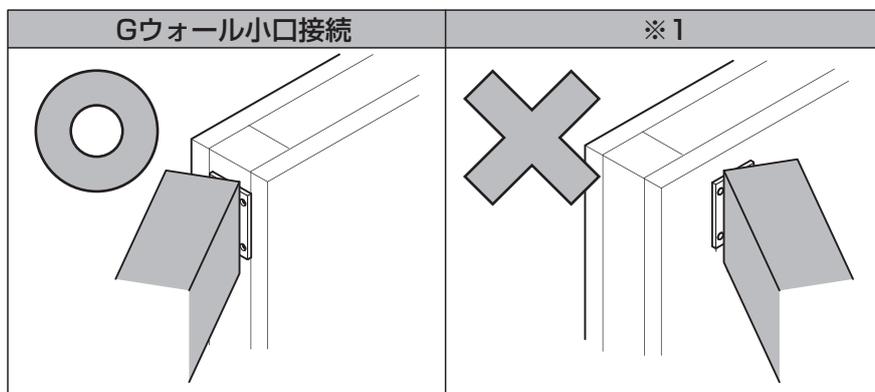


2. (つづき)

2-9 Gウォールとフレームの接続 ※下図にしたい施工してください。



2-10 角度調整部材による施工



ポイント

- 角度調整部材を取付けたフレームへのフレームデザインカバーの取付けはできません。
- 角度調整部材はGウォール小口以外への取付けはできません。(※1)
- 角度調整部材は小口タイルを貼った場合は、施工(組付け)ができません。

3. ラッピングボード・下地ボード・セラミックタイルの取扱いについて

3-1 セラミックタイルの保管のしかた

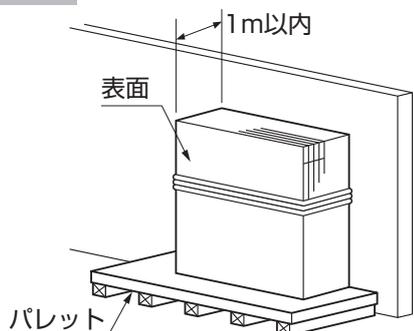


図3-1 垂直（縦）置きの場合

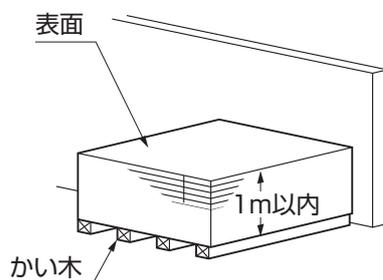


図3-2 水平（横）置きの場合

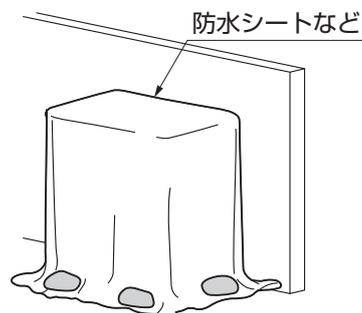


図3-3 屋外保管する場合

ポイント

- 必ずパレットの上に置き、屋内で保管してください。やむを得ずパレットの上に置けない場合には、角材を5本以上をかい木にし、不陸のないよう水平に置いてください。
- 斜め置きなど力のかかる置き方はしないでください。
- 施工現場でやむを得ず屋外に保管する場合は、防水シート、その他適当なものでおおい、雨や飛沫のかからないように保護してください。
- 重ね幅は1メートル以内にしてください。

3-2 ラッピングボード・下地ボードの保管のしかた

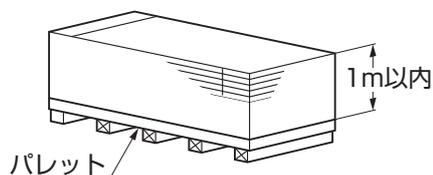


図3-4 パレット積みの場合

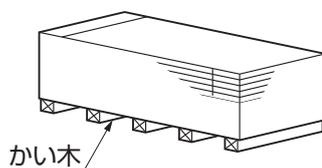


図3-5 パレット積みでない場合

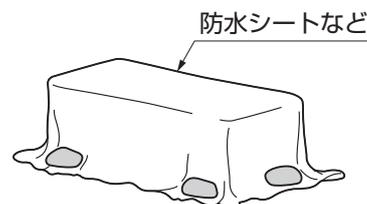
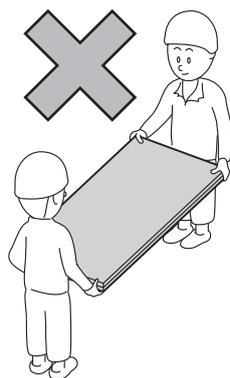
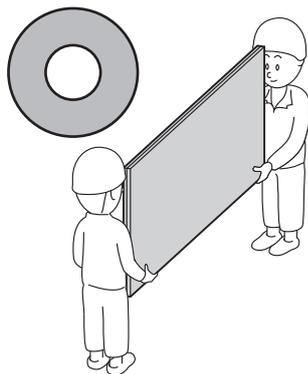


図3-6 屋外保管する場合

ポイント

- 必ずパレットの上に置き、屋内で保管してください。やむを得ずパレットの上に置けない場合には、角材を5本以上をかい木にし、不陸のないよう水平に置いてください。
- 施工現場でやむを得ず屋外に保管する場合は、防水シート、その他適当なものでおおい、雨や飛沫のかからないように保護してください。
- 積み重ねの高さは1メートル以内にしてください。

3-3 運びかた



注意

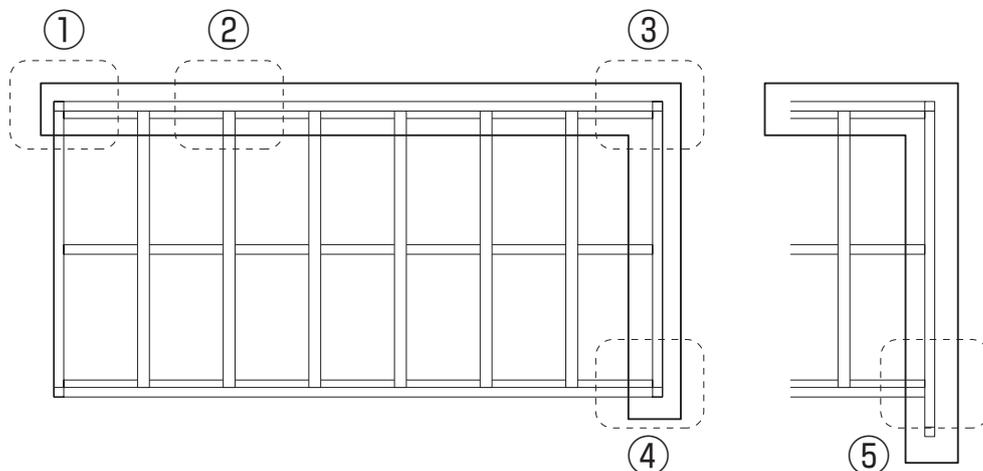
セラミックタイル・ラッピングボード・下地ボードの運びかた

- 開梱後、タイルまたはボードの持ち運びは木端立てにして運んでください。
- タイルまたはボードは水平に持って運ぶことや両端を持って吊るすような運び方は避けてください。（※タイルが割れるおそれがあります。）
- 開梱前のPPバンドを持って運ぶことは絶対に避けてください。
- タイルまたはボードを運ぶときは垂直にして、2人作業で運んでください。

4. Gルーフ フリータイプと併用し、化粧樋（外側排水用）を使用する場合

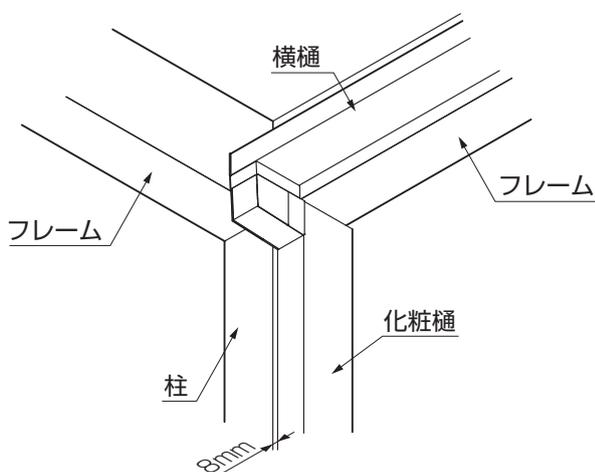
4-1 Gルーフ フリータイプ化粧樋（外側排水用）のGウォール接続の可否

※化粧樋の施工方法は【ガラス引戸(EXM016)】または【Gルーフ フリータイプ(E258)】を参照してください。

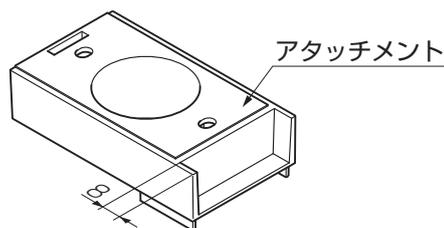


(1) 90×150フレームでGルーフ フリータイプを構成する場合 ※壁はGウォール納まり

		Gウォール接続納まり				
		①	②	③	④	⑤
並行納まり		※1	×		※2	※2
直角納まり		※3	※3	※3	×	×



- ※1 見切材納まり(小口セットAを使用した納まり)のみ可能です。
- ※2 ガラス引戸を取付ける場合は追加の拾い出しが必要です。
- ※3 柱の面と化粧樋を8mmずらして取付ける必要があります。(左図参照)

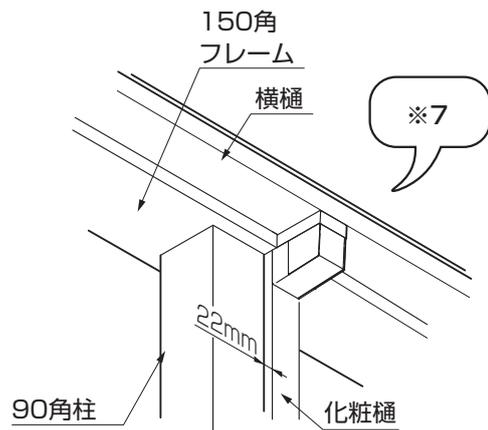
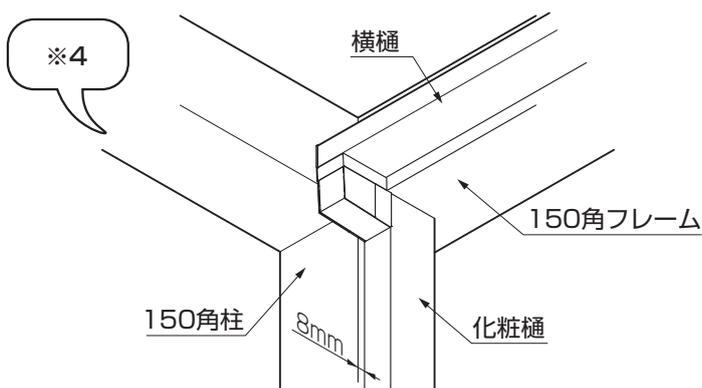
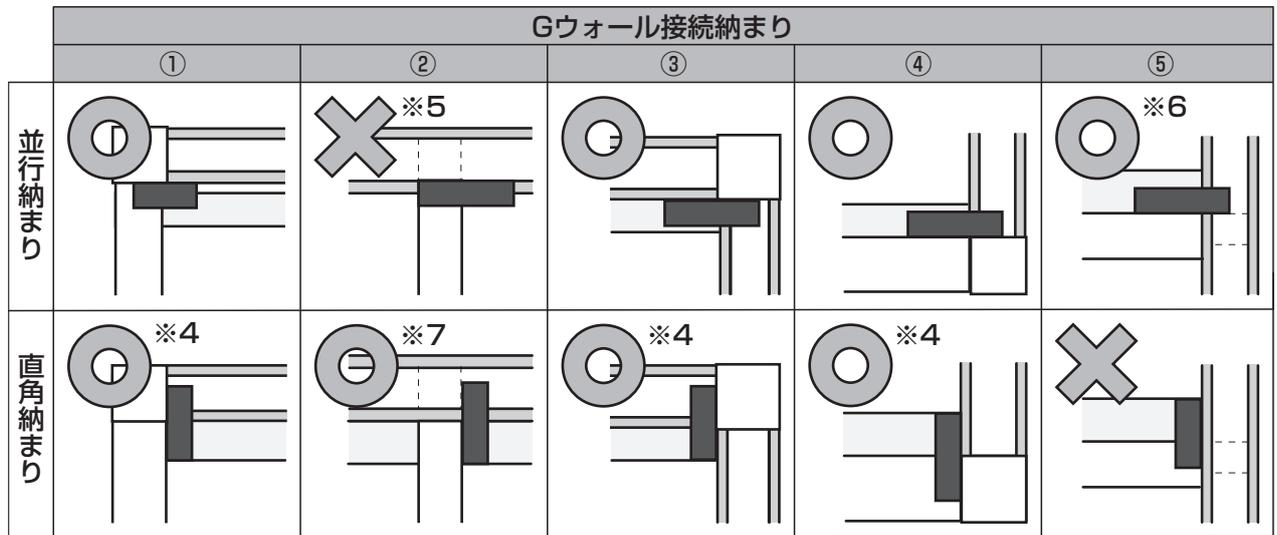


※8mmずらす場合は現場で8mm切断してください

4. (つづき)

※化粧樋の施工方法は【ガラス引戸(EXM016)】または【Gルーフ フリータイプ(E258)】を参照してください。

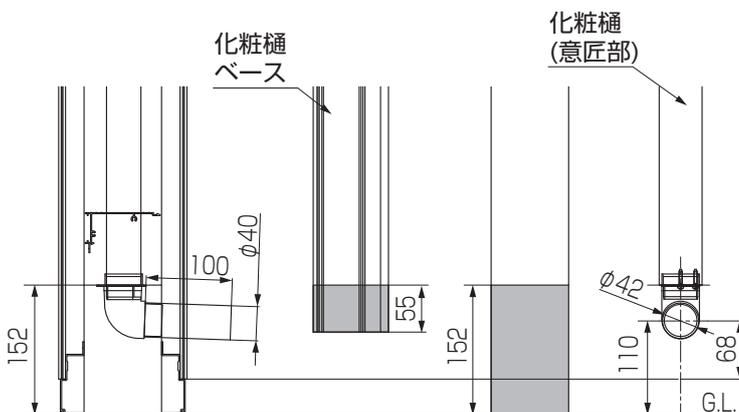
(2) 150角フレームでGルーフ フリータイプを構成する場合 ※壁はGウォール納まり



- ※4 150角柱の面と化粧樋を8mmずらして取付ける必要がある場合(樋のアタッチメントを8mm切断します)。
- ※5 ガラス引戸を取付ける際に、追加の拾い出しをすることで取付けが可能な場合
- ※6 ガラス引戸を取付ける際に、追加で拾い出しが必要な場合。
- ※7 150角柱の面と化粧樋を22mmずらして取付ける必要がある場合。

ポイント

- 化粧樋が横樋に対して直角納まりの場合は化粧樋は8mm柱の内側になります。
- Gウォールの150角フレームで90角中間柱施工の場合、化粧樋は22mm内側になります(横樋に対して平行納まりの場合)。
- Gウォール施工の場合、化粧樋(ベース)の長さを55mm切断してください。
- Gウォール施工の場合、化粧樋(意匠部)の長さを152mm切断してください。
- 化粧樋に同梱されている縦樋φ40は、現場で取付ける寸法を測って切断して使用してください。
- Gウォールの仕上げ材(ラッピングボード・セラミックタイル)に外側排水用の縦樋穴あけまたは、切り欠き加工を現場でしてください。

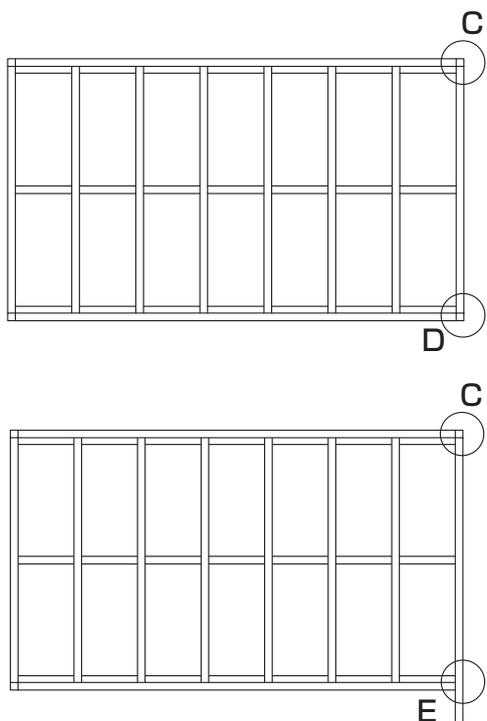


5. 化粧樋の納まり

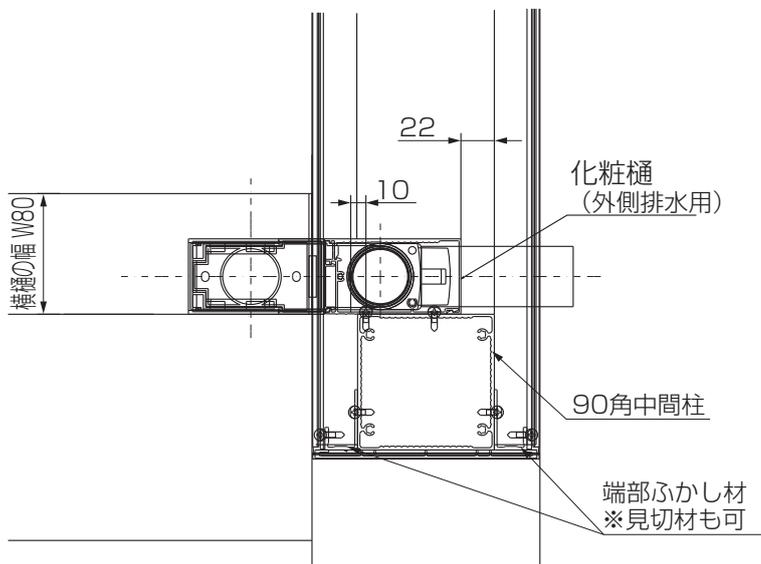
※150角フレーム納まりの場合

※図はセラミックタイル仕様の場合になります

5-1 Gウォール150角フレームの場合 ※ 平行納まりの場合

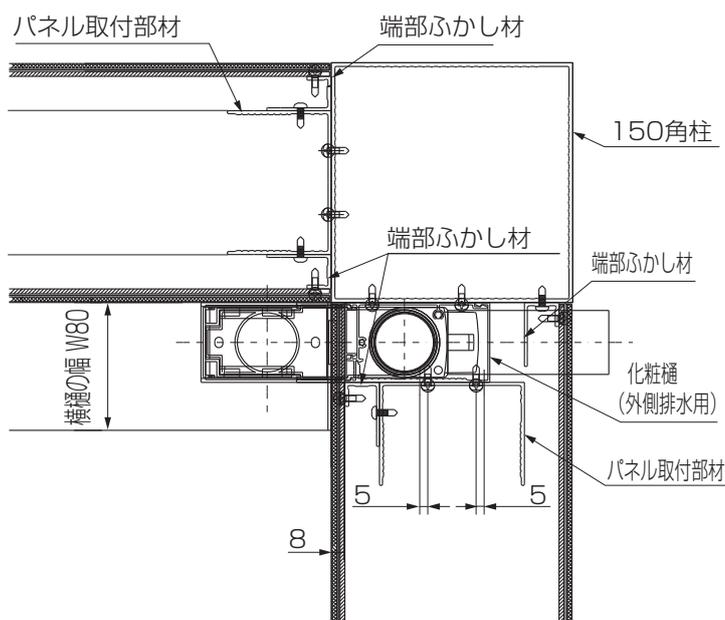


E部詳細 (Gウォール端部の場合)

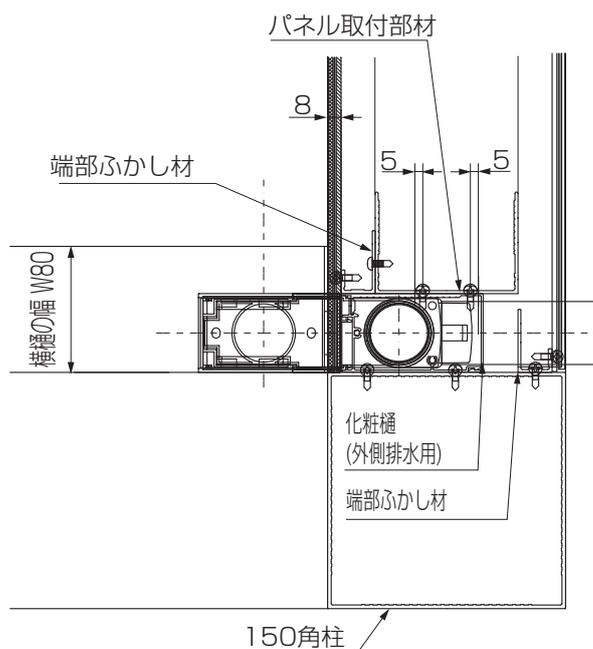


- ① 中間柱から22mm化粧樋 (ベース部) をずらします。
- ② 化粧樋 (ベース部) の奥側のV溝から10mmずらして、 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジで取付けてください。

C部詳細図



D部詳細



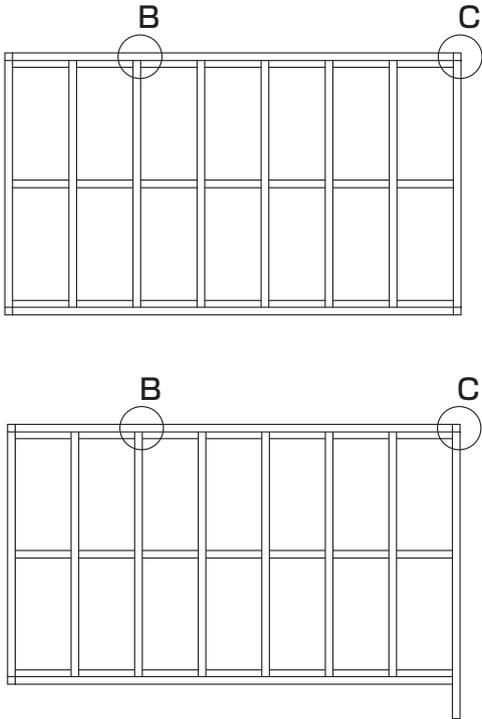
※パネル取付部材を化粧樋 (意匠部) に取付ける場合

C部・D部共通の手順になります。

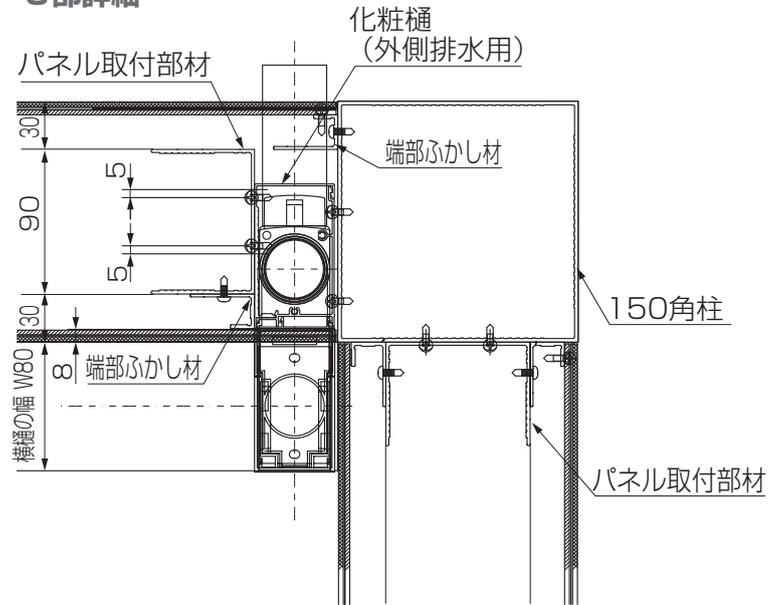
- ① 化粧樋から22mmパネル取付部材をずらします。
- ② パネル取付け部材のV溝から5mmずらして、 $\phi 4 \times 13$ ナベドリルネジで取付けてください。

5. (つづき) ※150角フレーム納まりの場合

5-2 Gウォール150角フレームの場合 ※ 直角納まりの場合

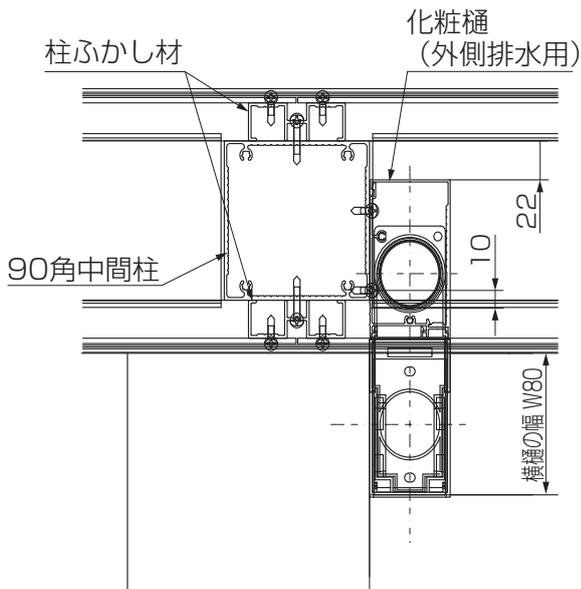


C部詳細

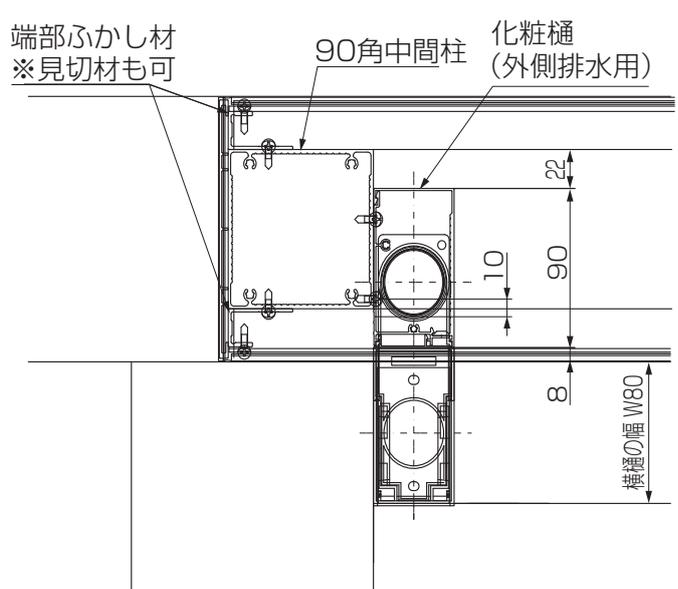


- パネル取付部材を化粧樋（意匠部）に取付ける場合
- ①化粧樋から22mmパネル取付部材をずらします。
- ②パネル取付け部材のV溝から5mmずらして、φ4×13ナベドリルネジで取付けてください。

B(1) 部詳細 (Gウォール中間の場合)



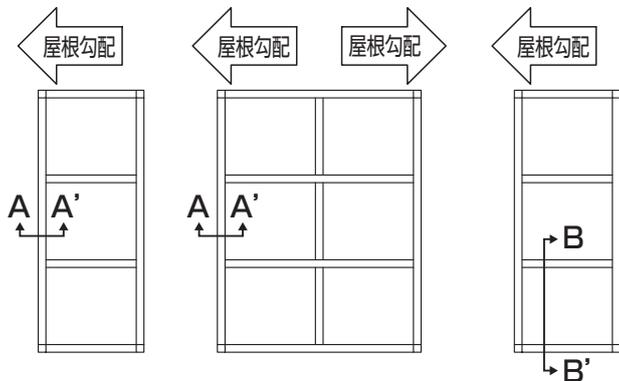
B(2) 部詳細 (Gウォール端部の場合)



- ①中間柱から22mm化粧樋（ベース部）をずらします。
- ②化粧樋（ベース部）の奥側のV溝から10mmずらして、φ4×13ナベドリルネジで取付けてください。

6 .Gルーフ フリータープと併用し、天井ボード材を使用する場合

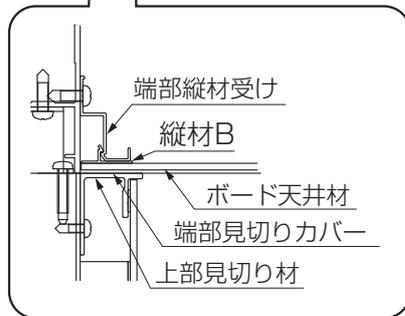
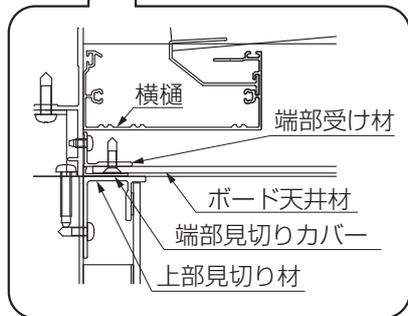
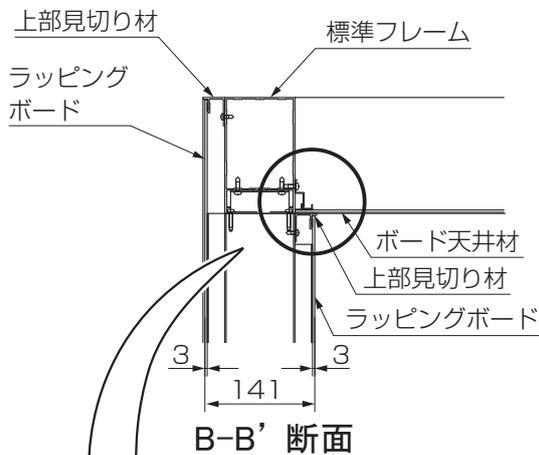
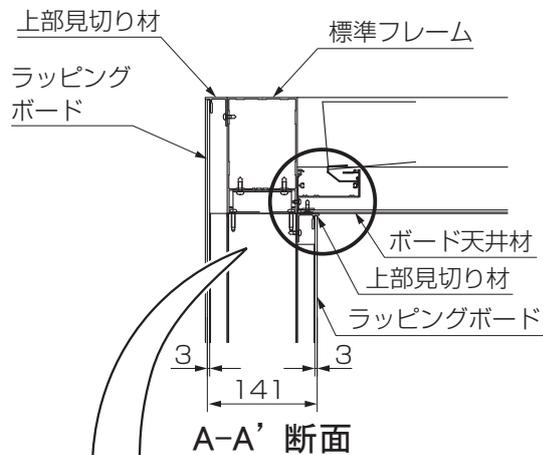
6-1 標準フレーム仕様



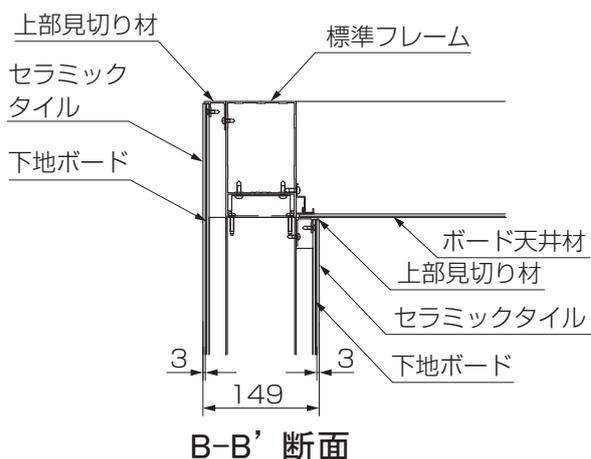
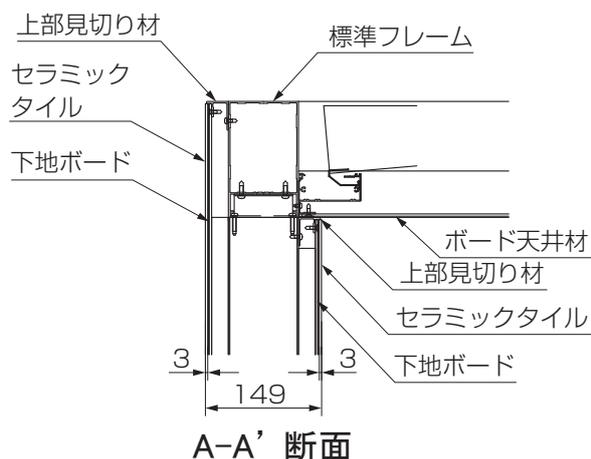
ポイント

- Gルーフ天井ボードの取付けは、取付説明書 EXM-018を参照してください。

●ラッピングボードを使用した納まり（フレーム標準：フリールーフ天井納まりの場合）

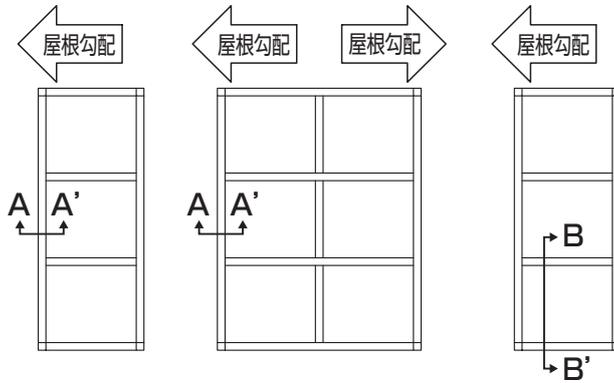


●セラミックタイルを使用した納まり（フレーム標準：フリールーフ天井納まりの場合）

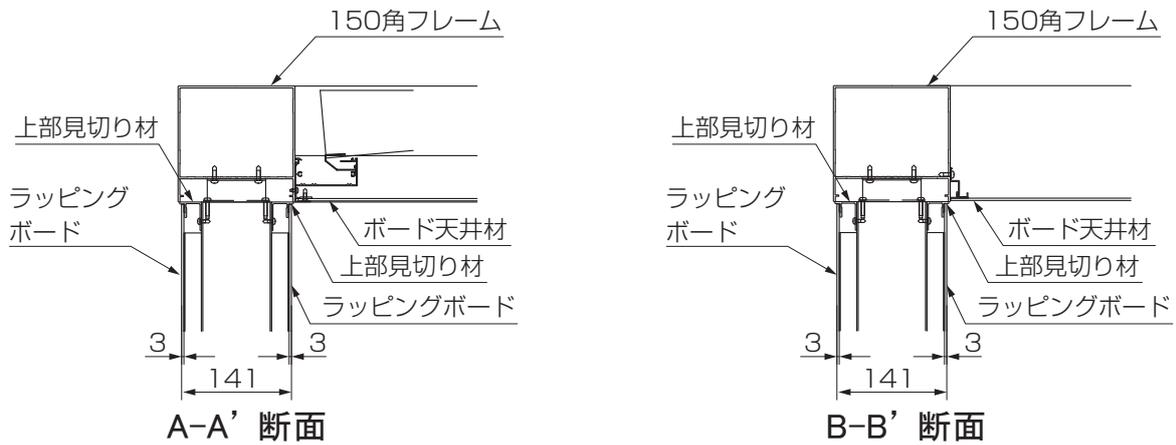


6. (つづき)

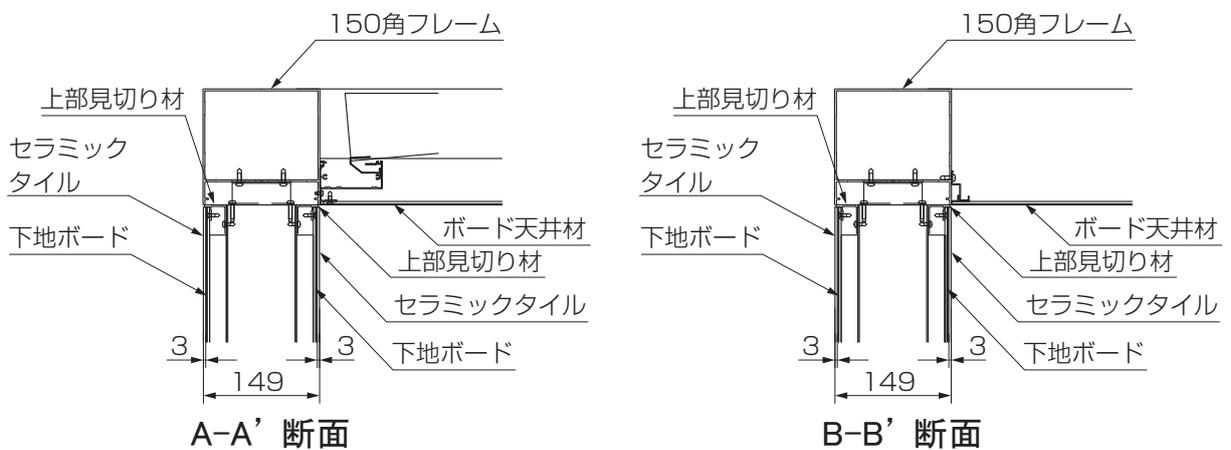
6-2 150角フレーム仕様



●ラッピングボードを使用した納まり (150角フレーム：フリールーフ天井納まりの場合)

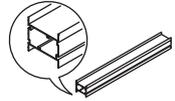
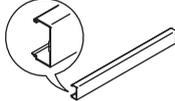
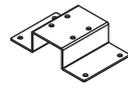


●セラミックタイルを使用した納まり (150角フレーム：フリールーフ天井納まりの場合)

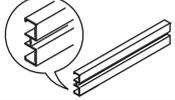


2 梱包明細表

【1】 中間支柱セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
中間支柱		1	1
中間支柱ふかし材		2	2
中間支柱取付金具		1	1
[1-1] φ5×25ナベタッピンネジ2種		2	2
[1-2] φ5×16ナベドリルネジ		4	4

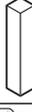
【2】 柱ふかし材セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
中間柱ふかし材		2	2
[2-1] φ4×25ナベドリルネジ		14	16

【3】 小口セットA

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
端部見切り材 (右)		1	1
端部見切り材 (左)		1	1
[3-1] φ4×16ナベドリルネジ		12	12

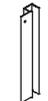
【4】 小口セットB

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
タイル用端部ふかし材 (右)		1	1
タイル用端部ふかし材 (左)		1	1
タイル用小口巾木		1	1
巾木止水材		4	4
[4-1] φ4×16ナベドリルネジ		14	16

【5】 ラッピングボード用コーナー枠セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ボード用出隅コーナー部材		1	1
入隅コーナー部材		1	1
端部ふかし材		1	1
端部ふかし材巾木取付用		2	2
上部見切り出隅コーナー部品		1	1
[5-1] φ4×16ナベドリルネジ		22	26
[5-2] φ4×10トラスタッピンネジ3種		2	2

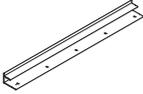
【6】 タイル用コーナー枠セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
タイル用出隅コーナー部材		1	1
入隅コーナー部材		1	1
端部ふかし材		1	1
端部ふかし材巾木取付用		2	2
上部見切り出隅コーナー部品		1	1
[6-1] φ4×16ナベドリルネジ		22	26
[6-2] φ4×10トラスタッピンネジ3種		2	2

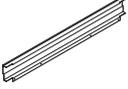
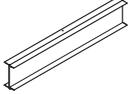
【7】出隅コーナー巾木キャップセット

名 称	略 図	員数
巾木出隅コーナー部品		1
【7-1】φ4×16ナベドリルネジ		2

【8】上部見切りセット

名 称	略 図	員 数		
		W10	W20	W30
上部見切り材		2	2	2
【8-1】φ4×16ナベドリルネジ		6	10	14

【9】巾木セット

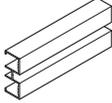
名 称	略 図	員 数		
		W10	W20	W30
巾木		2	2	2
下枠		1	2	2
【9-1】φ4×16ナベドリルネジ		6	10	14
【9-2】φ4×35トラスタッピンネジ		2	2	2
【9-3】ノーブルアンカー NA-3		2	2	2
取付説明書	-	1	1	1
取扱説明書	-	1	1	1

※φ4×35トラスタッピンネジとノーブルアンカーは、インターホンや照明器具を取付ける場合に使用するので、失くさないようにしてください。

【10】延長巾木セット

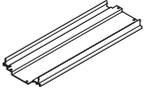
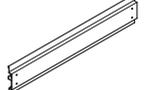
名 称	略 図	員 数	
		W30	
延長巾木		1	
【10-1】φ4×16ナベドリルネジ		8	

【11】中間横材セット

名 称	略 図	員 数	
		W10	
中間横材		4	
【11-1】φ4×25ナベタッピンネジ3種		12※	

※12本の内、4本は後付けポストを取付ける場合に使用します。失くさないよう保管してください。

【12】宅配ボックス取付枠セット

名 称	略 図	員 数	
		TA	KN
宅配ボックス・ポスト取付枠(上下枠)		2	2
宅配ボックス・ポスト取付枠(縦枠)		2	2
宅配ボックス・ポスト取付枠小口フタ		8	8
【12-1】φ4×25ナベタッピンネジ2種		8	8
【12-2】φ4×10特サラタッピンネジ2種		8	8
【12-3】φ4×35ナベドリルネジ		4	4
【12-4】φ4×13ナベドリルネジ		4	4

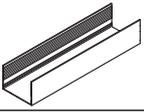
【13】ラッピングボードセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
ラッピングボード W10		2	2
ラッピングボード 端部用		2	2
ラッピングボード 中間用		2	2

【14】タイル用下地ボードセット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
下地ボード W10		2	2
下地ボード 端部用		2	2
下地ボード 中間用		2	2

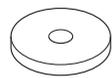
【15】 パネル取付部材セット

名 称	略 図	員 数	
		H24	H29
パネル取付部材		1	1
【15-1】 φ4×16ナベドリルネジ		12	14

【16】 セラミックタイルセット

名 称	略 図	員数
セラミックタイル1200×1200		2

【17】 両面テープセット

名 称	略 図	員数
両面テープ 33m巻き		1

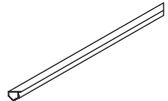
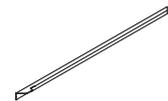
【18】 サラネジセット

名 称	略 図	員数
【18-1】 φ4×16サラドリルネジ		50

【19】 面付ベースセット

名 称	略 図	員数
サイン (表札) 取付ベース		1
【19-1】 φ4×30ナベドリルネジ		4

【20】 ふかし壁セット

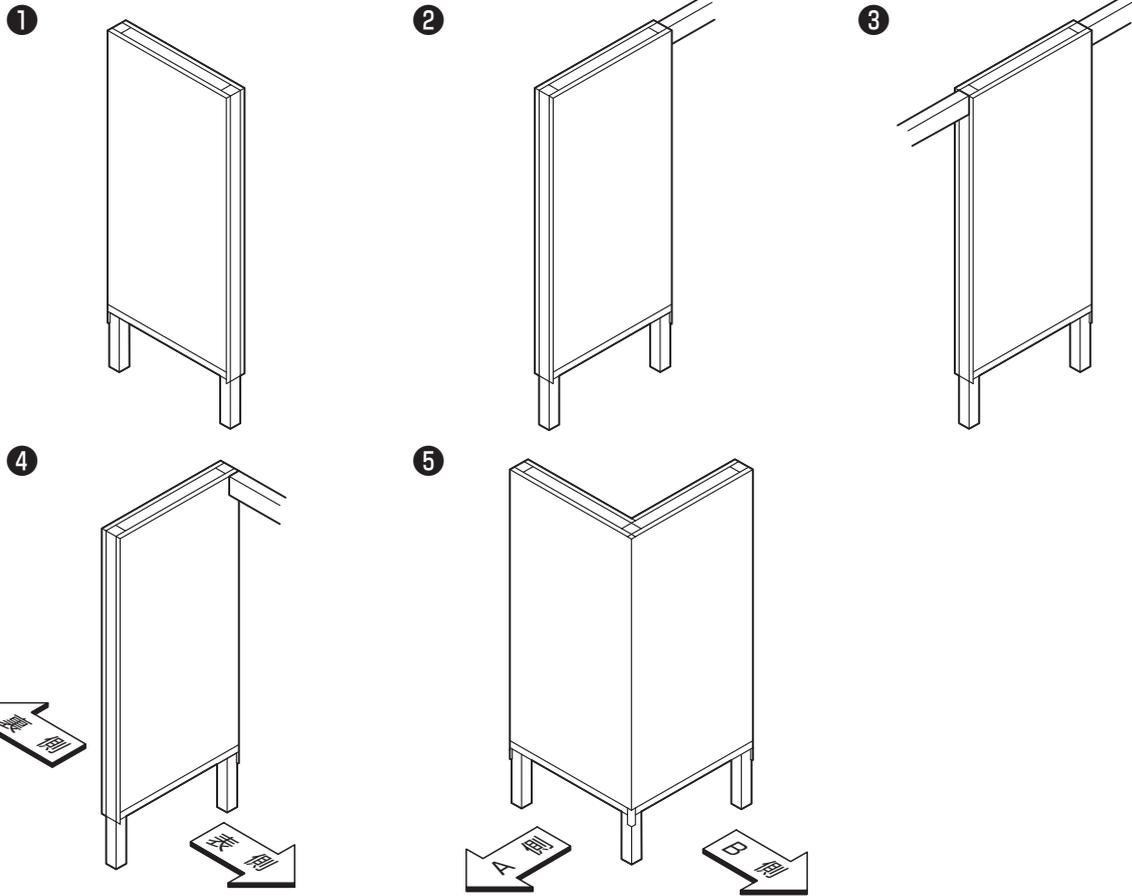
名 称	略 図	員数
面枠カバーA		2
面枠カバーB		2
面枠ベースA		2
面枠ベースB		2
面枠中棧		4
小口金具		4
【20-1】 φ4×16ナベドリルネジ		30
【20-2】 φ4×13ナベドリルネジ3種		4
【20-3】 φ4×13ナベドリルネジ		16

【21】 ビームラインライトセット

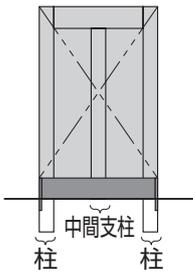
名 称	略 図	員数
ビームラインライトL80		1
取付ホルダ		3
【21-1】 φ4×8 サラタッピンネジ1種(D=6)		3
取扱説明書【UZ287】	-	1

3 基本パターン

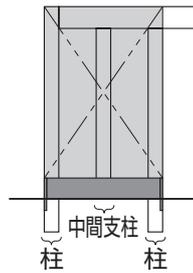
※Gウォールの「柱」は、Gフレームの柱を使用しています。
納まりに合った柱施工がされている事を確認してください。



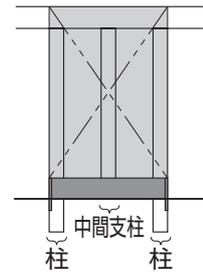
① 単独納まり



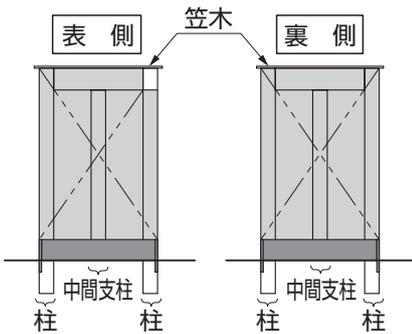
② フレーム上乗せ納まり (端部)



③ フレーム上乗せ納まり (中間)

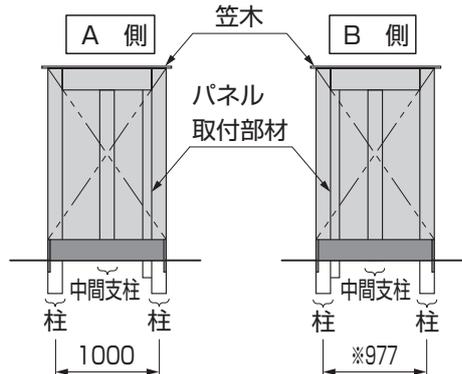


④ フレーム接続納まり (片側)



⑤ L字仕様

※柱ピッチにご注意ください。

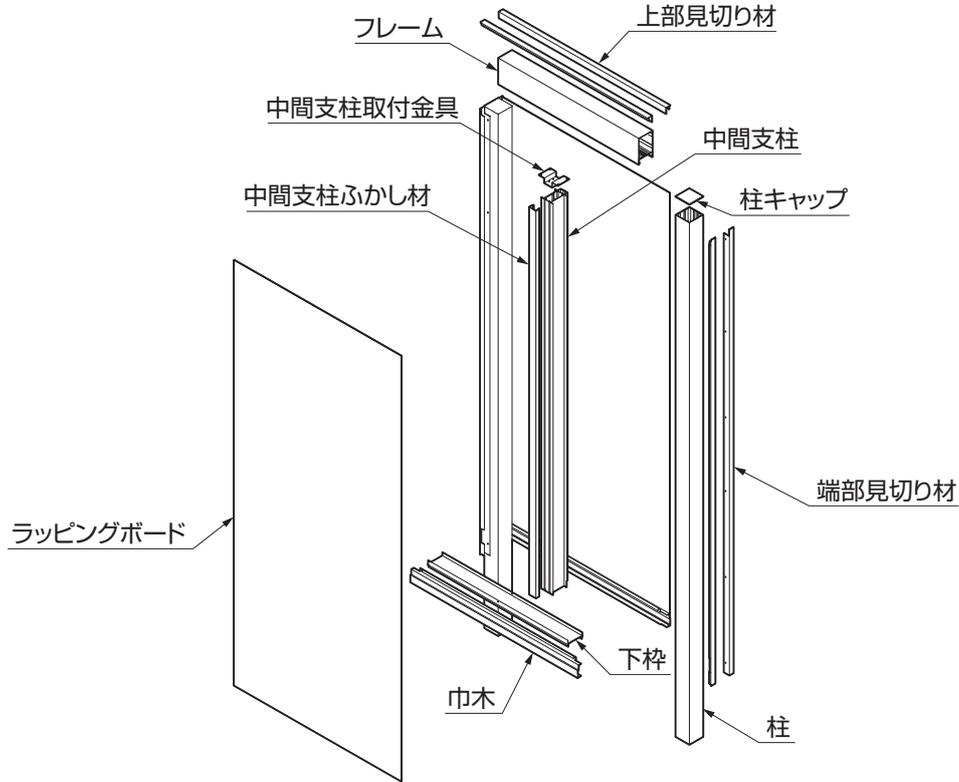


3 基本パターン

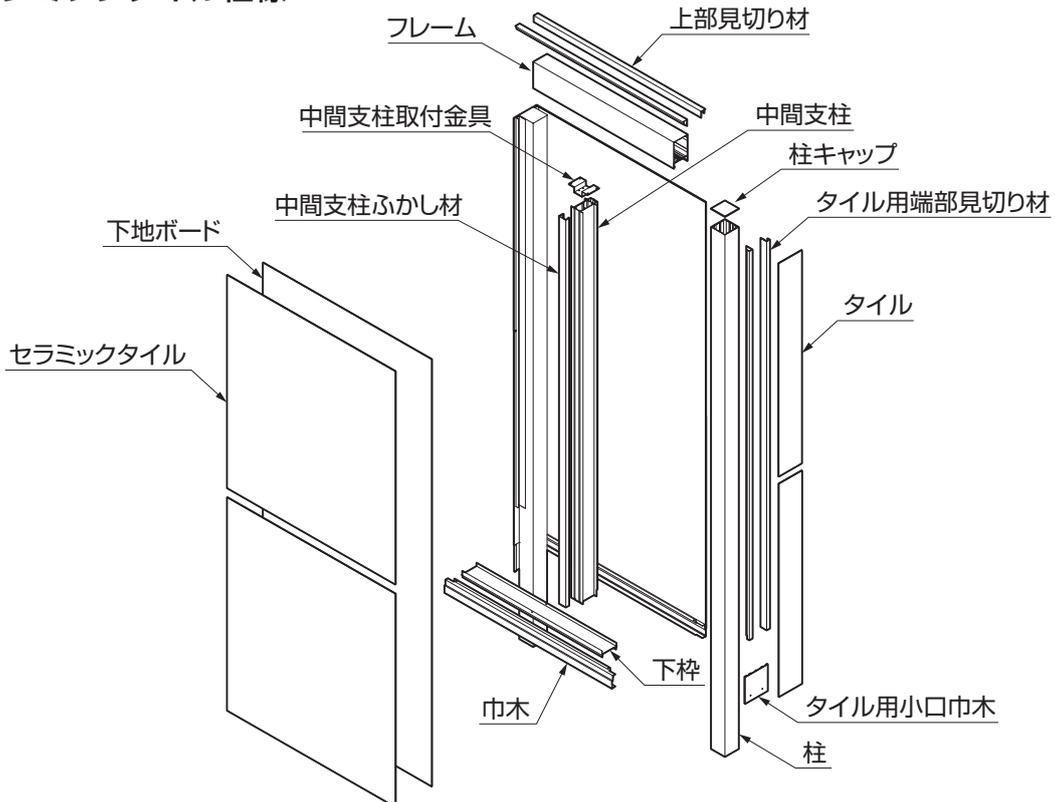
4 基本寸法と各部の名称

1. 各部名称

1-1 ラッピングボード仕様

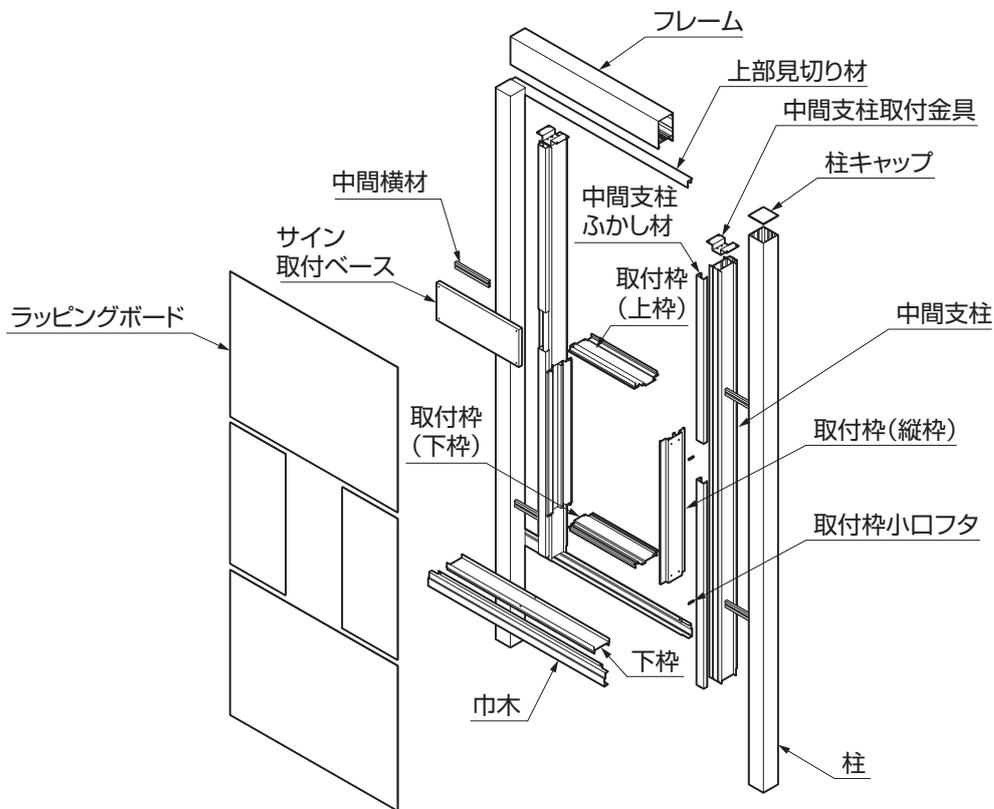


1-2 セラミックタイル仕様

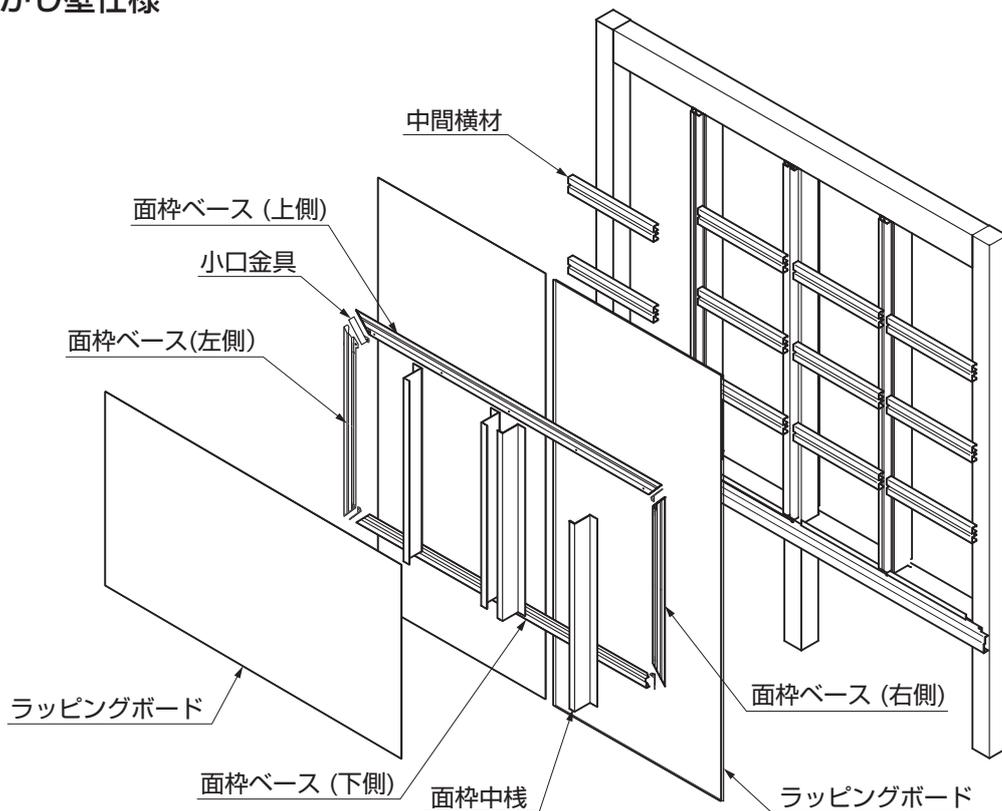


1. (つづき)

1-3 スマート宅配ポストTA、ボックスセットKN、サイン仕様



1-4 ふかし壁仕様



2. 基本寸法

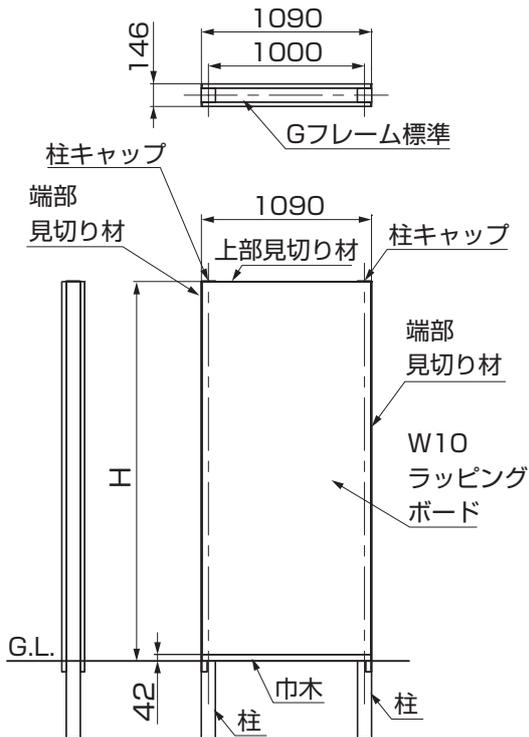
2-1 ラッピングボード仕様

※H寸法は右表を参照してください。

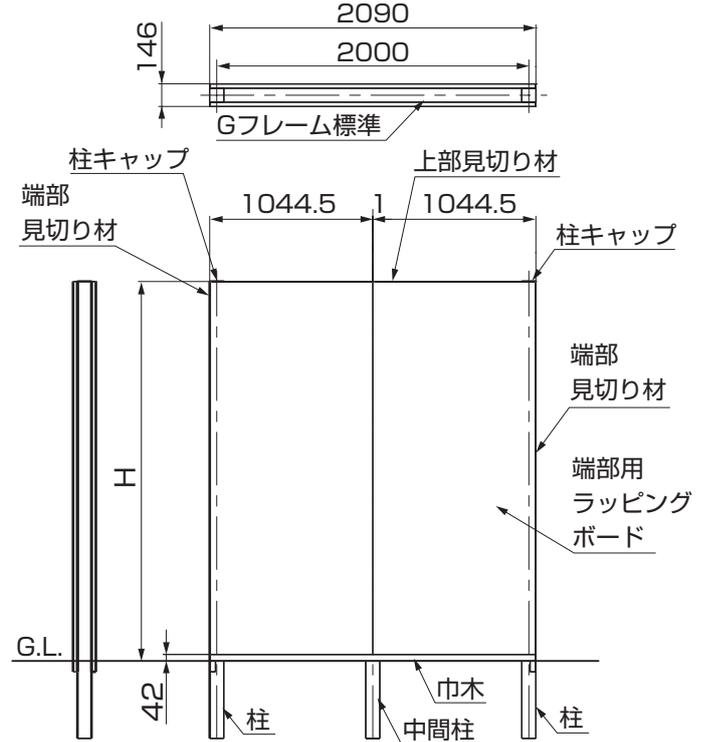
表2-1

	H	ボードカット
H24	2450	無
H29	2905	無

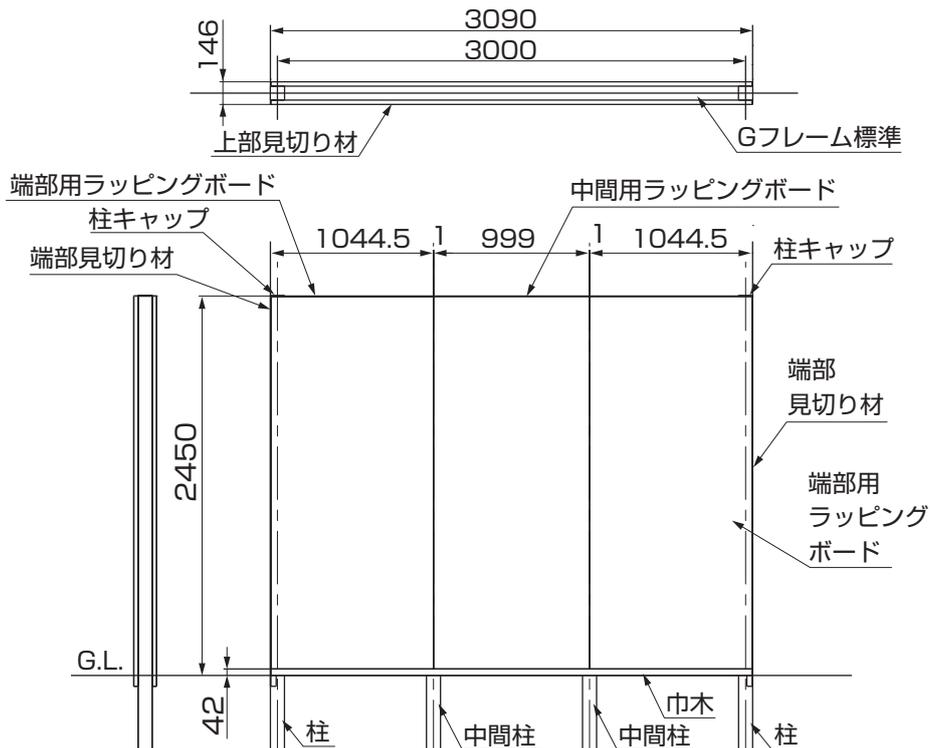
(1) W10



(2) W20



(3) W30



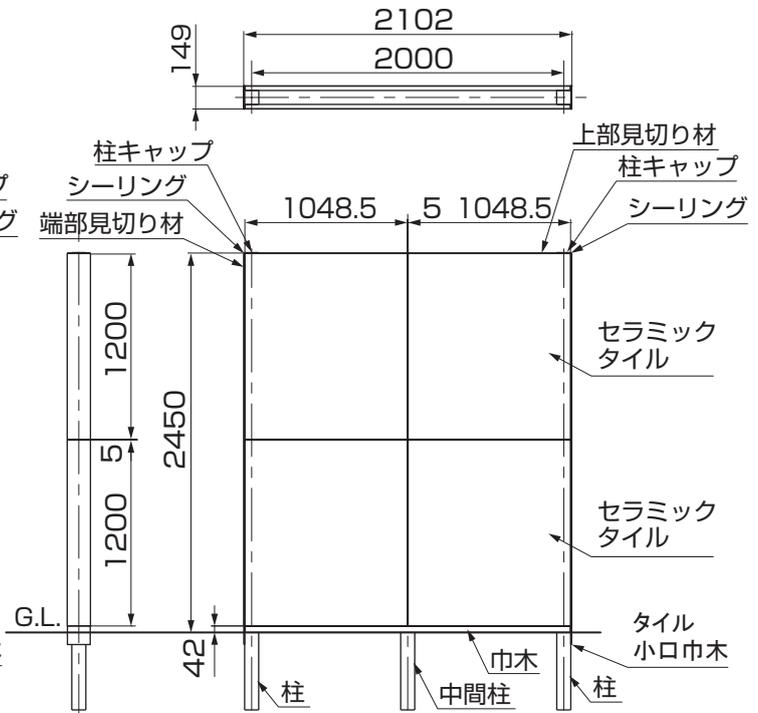
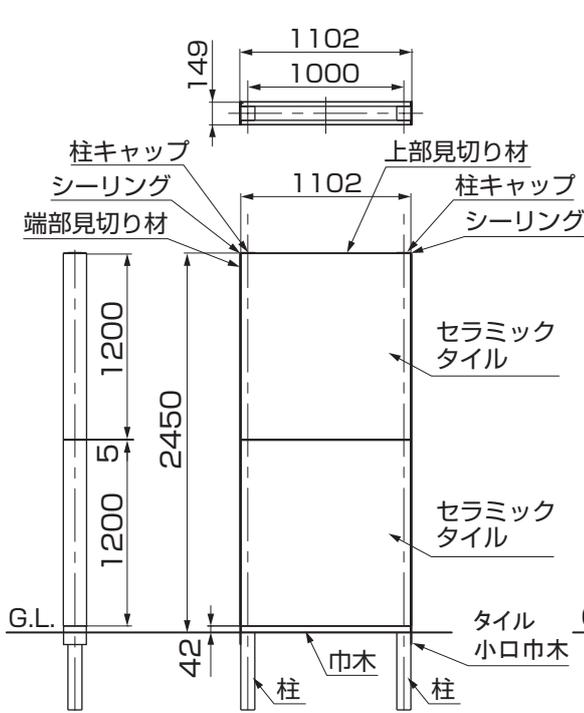
2. (つづき)

※小口面のセラミックタイルカットは現場カットになります。
 ※H29の上部に張るセラミックタイルは現場カットになります。

2-2 セラミックタイル仕様 (小口タイルの場合)

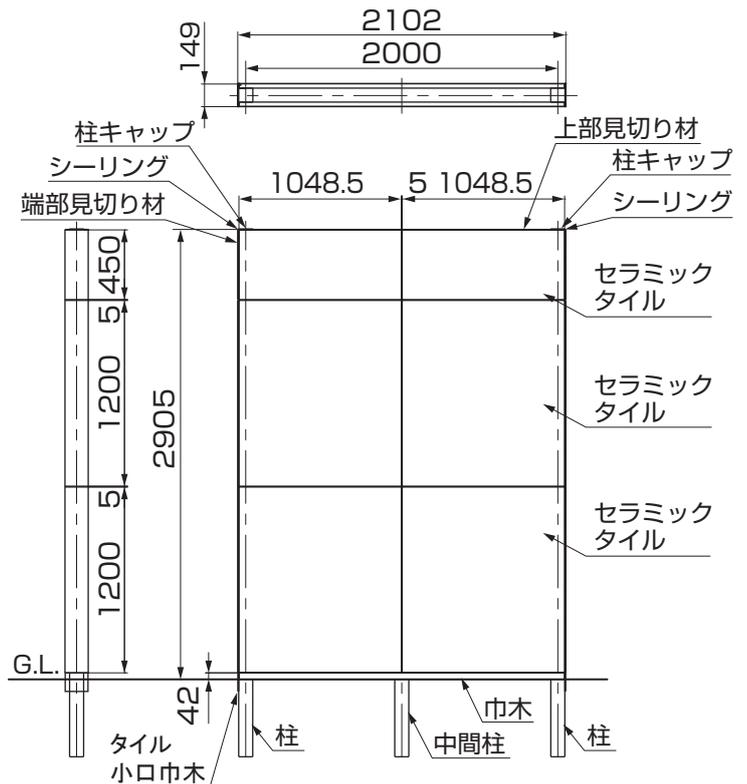
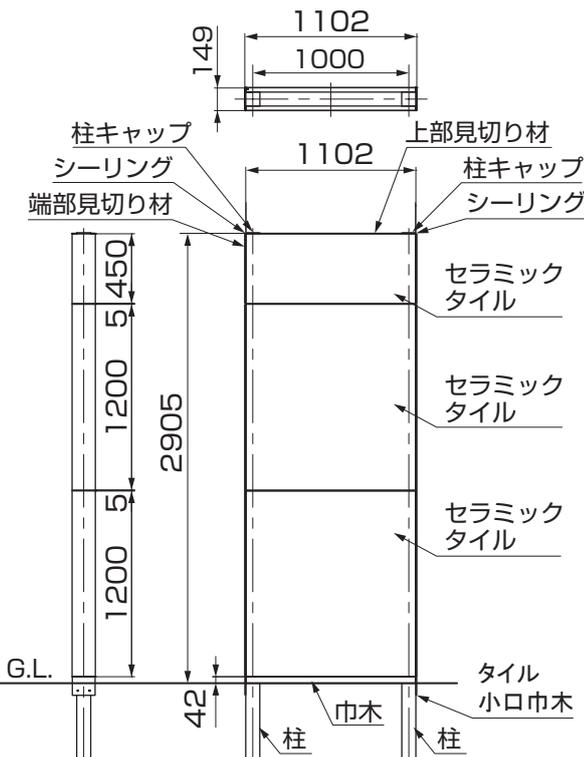
(1) W10 H24

(2) W20 H24



(3) W10 H29

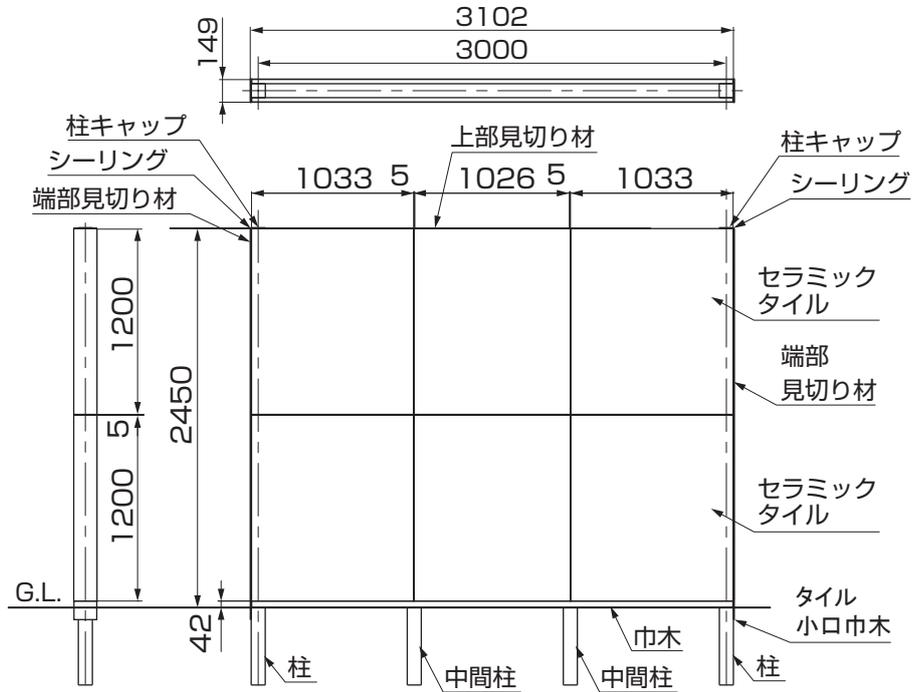
(4) W20 H29



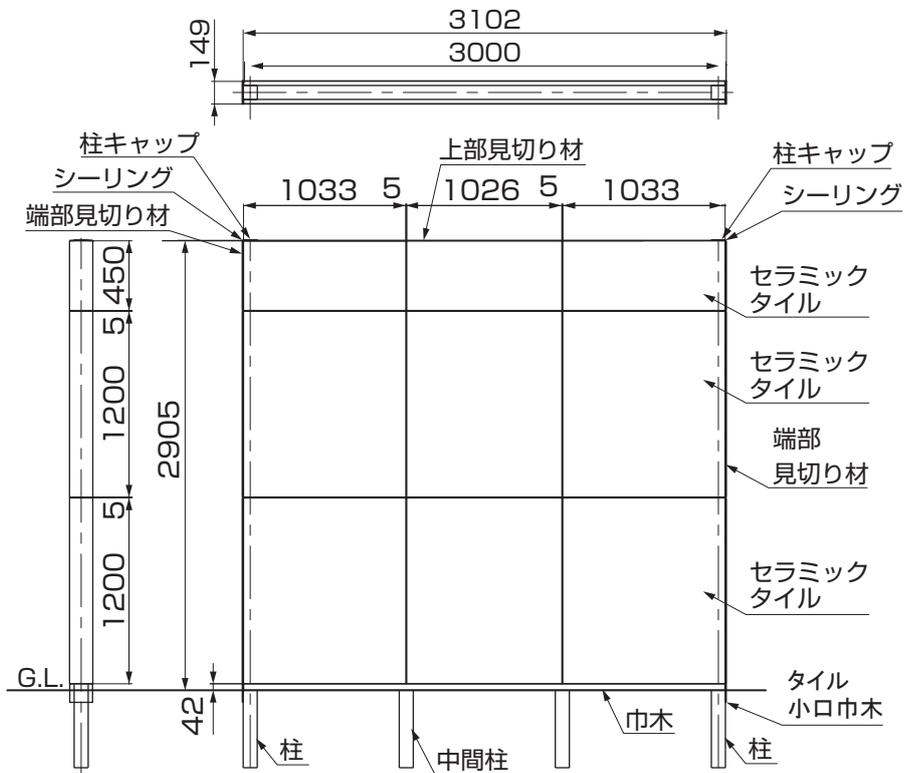
2. (つづき)

※小口面のセラミックタイルカットは現場カットになります。
 ※ H29の上部に張るセラミックタイルは現場カットになります。

(5) W30 H24



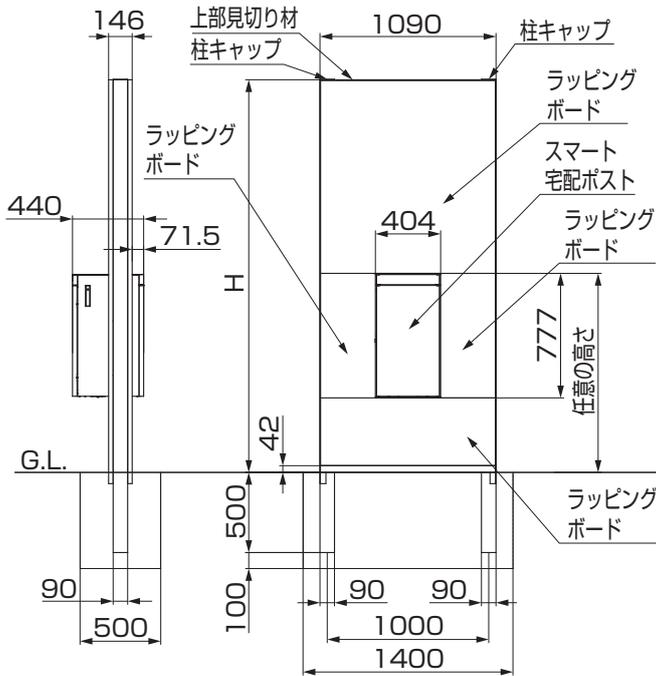
(6) W30 H29



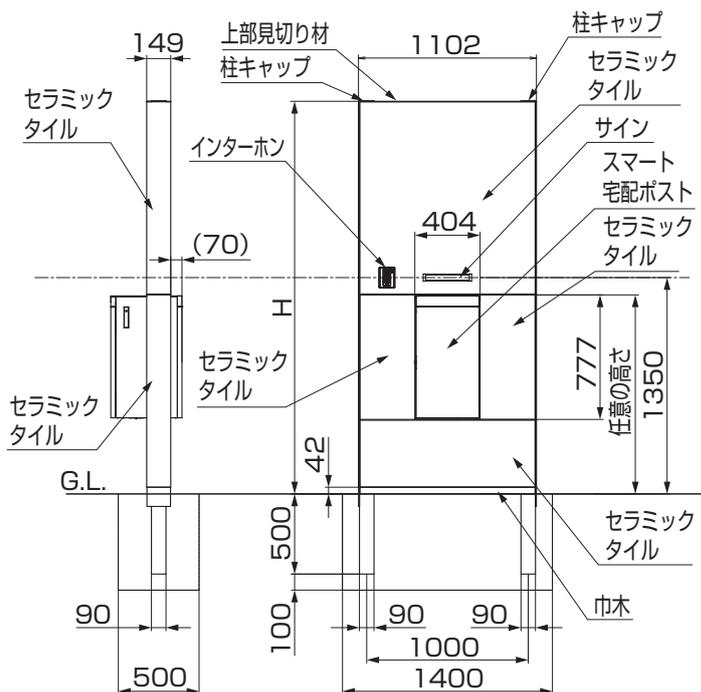
2. (つづき) ※ W10サイズにスマート宅配ポストTA型を取付ける場合

2-3 スマート宅配ポスト

(1) W10 ラッピングボード仕上げ



(2) W10 セラミックタイル仕上げ

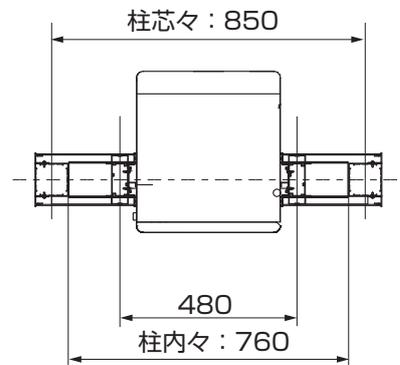


●スマート宅配ポスト

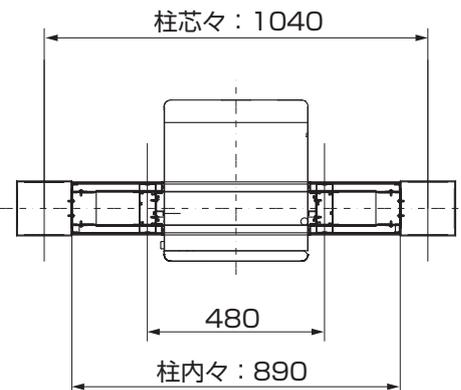
埋め込み時のGウォール最小幅について

- ※ Gウォール最小幅にスマート宅配ポストを取付ける場合は、図の柱位置にする必要があります。
- ※ スマート宅配ポストを取付ける場合、スマート宅配ポスト取付け枠を中間支柱に取付けます。
- ※ スマート宅配ポストの取付けはP.62を参照してください。

90×150フレームの場合



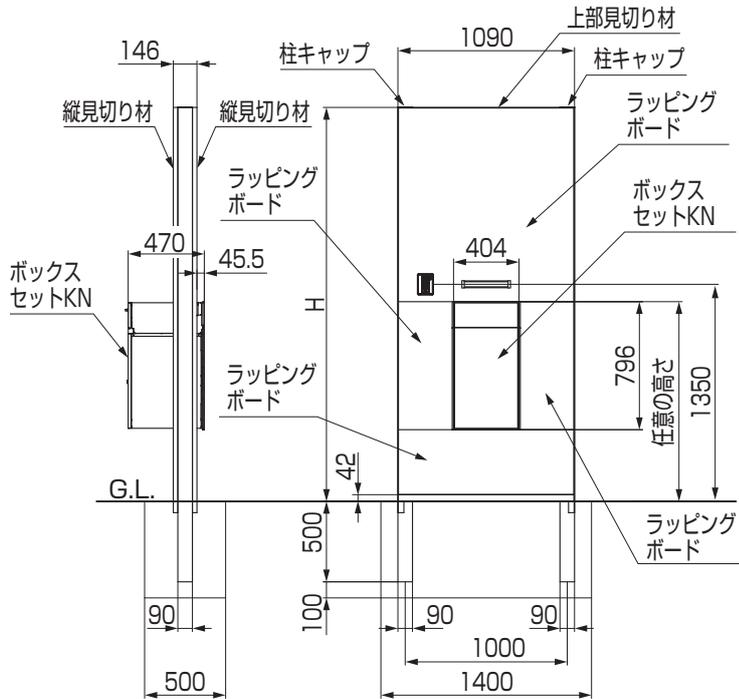
150角フレームの場合



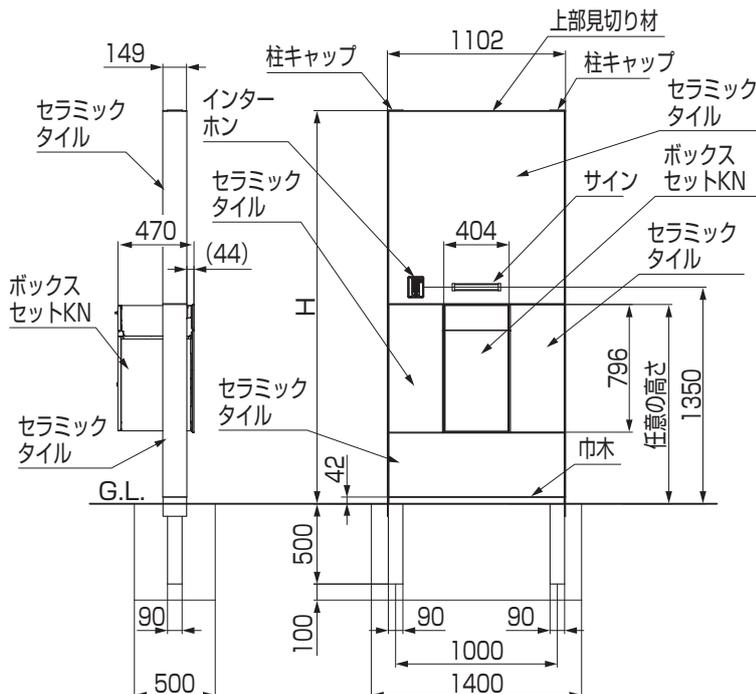
2. (つづき) ※ W10サイズにボックスセットKN型を取付ける場合

2-4 ボックスセットKN型

(1) W10 ラッピングボード仕上げ



(2) W10 セラミックタイル仕上げ



● ボックスセットKN

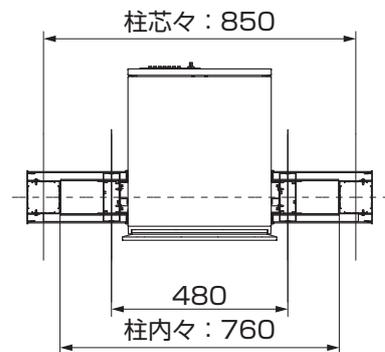
埋め込み時のGウォール最小幅について

※ Gウォール最小幅にボックスセットKNを取付ける場合は、図の柱位置にする必要があります。

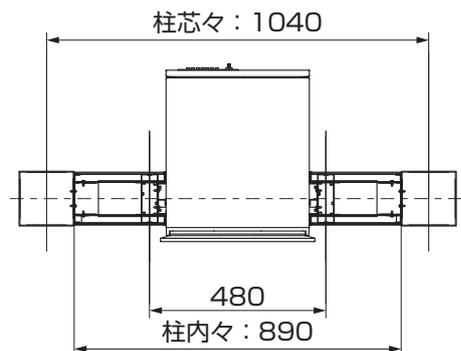
※ ボックスセットKNを取付ける場合、取付枠を中間支柱に取付けます。

※ ボックスセットKNの取付けは、「宅配ボックスKN 取付説明書 (EXM-135)」と「エクスポストKN 取付説明書 (EXM-137)」を参照してください。

90×150フレームの場合



150角フレームの場合



3. 基礎寸法

3-1 フレーム取付けの場合

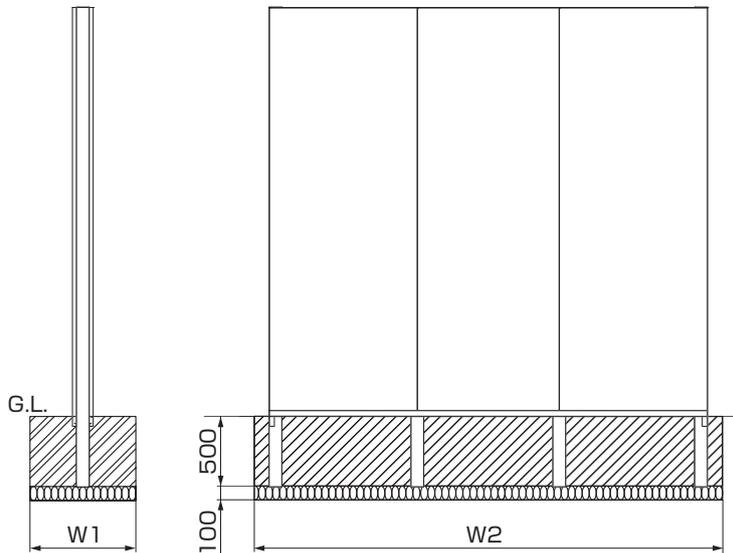


図3-1

表3-1

	W1	W2
W10	500	1400
W20	600	2400
W30	600	3400

●タイル・ボード共通

●90角柱、150角柱共通

※Gウォールの基礎は、連続基礎で打設してください。

4

基本寸法と各部の名称

3-2 スクリーン取付けの場合

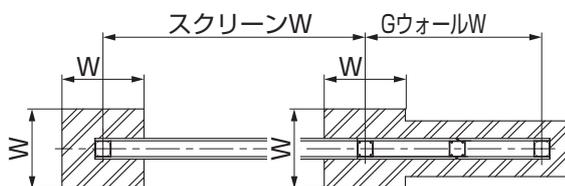


図3-2 片側にスクリーンを取付けた場合

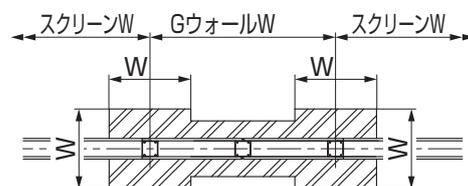


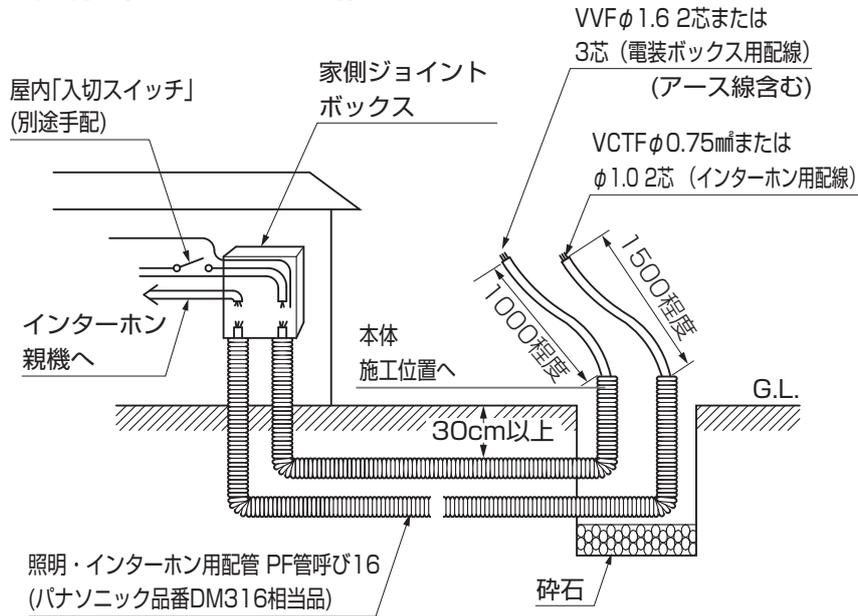
図3-3 両側にスクリーンを取付けた場合

ポイント

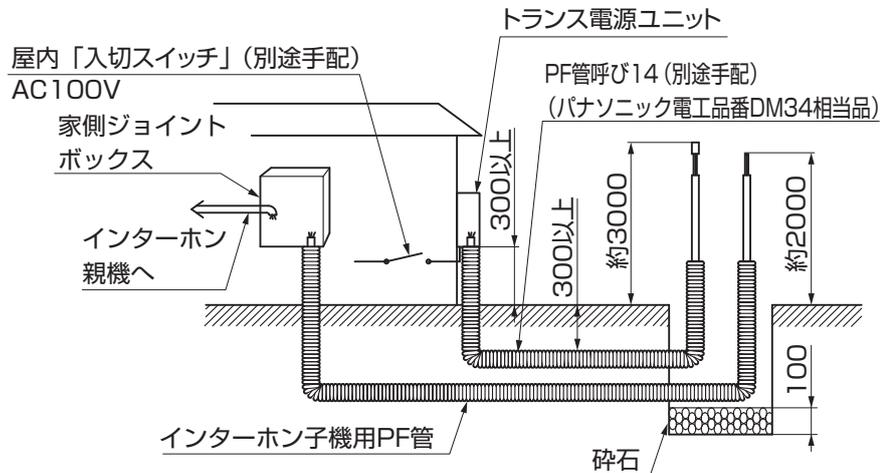
- 埋込み深さは、全て500mmです。
- スクリーン取付け側の基礎寸法Wは柱のスクリーン取付け時基礎サイズと同じ寸法になります。
「Gフレーム取付説明書」(E248)を参照してください。
- 扉取付け時等も同様に柱の基礎寸法が変わる場合は、「Gフレーム取付説明書」(E248)を参照してください。

5 配線工事

1-1 AC100V配線 (AC100V照明)



1-2 DC12V配線 (トランス電源ユニットを使用する場合)



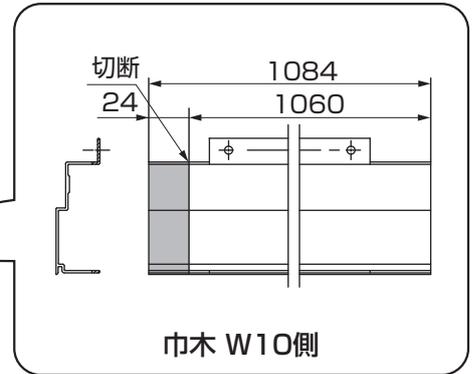
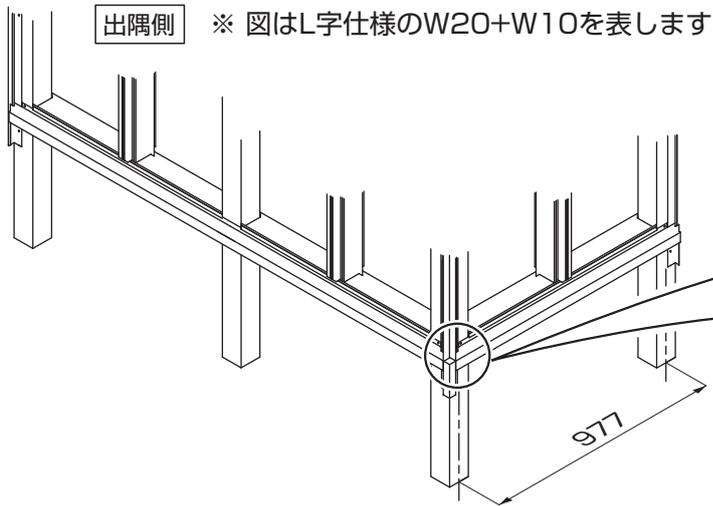
ポイント

- 照明とインターホン子機用配線は、PF管により隔離してください。
- 屋内「入切スイッチ」は必ず設けてください。ランプ交換やお手入れの際に電源をOFFにできなくなります。
- 配管はG.L.よりも200mm程度上げ、パテ埋めなどでの処理を施してください。
- 照明用の配線やインターホンの配線はGウォールの内側に入れ込み、壁の仕上げ材に穴をあけて出しておいてください。照明やインターホンの取付位置や取付方法を確認して、作業内容に合わせた配線の長さを考慮して決めてください。

6 取付け前の準備

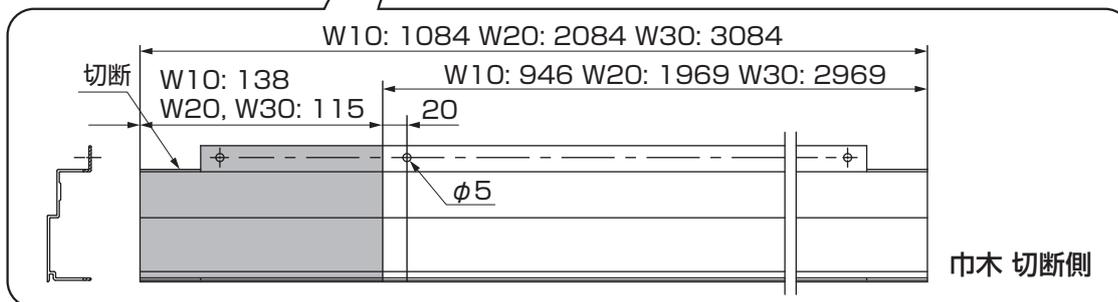
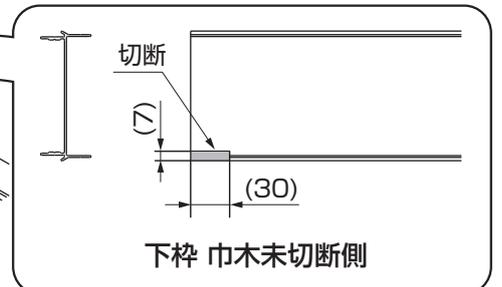
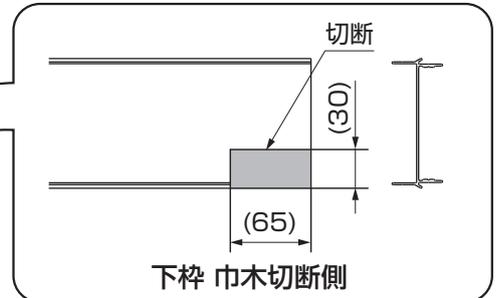
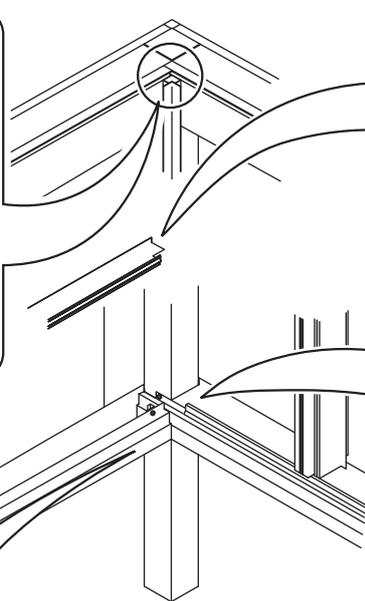
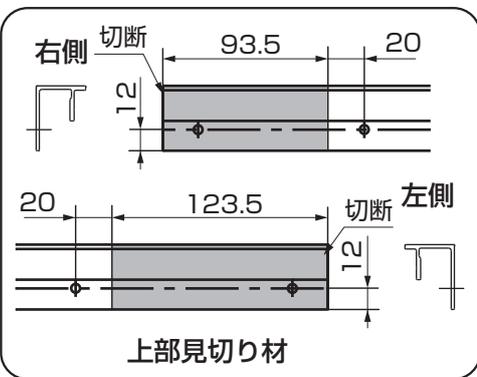
1. 部材の加工

1-1 L字仕様の巾木の加工（出隅側の場合）



1-2 L字仕様の巾木と上部見切り材の加工（入隅側の場合）

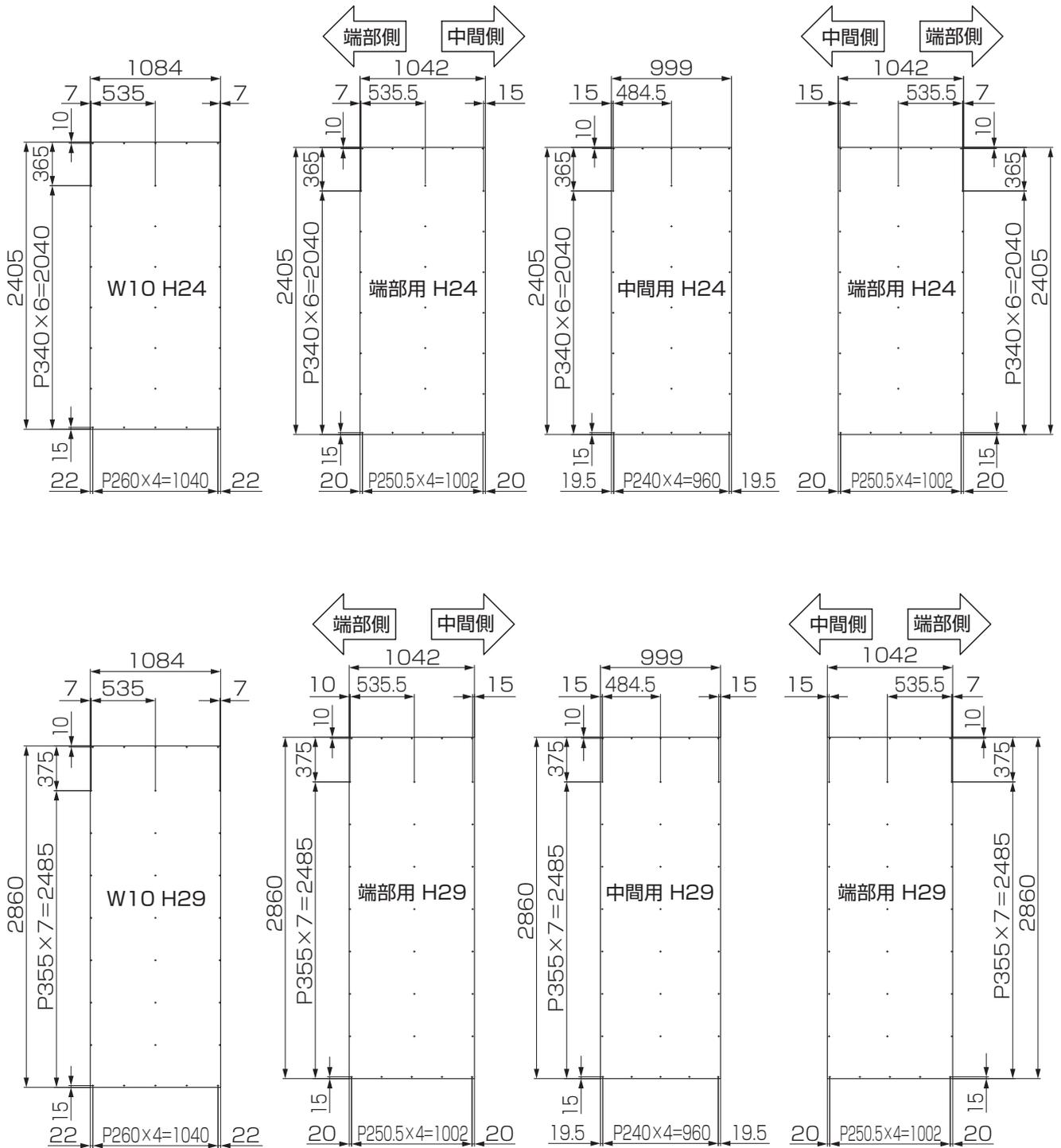
入隅側 ※ 片側の巾木のみ切断



1. (つづき)

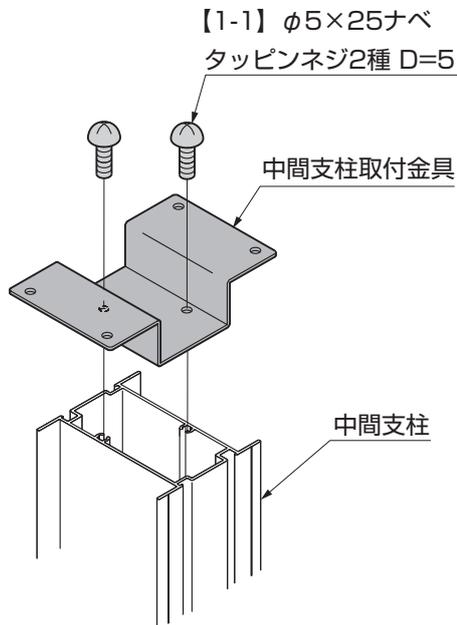
1-3 下地ボードの加工

(1) セラミックタイル用下地ボードの加工 (φ4穴あけ加工)



2. 部品の取付け・組付け

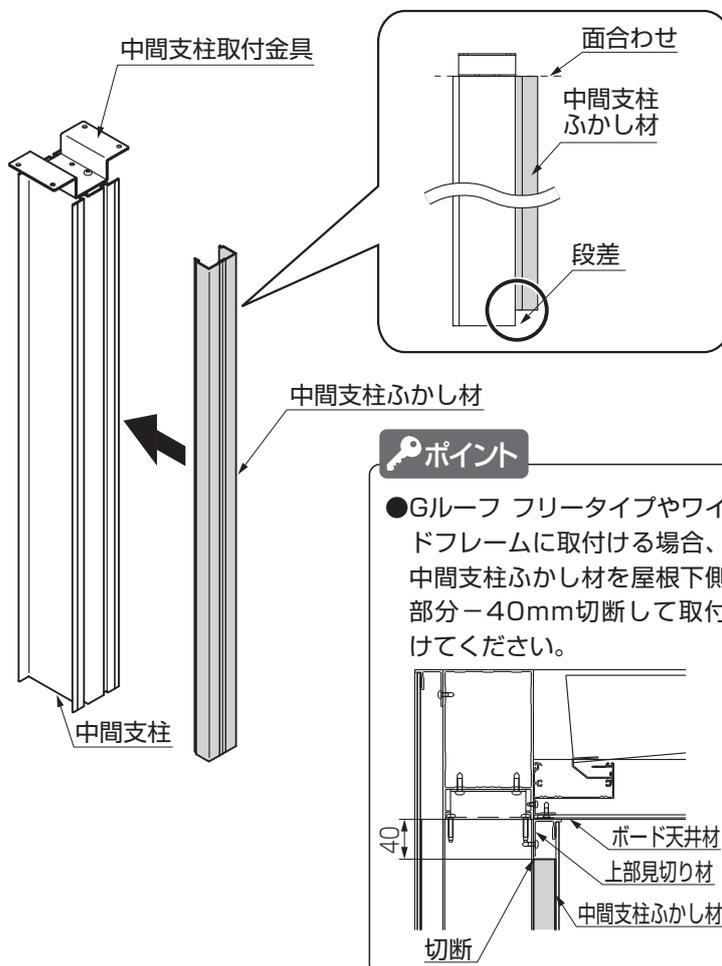
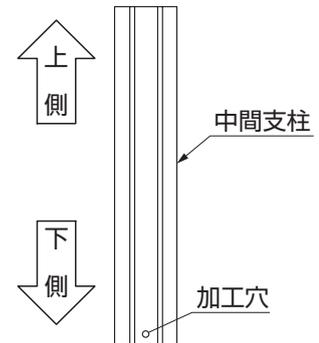
2-1 中間支柱と中間支柱取付金具の取付け



- ① 中間支柱に中間支柱取付金具を【1-1】で取付けてください。

ポイント

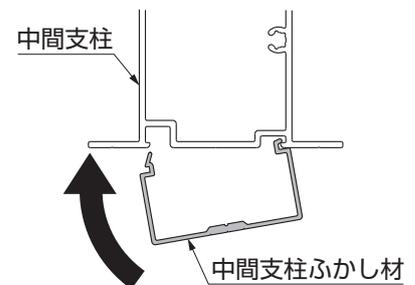
- 中間支柱部材には上下があります。下穴加工をしてある方が下側になります。中間支柱取付金具の上下の確認をして取付けてください。



- ② 中間支柱に中間支柱ふかし材をはめ込んで組付けてください。

ポイント

- 中間支柱ふかし材は片側を中間支柱に掛けてから、逆側を押し込んでください。
- 引っかける向きに注意してください。(中間支柱ふかし材は左右形状が違うので中間支柱の形状を確認して図のように押し込んでください。)

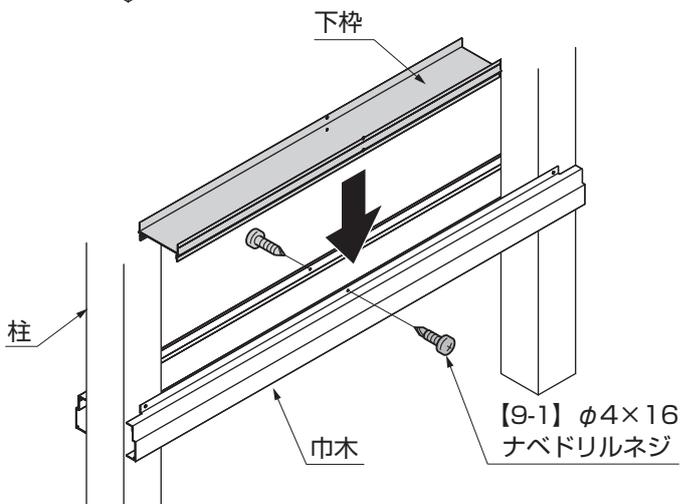
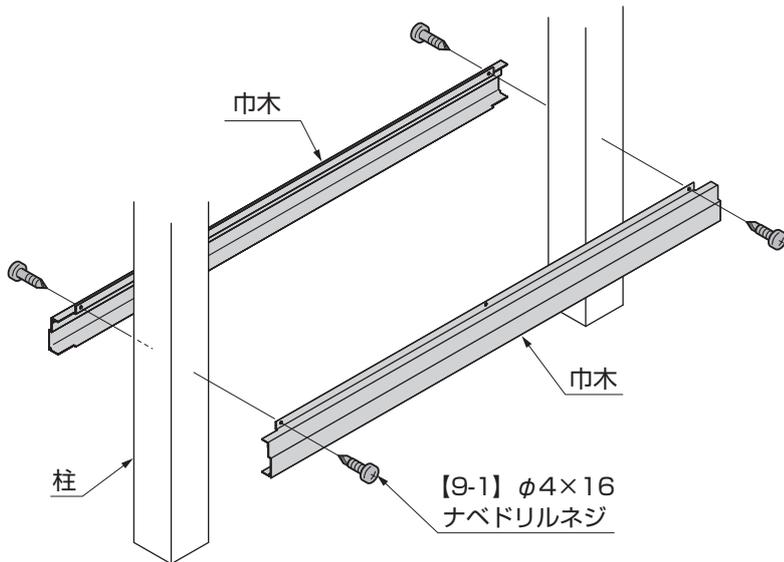
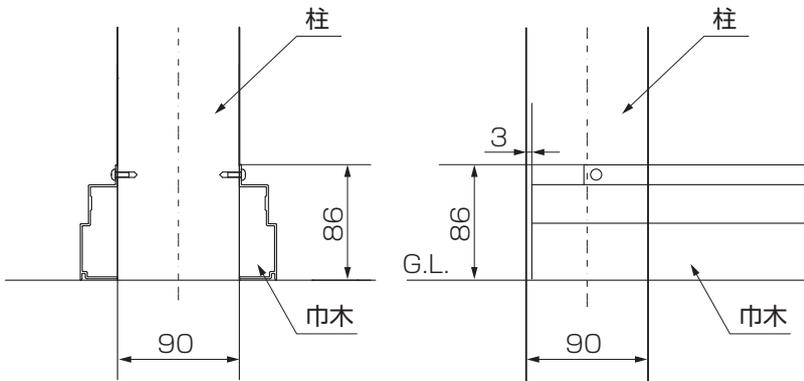


7 Gフレームへの取付け (単独仕様の場合)

※柱とフレームの施工は「Gフレーム取付説明書 (E248M)」を参照してください。
 ※Gルーフフリータイプの化粧樋の施工はP.11~P.14の「化粧樋 (外側排水用) の場合」を確認し、「Gルーフフリータイプ取付説明書 (E258)」を参照して取付けてください。
 ※後付けポスト・表札の下地取付けは、P.59を参照してください。
 ※スマート宅配ポストの下地取付けは、P.62を参照してください。

1. 巾木と下枠の取付け

1-1 W10の場合



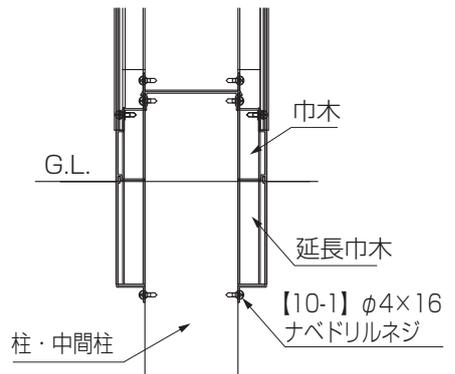
③巾木の下に下枠を差し込んでください。

④下枠を柱から左右2.5mm隙間をあけて巾木に【9-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

①柱に巾木を取付ける位置 (墨出し) をしてください。

ポイント

延長巾木の場合

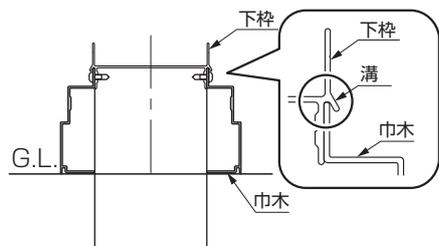


●巾木の下に溝に、延長巾木の上を入れて、【10-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

②巾木上の高さをG.L.から86mmにして柱から3mm内側に合わせて、【9-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

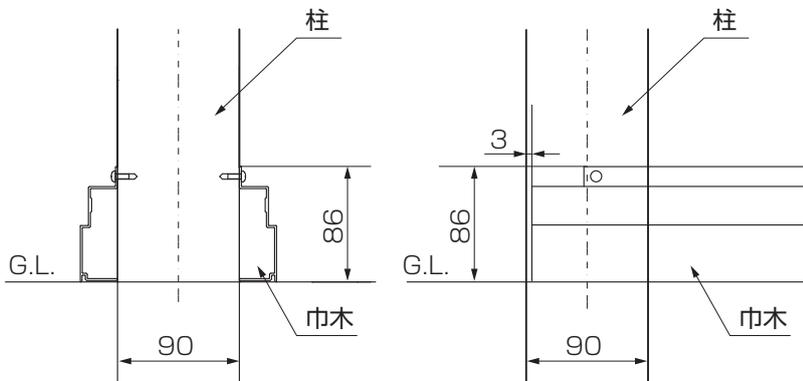
ポイント

●下枠の溝に巾木の上がかみ合っていることを確認してください。

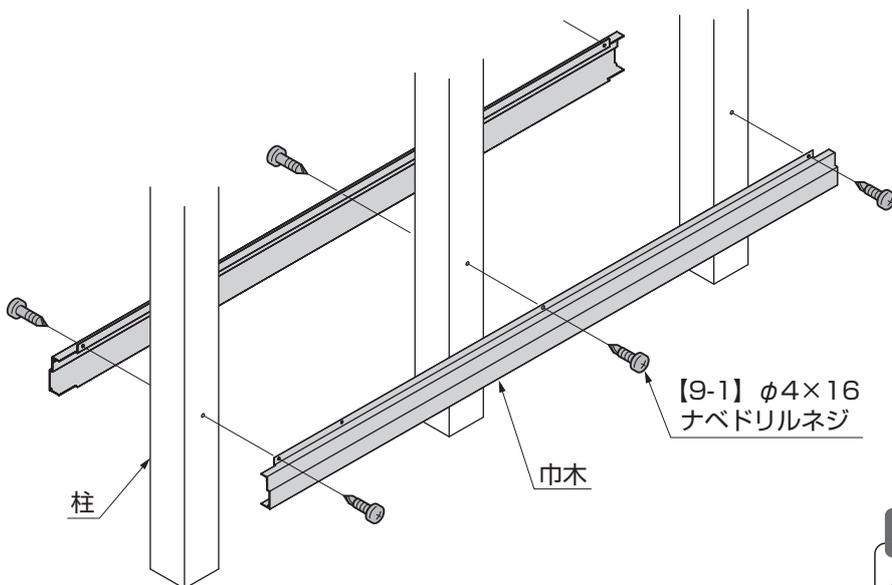


1. (つづき)

1-2 W20以上の場合



①柱に巾木を取付ける位置（墨出し）をしてください。

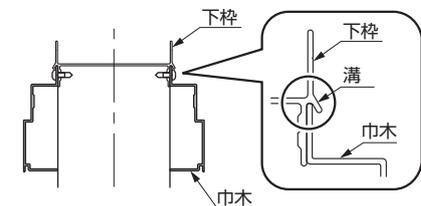


②巾木上の高さをG.L.から86mmにして柱から3mm内側に合わせて、【9-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

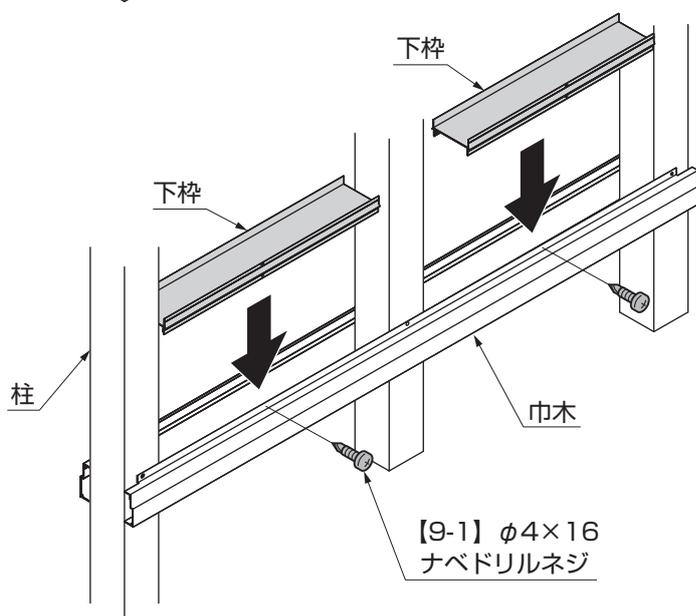
③巾木の下に下枠を差し込んでください。

ポイント

●下枠の溝に巾木の上部がかみ合っていることを確認してください。

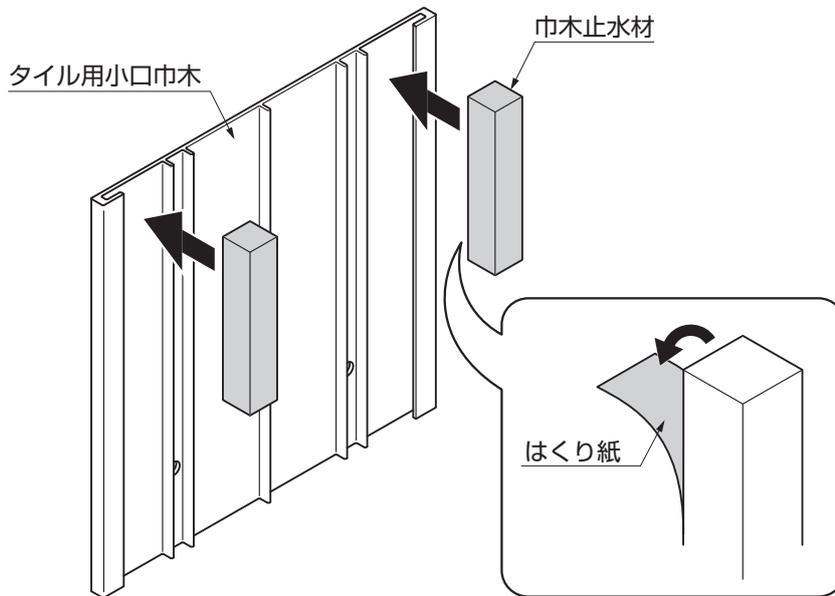


④下枠を柱から左右2.5mm隙間をあけて巾木に【9-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。



1. (つづき)

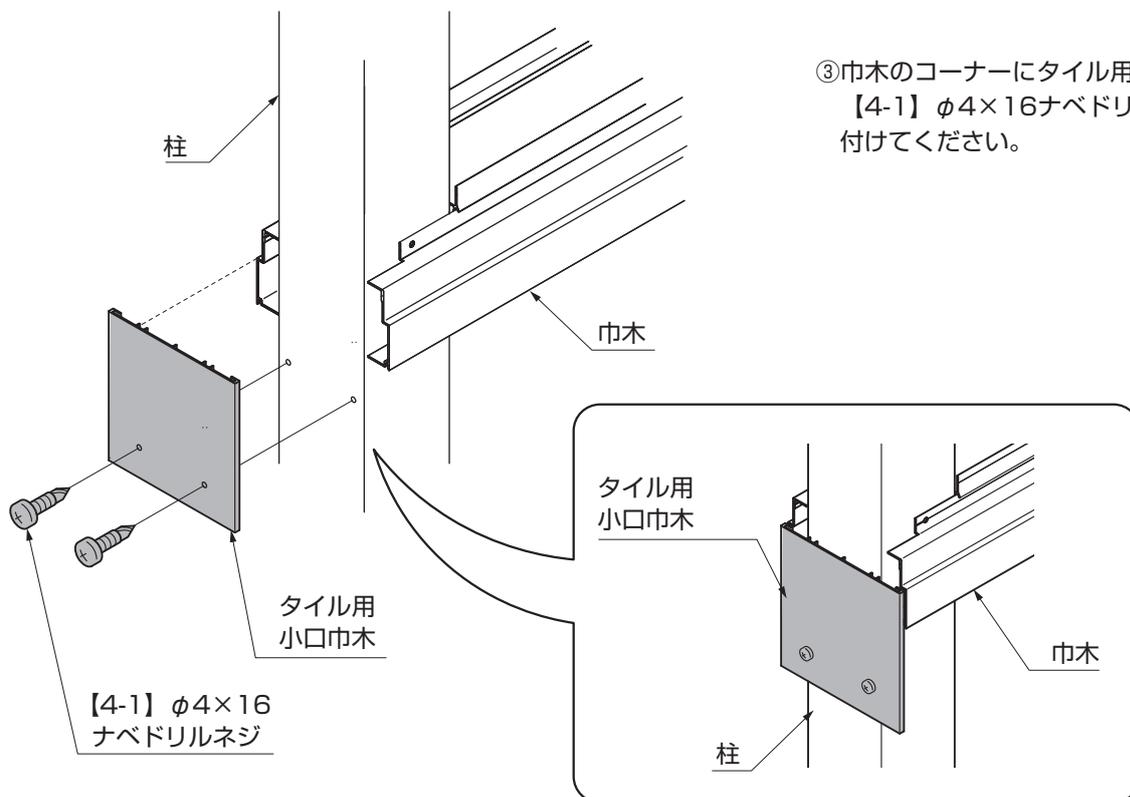
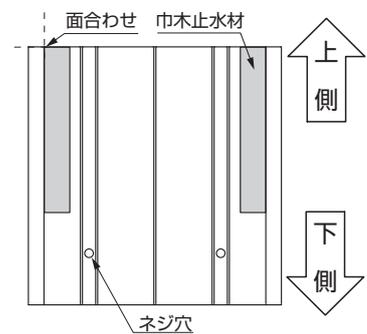
1-3 タイル用小口巾木の取付け (タイルを小口に貼る場合)



- ①巾木止水材のはくり紙をはがしてください。
- ②巾木止水材をタイル用小口巾木の上端に貼付けてください。

ポイント

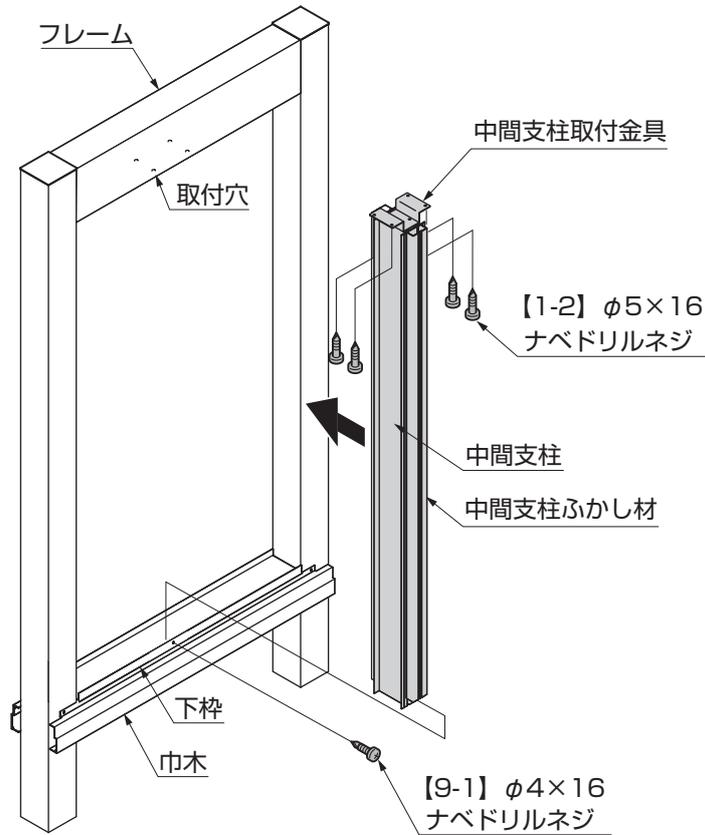
- 巾木止水材は図の位置に合わせて2つ取付けてください。
- ネジ穴がある方が下側になります。



- ③巾木のコーナーにタイル用小口巾木を【4-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

【4-1】φ4×16
ナベドリルネジ

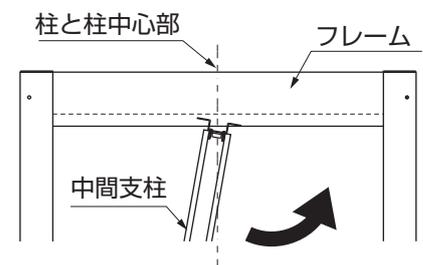
2. 中間支柱とフレームの取付け



①中間支柱をフレーム下と下枠に入れたら下枠に空いている取付穴と中間支柱に空いている取付穴を合わせて【9-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

ポイント

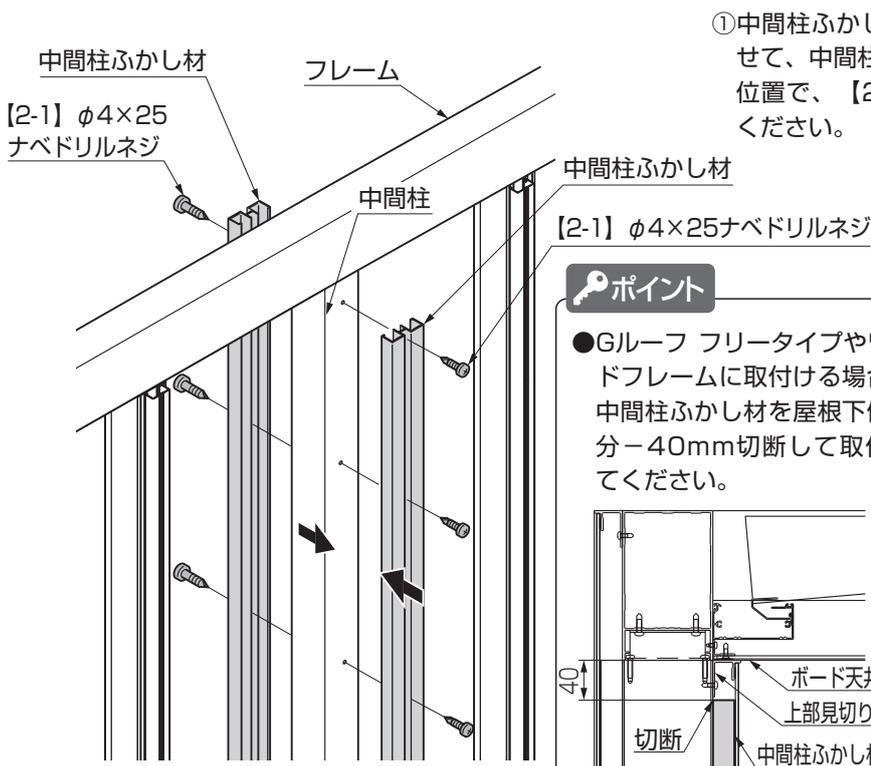
●中間支柱の上部をフレームの下に差し込み、斜めにして下側を下枠の中に入れます。



②下枠を取付けたら、中間支柱を垂直にして柱と柱の中心に来るようにしてフレームに【1-2】φ5×16ナベドリルネジで取付けてください。

3. 中間柱ふかし材の取付け

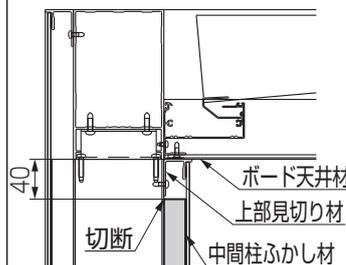
※W20とW30の場合の作業です



①中間柱ふかし材を中間柱から15mm内側に位置を合わせて、中間柱ふかし材の高さを中間柱の天端にあわせた位置で、【2-1】φ4×25ナベドリルネジで取付けてください。

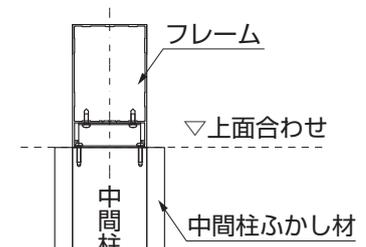
ポイント

●Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、中間柱ふかし材を屋根下側部分40mm切断して取付けてください。



ポイント

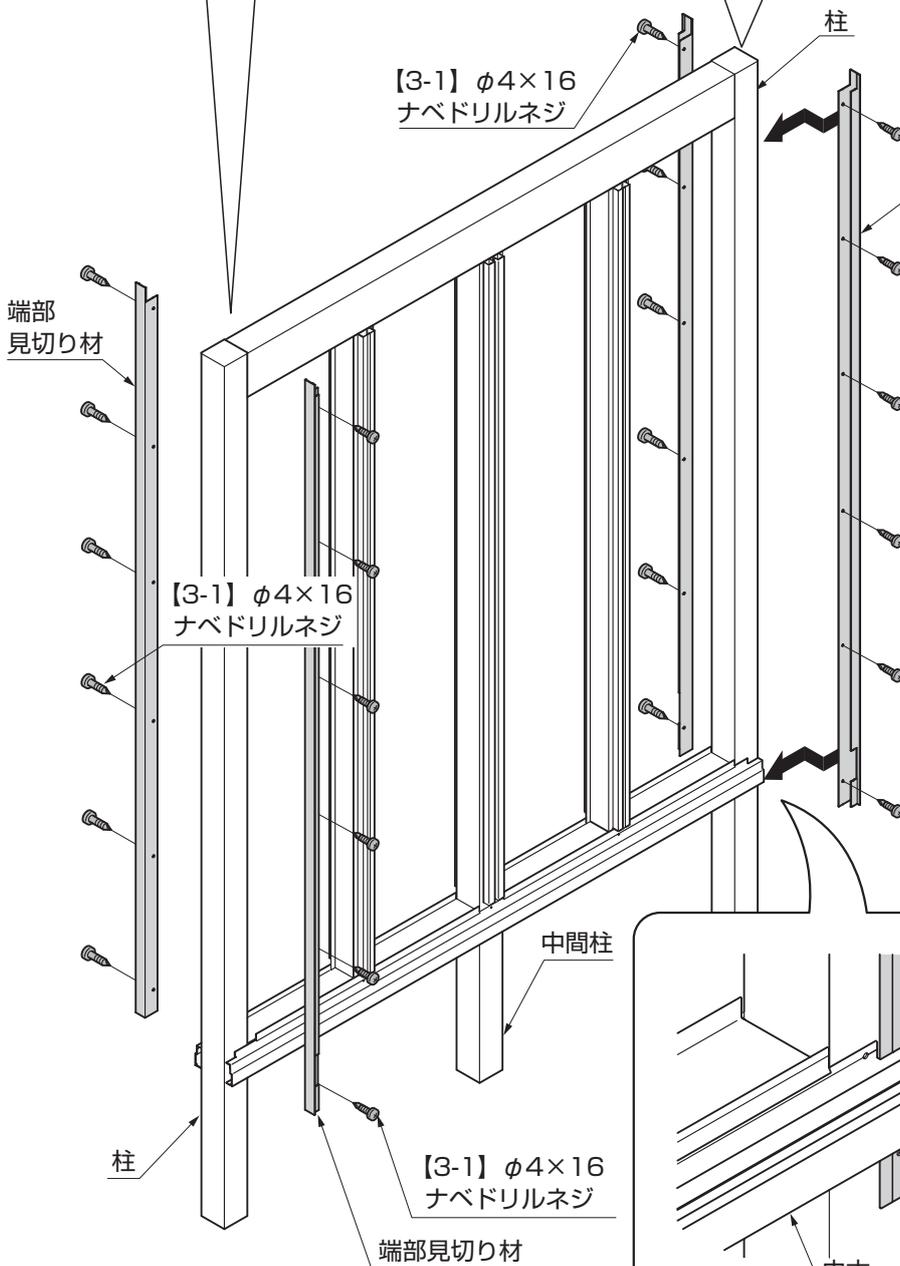
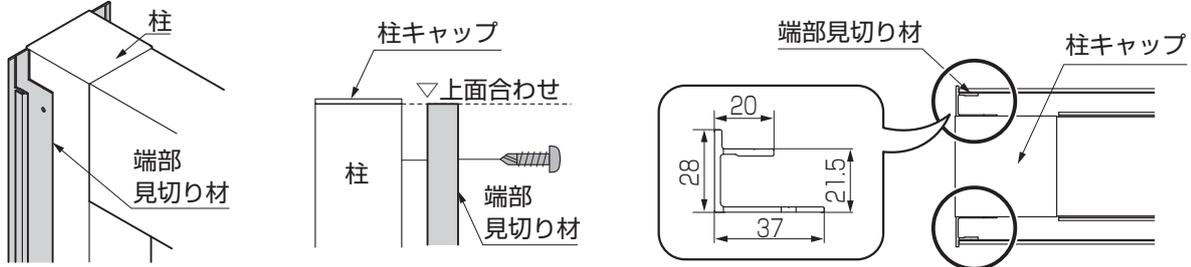
●中間柱ふかし材は、中間柱の上面に合わせて取付けてください。



4. 端部小口セットAの取付け

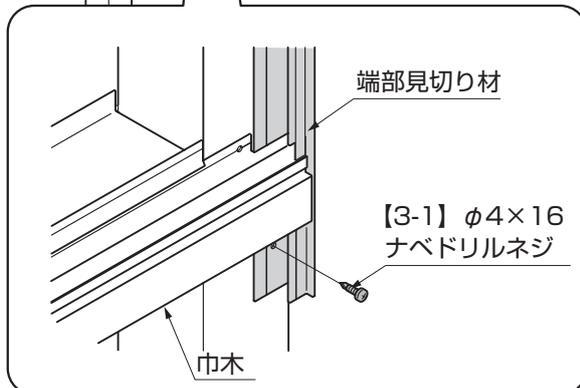
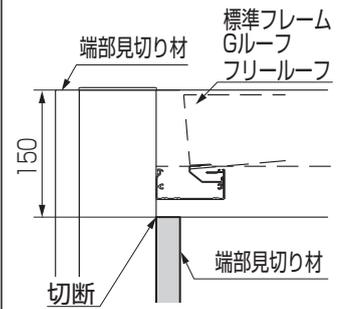
ポイント

●端部見切り材は柱の上面合わせで取付けてください。



ポイント

●Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、端部見切り材は屋根下側部分に納まるようー150mm切断して取付けてください。端部見切り材の上部は、切断した部分の切り欠き加工を現場でしてください。

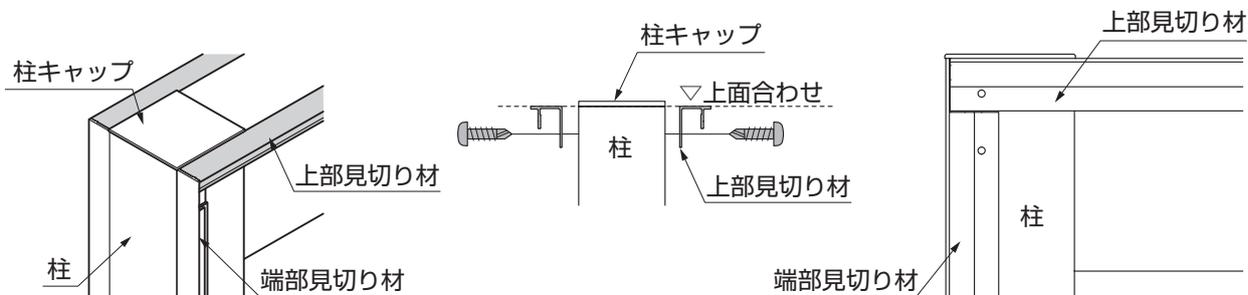


①端部見切り材を柱面に合せ、上部を柱の天面に合わせた位置で、【3-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

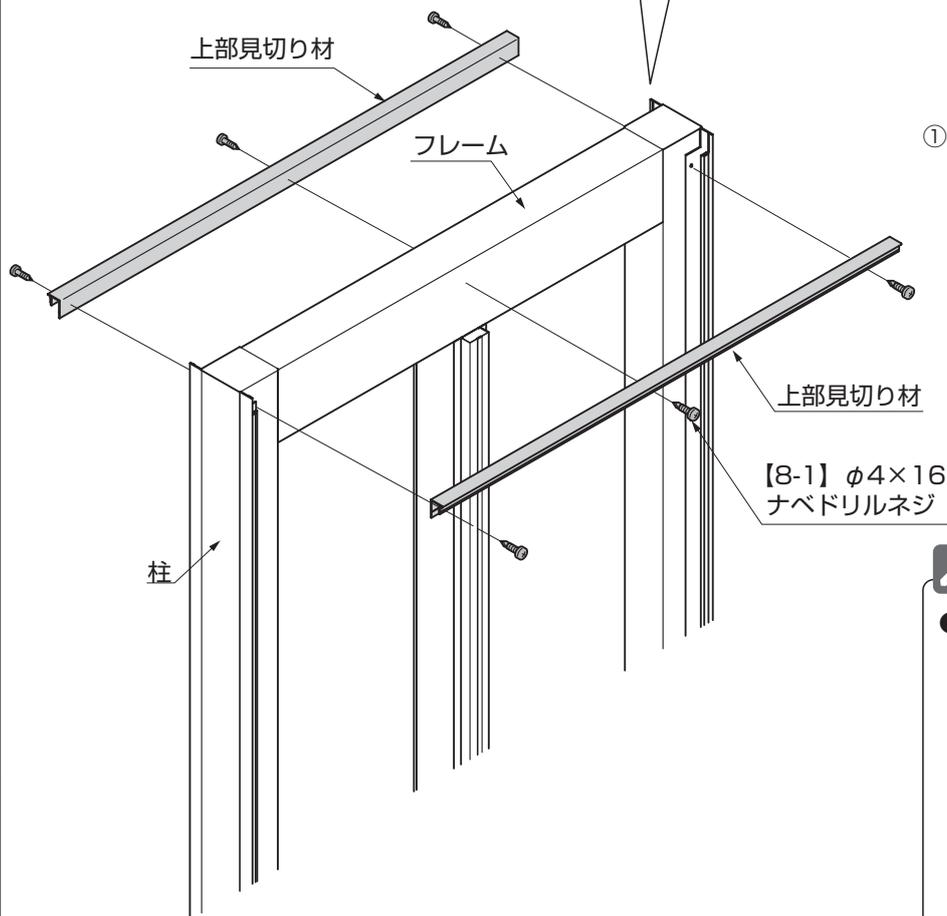
5. 上部見切り材の取付け（ラッピングボード仕様の場合）

ポイント

- 上部見切り材は、柱・フレームの上面合せで取付けてください。
- 上部見切り材の端部は、左右の端部見切り材の内々に納まるよう取付けてください。

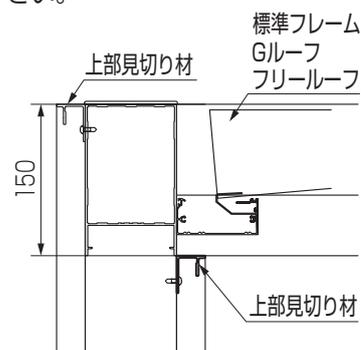


- ① 上部見切り材を柱とフレームに【8-1】で取付けます。



ポイント

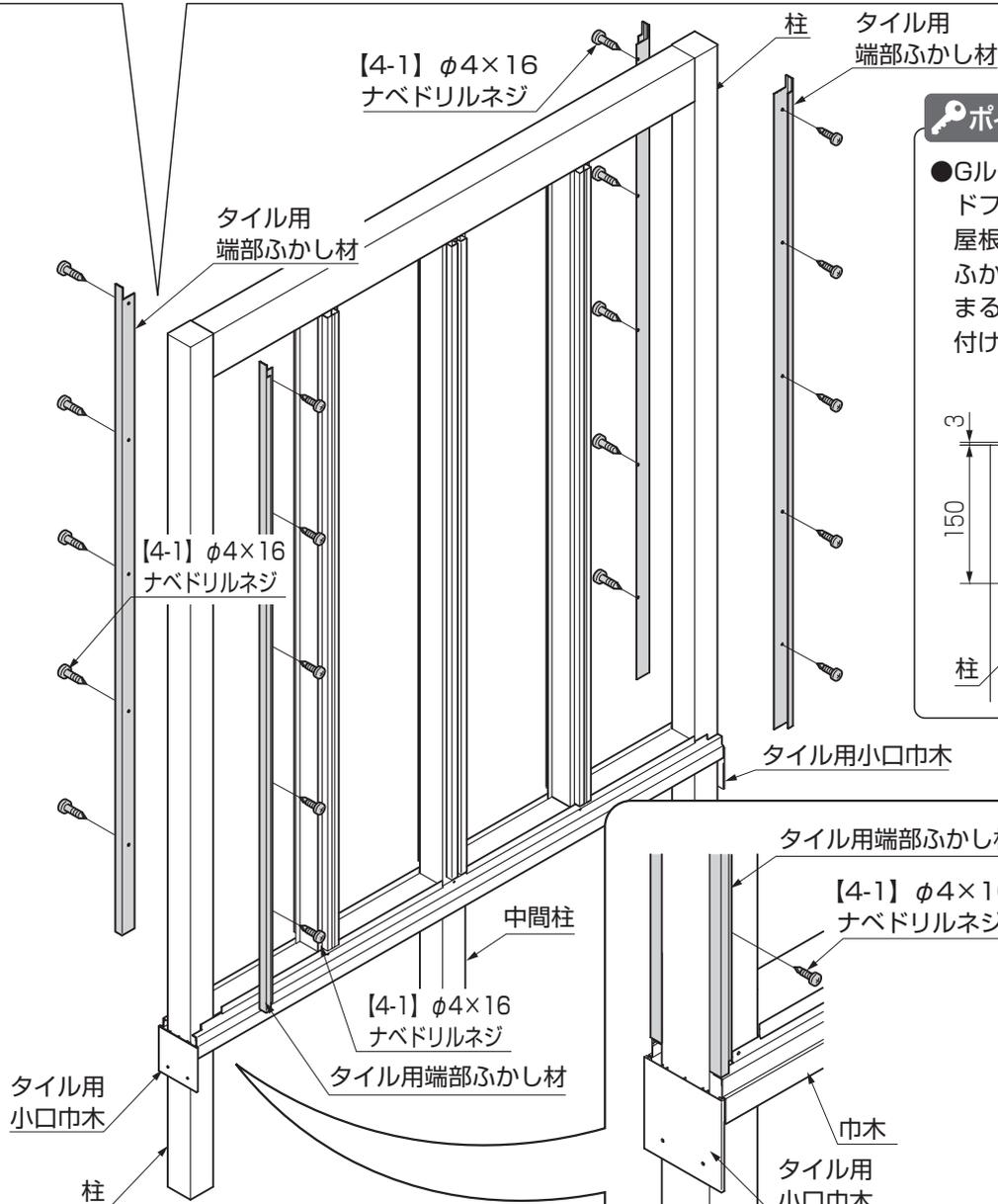
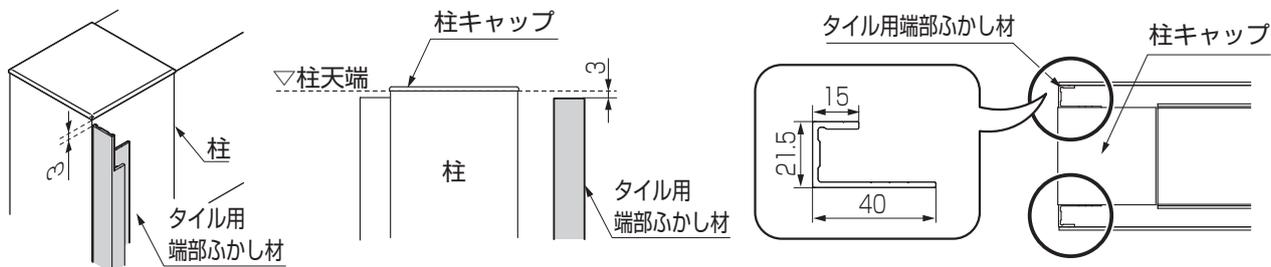
- Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、屋根下側になる上部見切り材は、天端をフレーム下に合わせて取付けてください。



6. 端部小口セットBの取付け（タイルを小口に貼る場合）

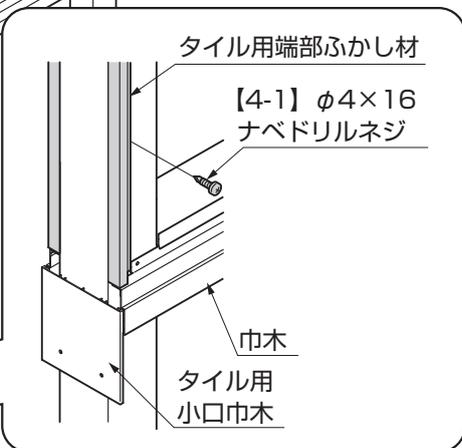
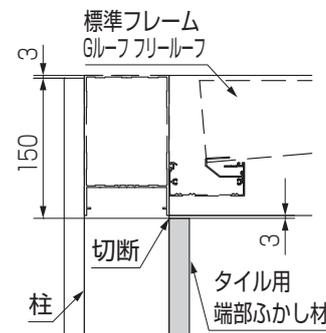
ポイント

- タイル用端部ふかし材は、柱の天端から3mm下げた位置に取付けてください。
柱の天面に合わせて取付けてしまうと、上部見切り材が取りつかなくなります。



ポイント

- Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、屋根下側になるタイル用端部ふかし材は、フレーム下に納まるよう、現場で切断して取付けてください。

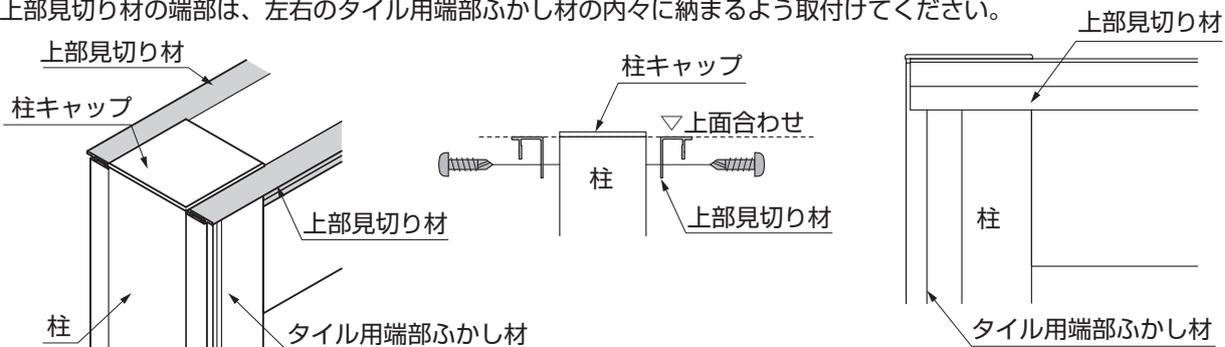


- ①タイル用端部ふかし材を柱面に合せ、上部を柱の天面から3mm下げた位置で、【4-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

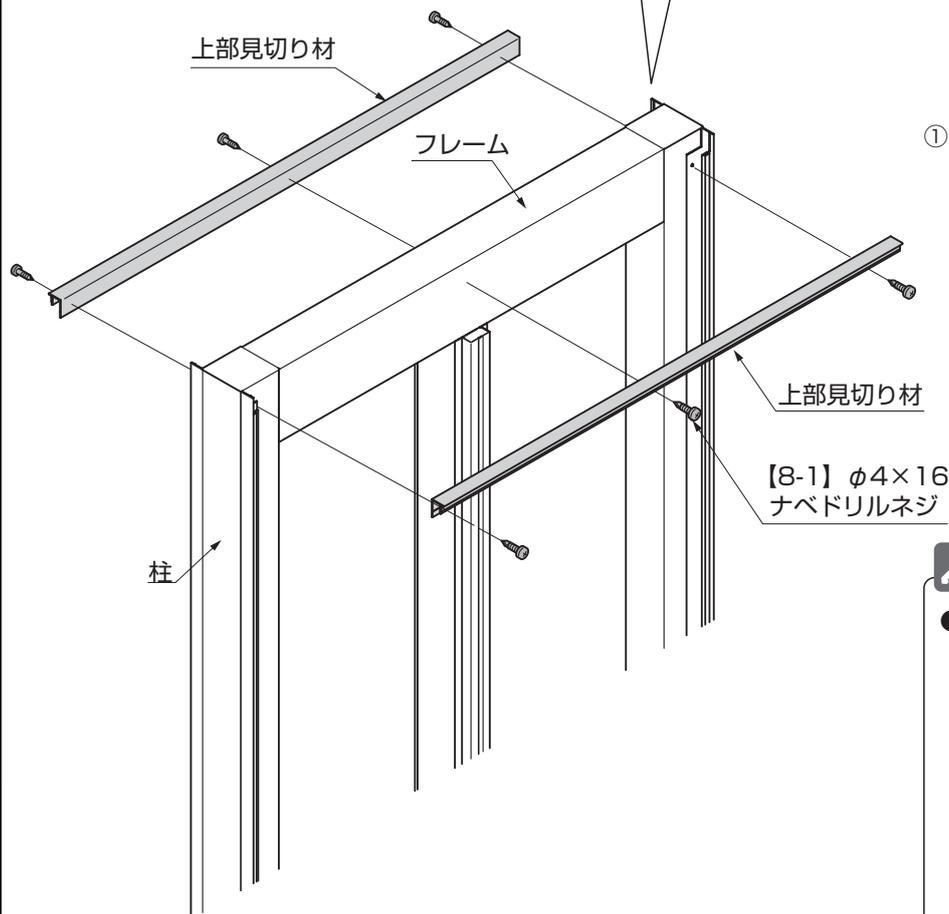
7. 上部見切り材の取付け（セラミックタイル仕様の場合）

ポイント

- 上部見切り材は、柱・フレームの上面合せで取付けてください。
- 上部見切り材の端部は、左右のタイル用端部ふかし材の内々に納まるよう取付けてください。

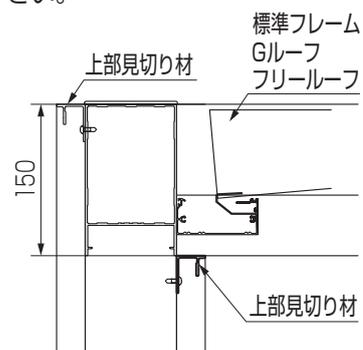


- ① 上部見切り材を柱とフレームに【8-1】で取付けます。



ポイント

- Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、屋根下側になる上部見切り材は、天端をフレーム下に合わせて取付けてください。



8 Gウォール コーナー仕様下地取付け (ラッピングボードとセラミックタイルの場合)

1. 基本構造

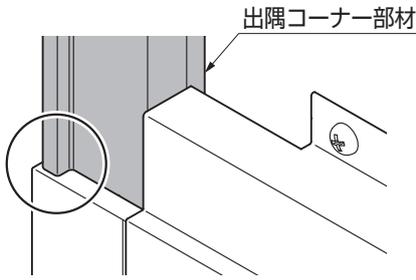


図1-1 ラッピングボードの場合の下地

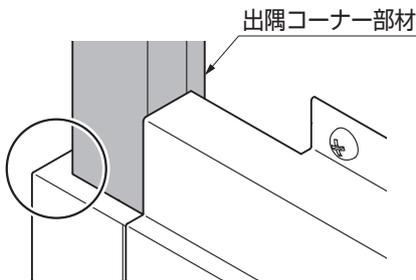
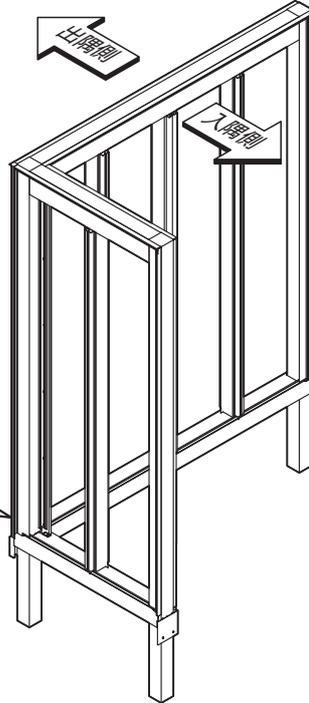


図1-2 セラミックタイルの場合の下地



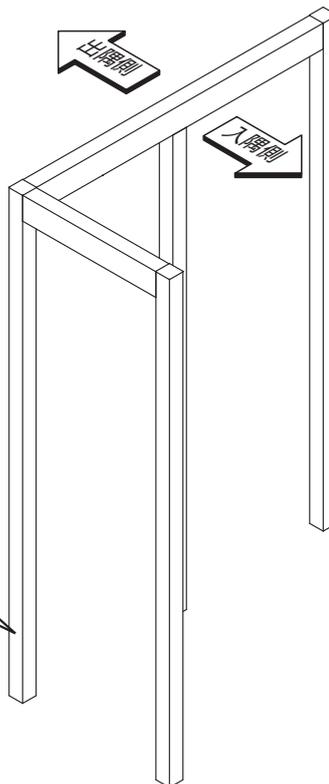
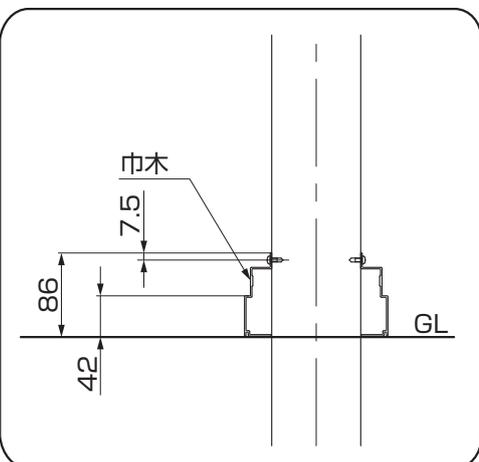
ポイント

- ラッピングボード仕様とセラミックタイル仕様は、基本の下地構造は単独仕様の下地構造は同じですが、出隅コーナー部材で違いが出ます。

注意

- 以後、図はW20+W10のコーナー仕様で取付け手順を説明します。
- コーナー仕様の場合W20+W10の場合のみW10の柱の芯々を977にしてください。
(ラッピングボードが貼れなくなります。)
- W20+W20やW30+W30などの場合は、柱の芯々は1000になります。

2. コーナーの作成と墨出し

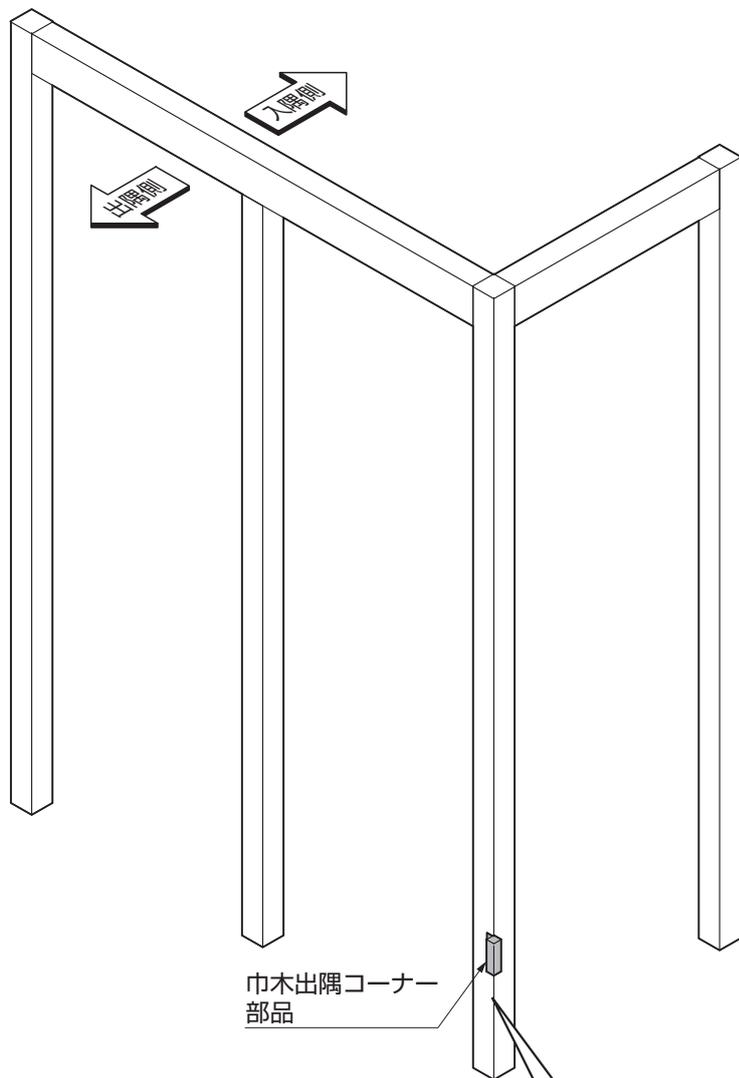


ポイント

- フレームと柱を接続し組付けてコーナーを作成してください。
(ここまでは、Gフレームの組付けです。) Gフレームの取付説明書(E248)を参照してください。

- ①G.L.から巾木を取付ける高さの墨出し作業を行なってください。

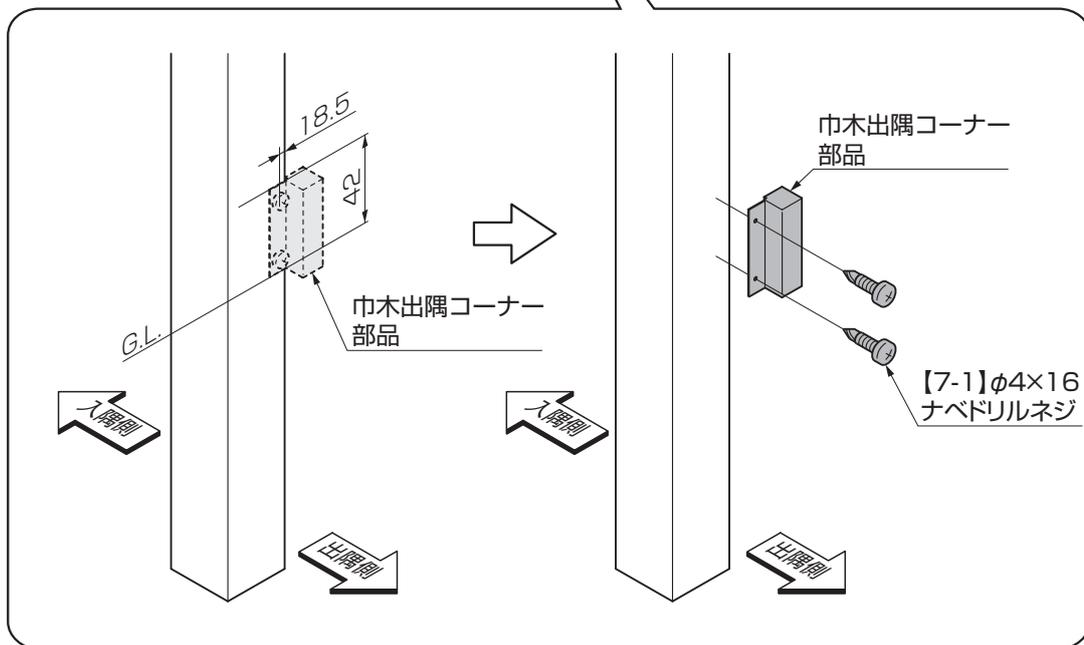
3. 巾木出隅コーナー部品の取付け



①巾木出隅コーナー部品をコーナー柱の角に【7-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

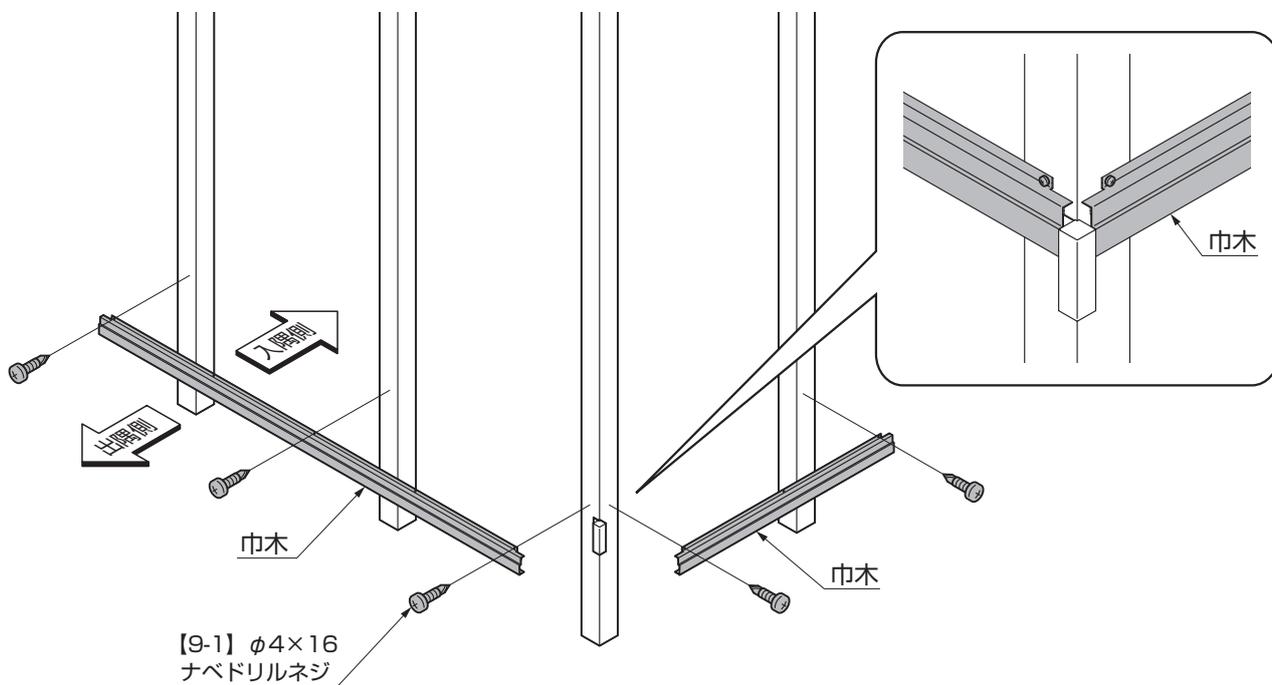
ポイント

- 巾木出隅コーナー部品の天端がGLから42mmの高さになるように取付けてください。
- 巾木出隅コーナー部品の天端の切欠き部分を柱の角に合わせ、柱から18.5mmの位置に取付けネジを取付けてください。



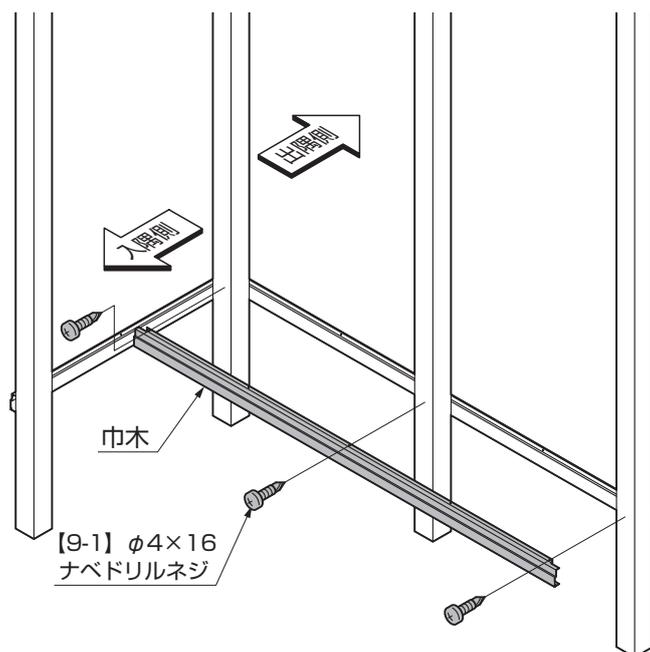
4. 巾木の取付け

4-1 出隅側の取付け



①出隅側の巾木を柱に【9-1】で取付けてください。

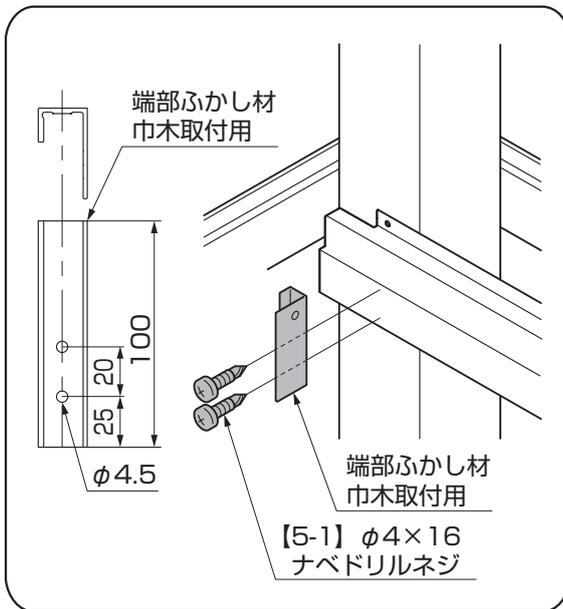
4-2 入隅側（規格巾木）の取付け



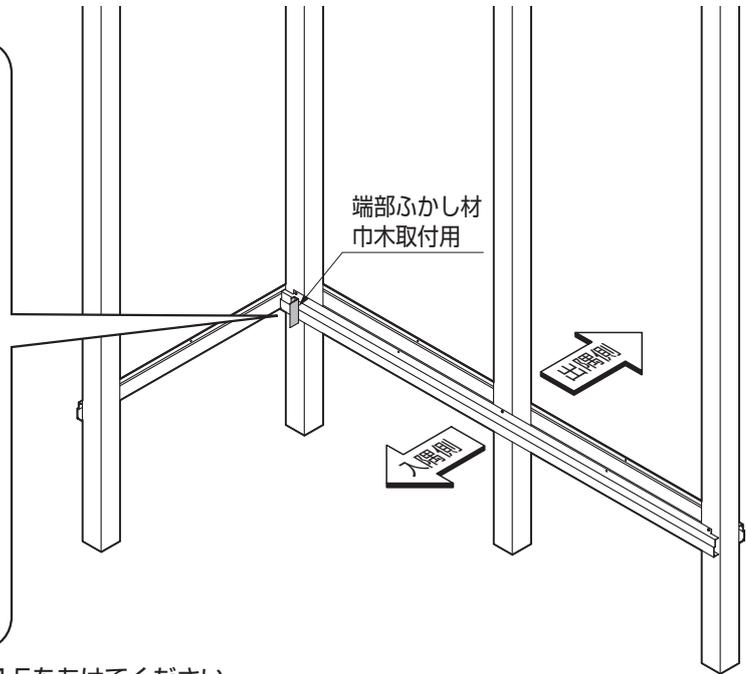
①規格巾木を柱に【9-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

4. (つづき)

4-3 端部ふかし材(巾木取付用)の取付け



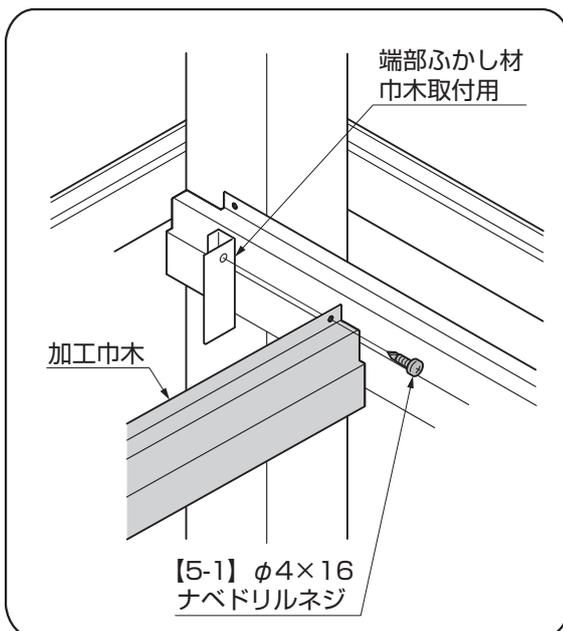
- ① 端部ふかし材巾木用に巾木に取付ける穴 $\phi 4.5$ をあけてください。
- ② 端部ふかし材巾木用を巾木に【5-1】で取付けてください。



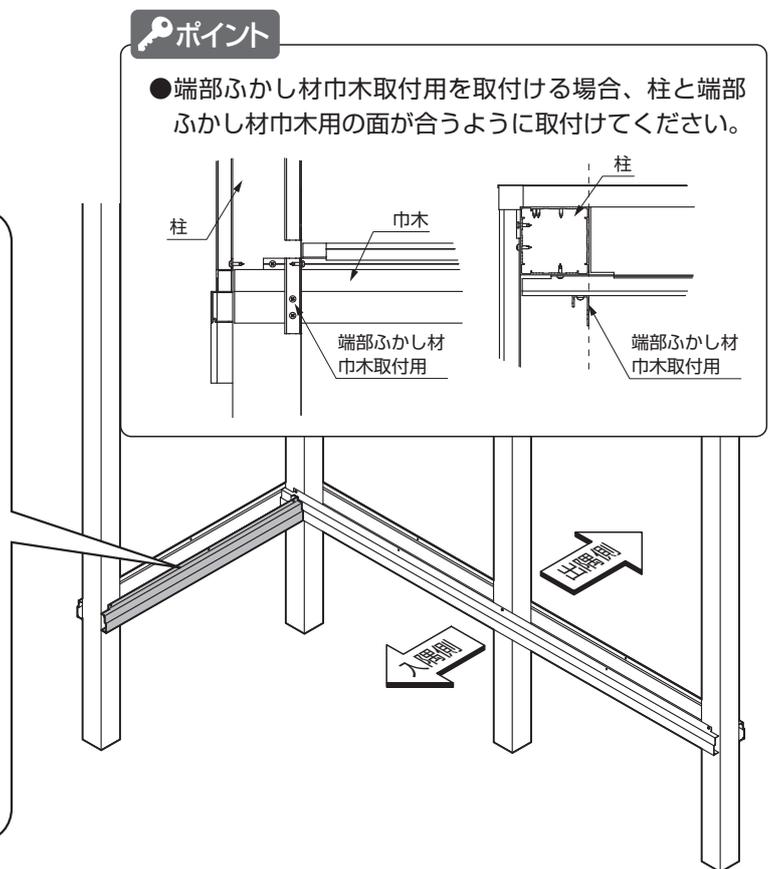
4-4 入隅側 (加工巾木) の取付け

ポイント

- 端部ふかし材巾木取付用を取付ける場合、柱と端部ふかし材巾木用の面が合うように取付けてください。



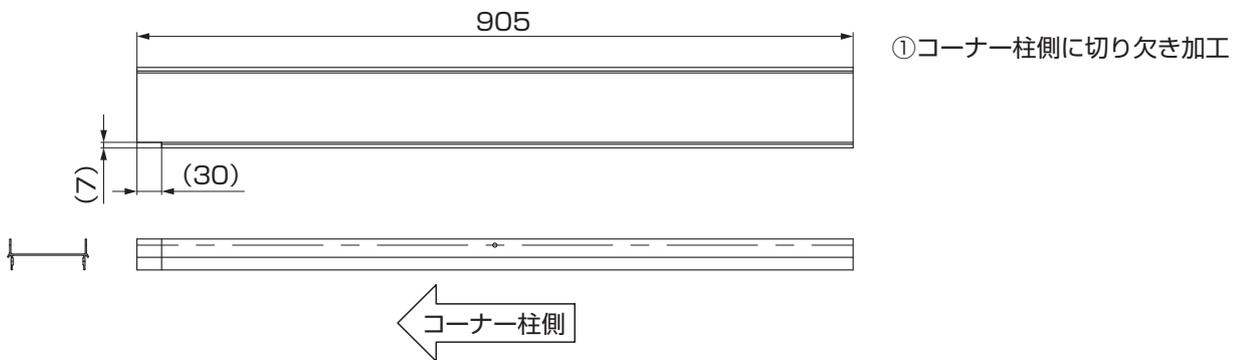
- ① 切断加工した側の巾木端部を端部ふかし材巾木用に【5-1】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジで取付けてください。



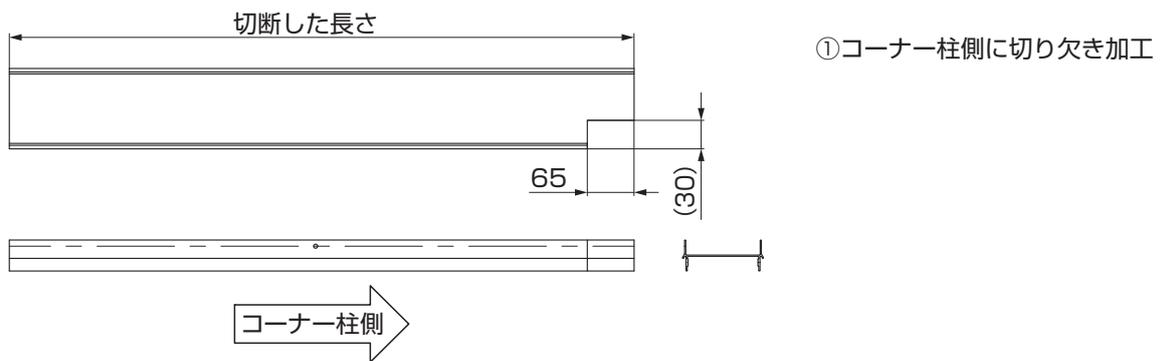
5. 下枠の取付け

5-1 下枠の加工

(1) 下枠A



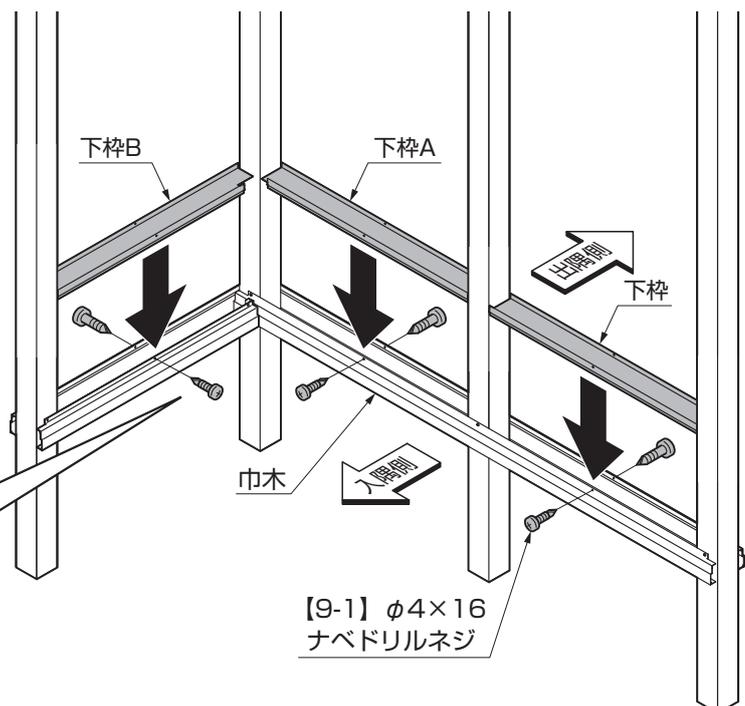
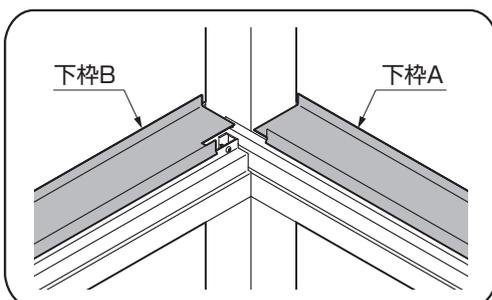
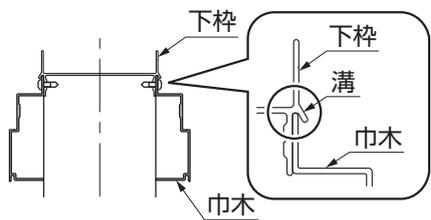
(2) 下枠B



5-2 下枠の取付け

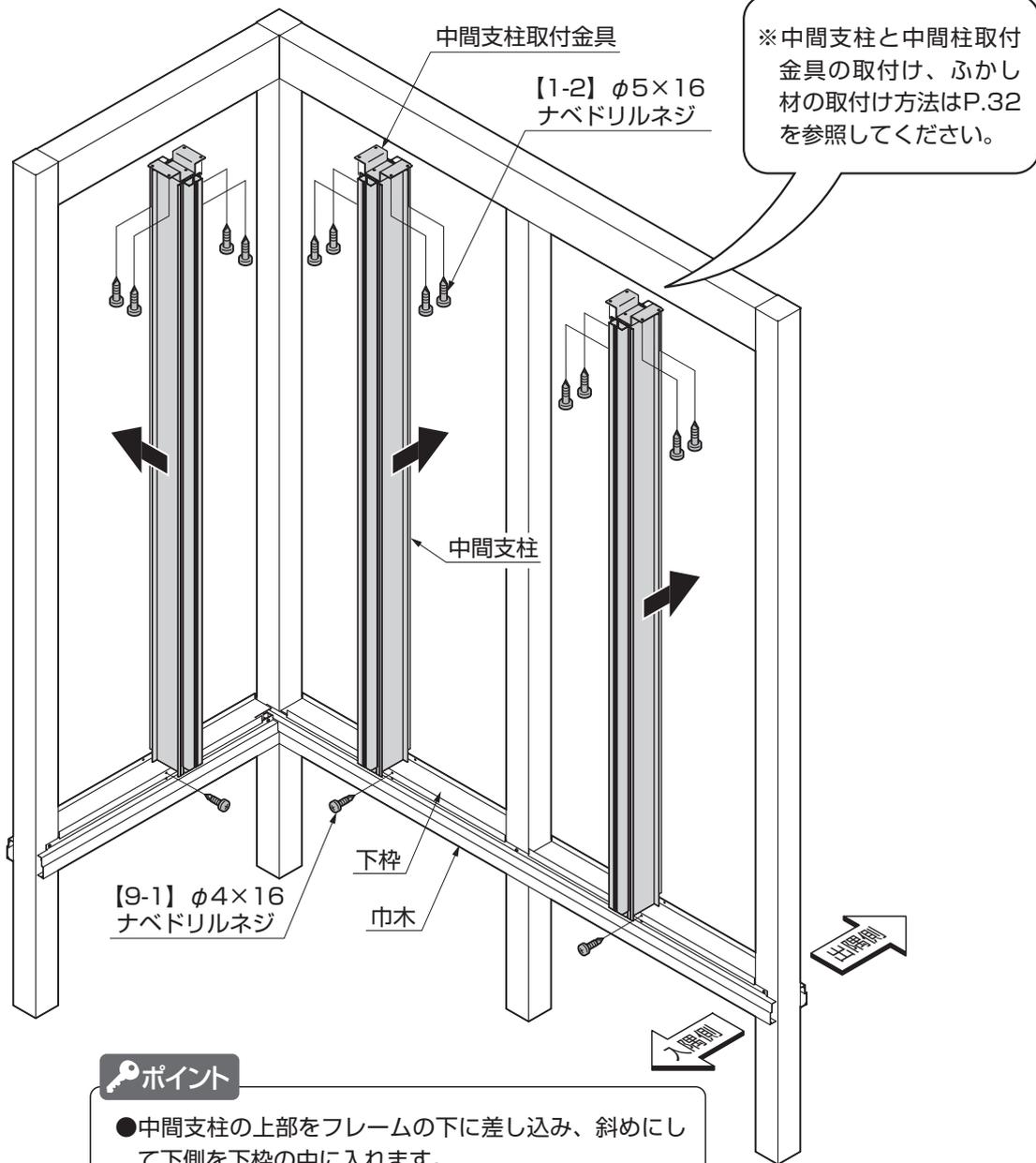
ポイント

- 下枠の溝に巾木の上端がかみ合っていることを確認してください。



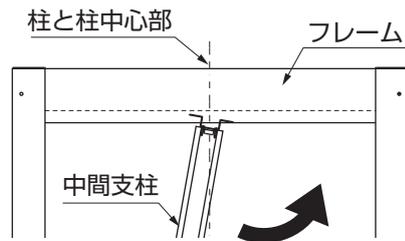
- ①下枠を巾木に【9-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

6. 中間支柱とフレームの取付け



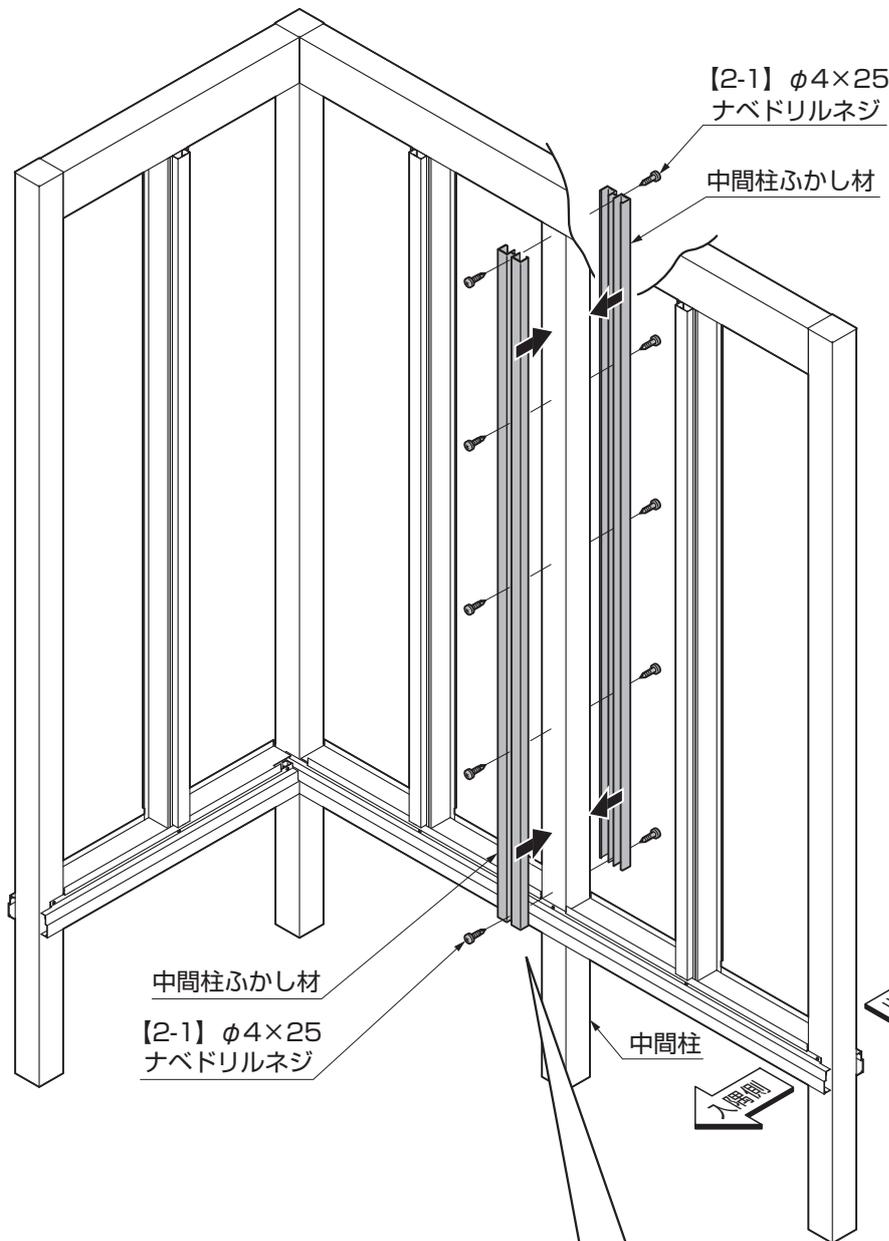
ポイント

- 中間支柱の上部をフレームの下に差し込み、斜めにして下側を下枠の中に入れます。
- 中間支柱は柱（または中間柱）と柱（または中間柱）の中間（芯）に来るように取付けてください。



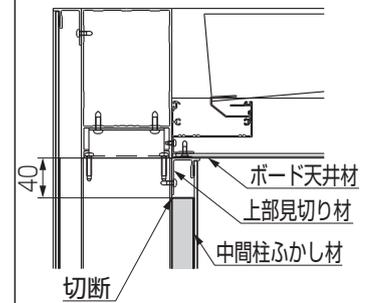
- ① 中間支柱をフレームと下枠に入れたら、下枠に空いている取付穴と中間支柱にあいている取付穴を合わせて【9-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。
- ② 下枠に取付けたら、中間支柱を垂直にして柱と柱の中心に来るようにしてフレームに【1-2】φ5×16ナベドリルネジで取付けてください。

7. 中間柱ふかし材の取付け ※W20とW30の場合の作業です



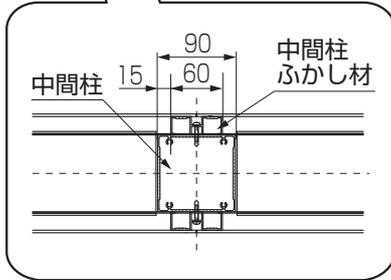
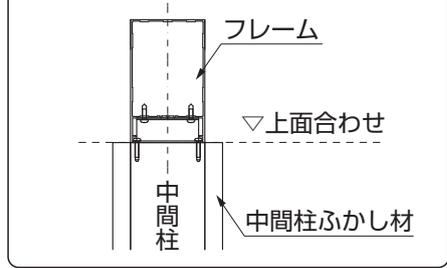
ポイント

- Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、中間柱ふかし材を屋根下側部分-40mm切断して取付けてください。



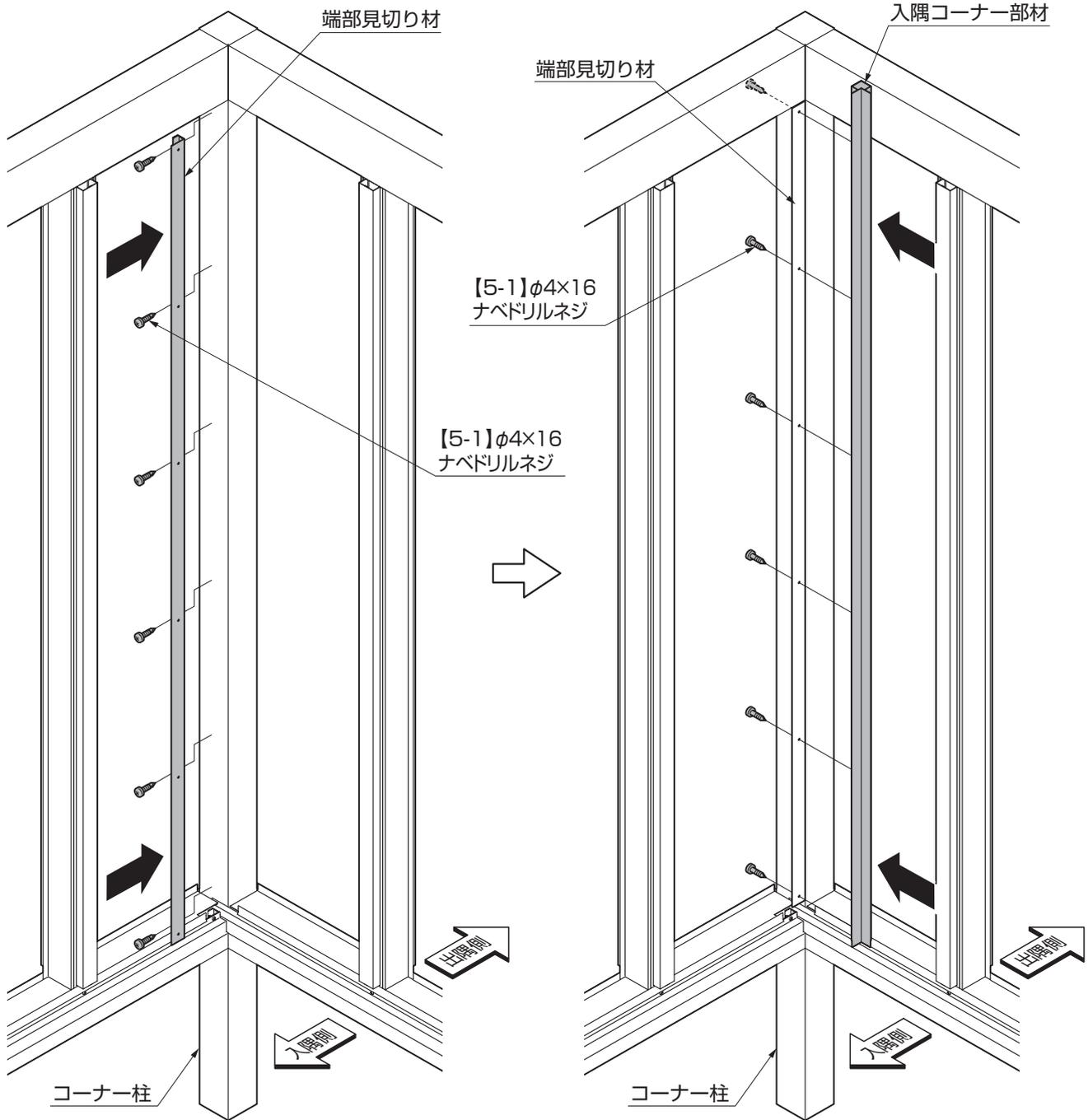
ポイント

- 中間柱ふかし材は、中間柱の上面に合わせて取付けてください。



- ①中間柱ふかし材を中間柱から15mm内側に位置を合わせて、中間柱ふかし材の高さを中間柱の天端にあわせた位置で、【2-1】φ4×25ナベドリルネジで取付けてください。

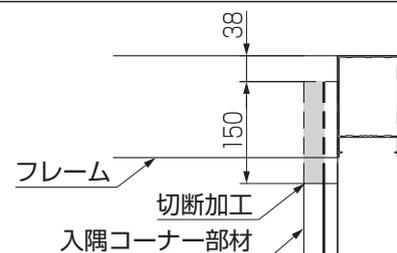
8. 入隅コーナー部材の取付け



- ① 端部見切り材をコーナー柱に【5-1】で取付けてください。
- ② 入隅コーナー部材を端部見切り材に【5-1】で取付けてください。

ポイント

- Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、入隅コーナー部材を150mm切断して、フレームの下端から38mm開けて取付けてください。
- ※ 図はラッピング仕様を示します。セラミックタイル仕様も同様の加工になります。



9. 出隅コーナー部材の取付け (ラッピングボード仕様・セラミックタイル仕様)

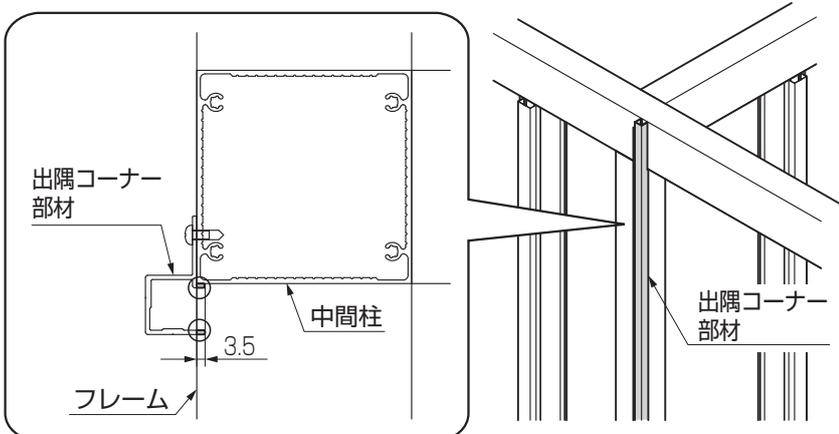
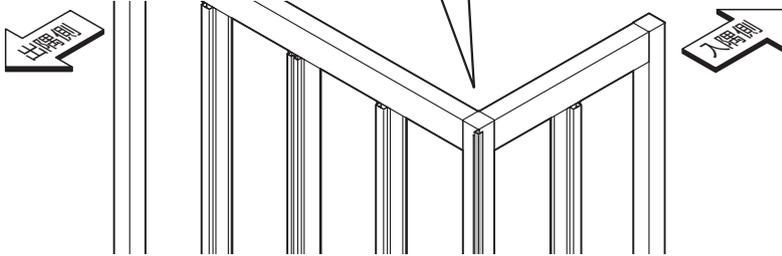
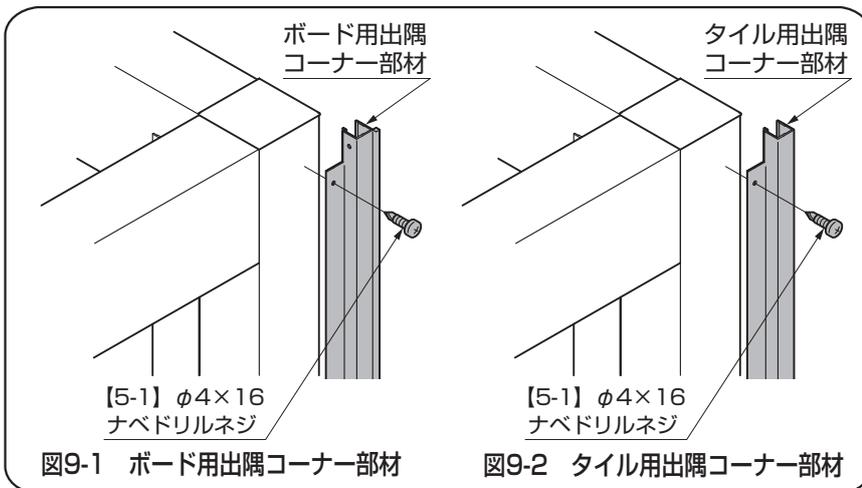


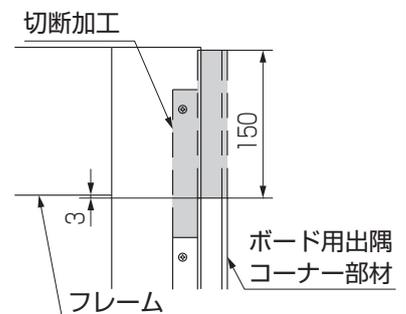
図9-3 エントランス クランクタイプの場合
出隅コーナー部材 上部納まり

①出隅コーナー部材を出隅コーナー柱の角に【5-1】 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジで取付けてください。

ポイント

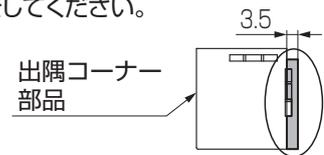
●Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、出隅コーナー部材を150mm切断して、切断した部分の切込み加工をしてください。フレーム下端から3mm開けて、取付けてください。

※図はラッピング仕様を示します。セラミックタイル仕様も同様の加工になります。

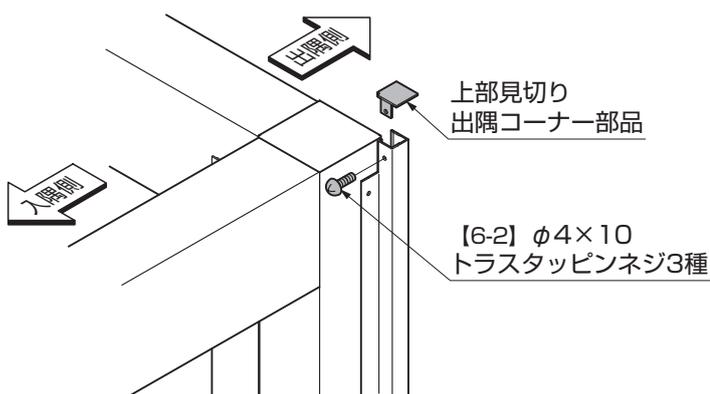


●プラスGエントランス仕様の場合で壁が中央フレームで90°曲がる納まりの場合、出隅コーナー部材の上部を長さ150mmで図の部分を3.5mm切断加工してください。(図9-3参照)

●上記仕様の場合、上部出隅コーナー部品も図のように3.5mm切断加工をしてください。



10. 上部出隅コーナー部品の取付け

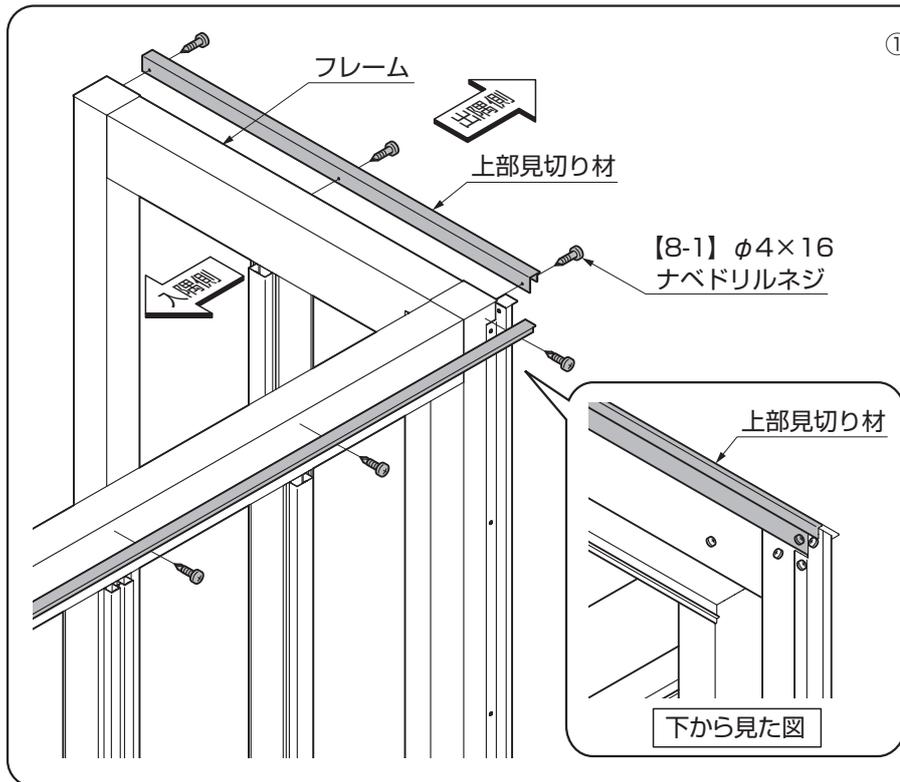


①上部見切り出隅コーナー部品を出隅コーナー部材に【6-2】 $\phi 4 \times 10$ トラストッピンネジ3種で取付けてください。

ポイント

●Gルーフ フリータイプやワイドフレームを取付ける場合、切断した出隅コーナー部材にも上部見切り出隅コーナー部品を取付けてください。

11. 上部見切り材の取付け（出隅）



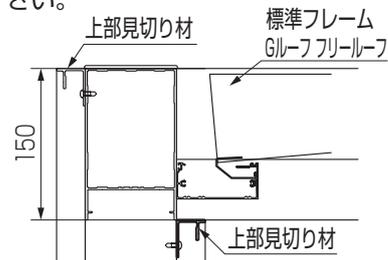
① 上部見切り材をフレームに【8-1】φ4×16 ナベドリルネジで取付けてください。

ポイント

- フレームの天端と同じ高さの位置と上部出隅コーナー部品に突き当てて取付けてください。

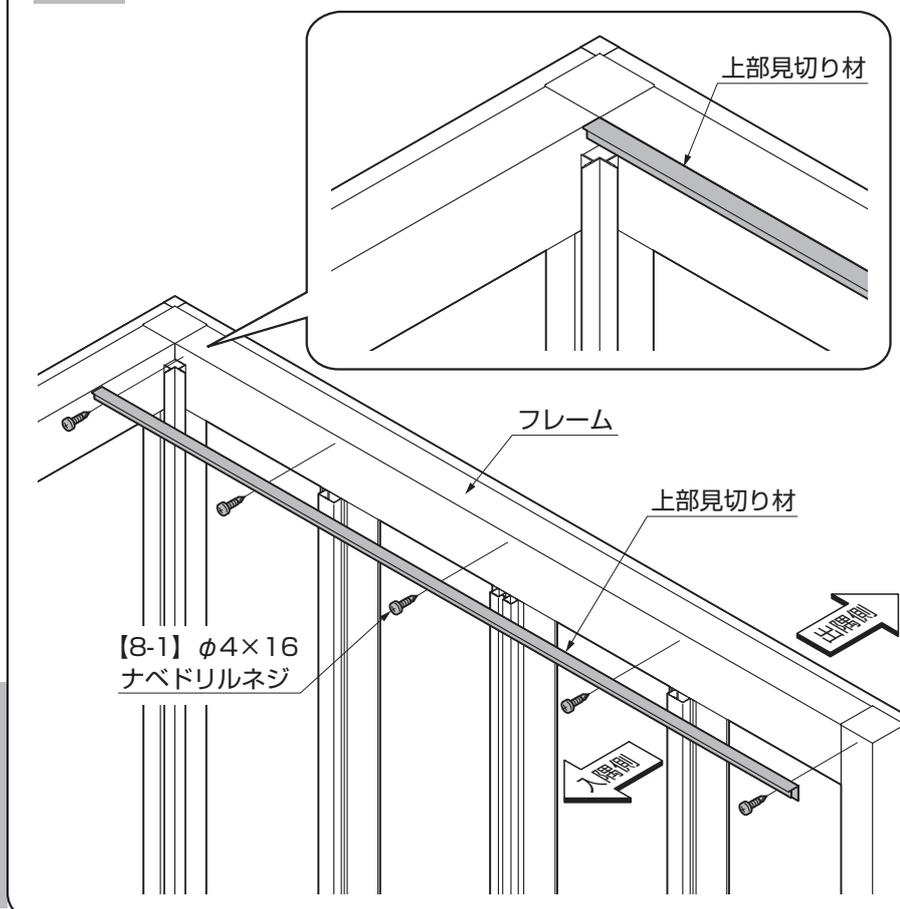
ポイント

- Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、屋根下側になる上部見切り材は、天端をフレーム下に合わせて取付けてください。



12. 上部見切り材の取付け（入隅）

12-1 長手方向の取付け



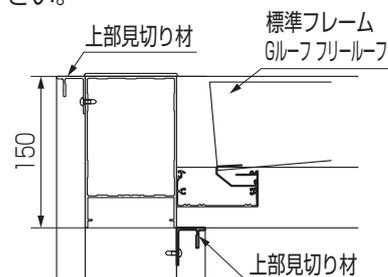
① 長手方向の取付位置の寸法を測り、上部見切り材を切断し、【8-1】φ4×16 ナベドリルネジで取付けてください。

ポイント

- 上部見切りの左側を先にフレームに付け、右側を柱から3.5mm中に入るよう寸法を測り、上部見切り材を切断し、取付けてください。

ポイント

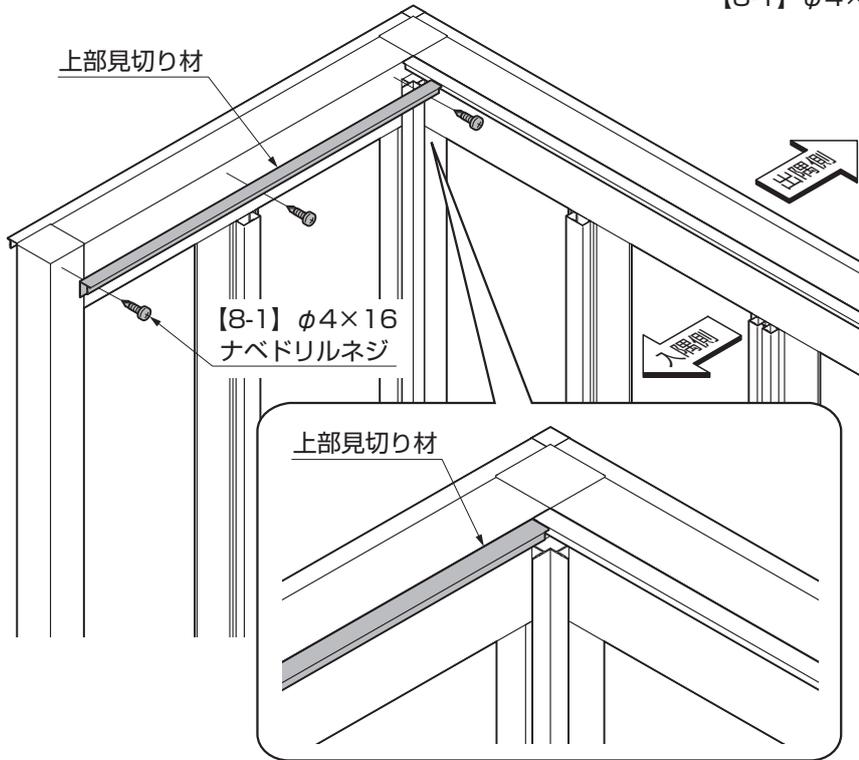
- Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、屋根下側になる上部見切り材は、天端をフレーム下に合わせて取付けてください。



12. (つづき)

12-2 短手方向の取付け

①短手方向の取付位置の寸法を測り、上部見切り材を切断し、【8-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

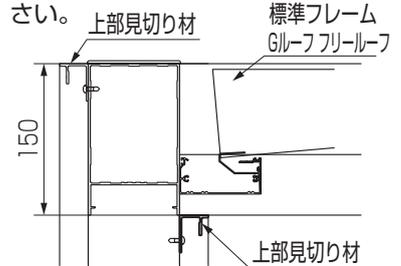


ポイント

- 上部見切り材の右側を先取付けた上部見切り材に突き当て、左側を柱から3.5mm中に入るよう寸法を測り、上部見切り材を切断し、取付けてください。

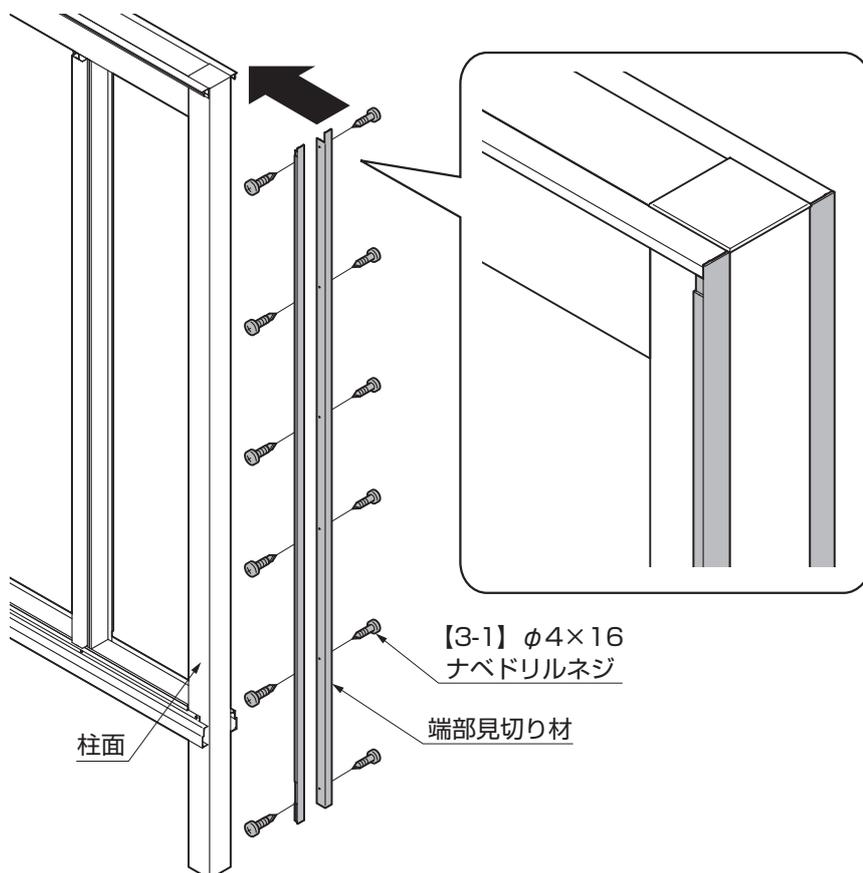
ポイント

- Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、屋根下側になる上部見切り材は、天端をフレーム下に合わせて取付けてください。



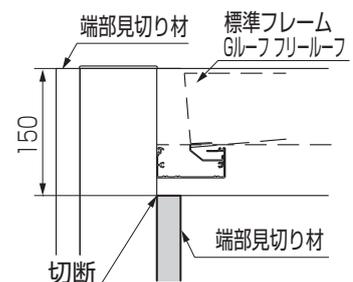
13. 端部見切り材の取付け (ラッピングボード仕様の場合)

①端部見切り材を柱面に合わせ、高さを上部見切り材の高さに合わせ、【3-1】φ4×16ナベドリルネジで取付けてください。

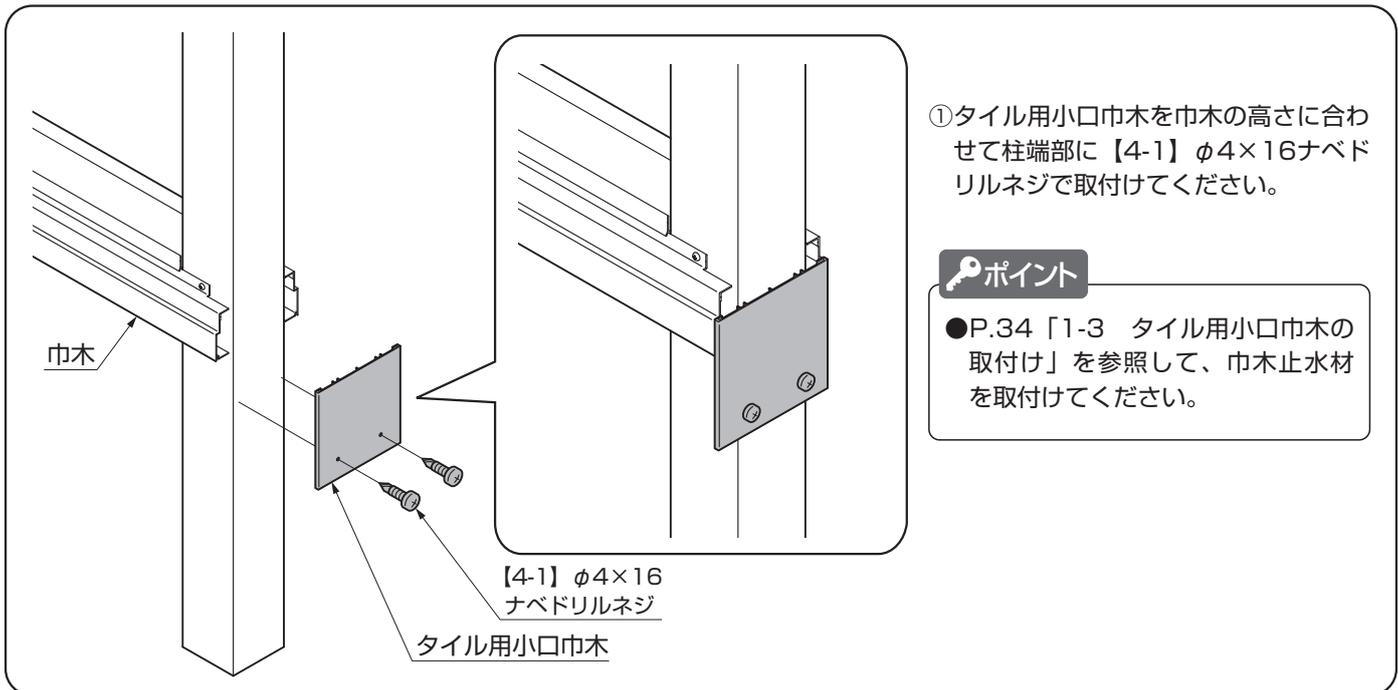


ポイント

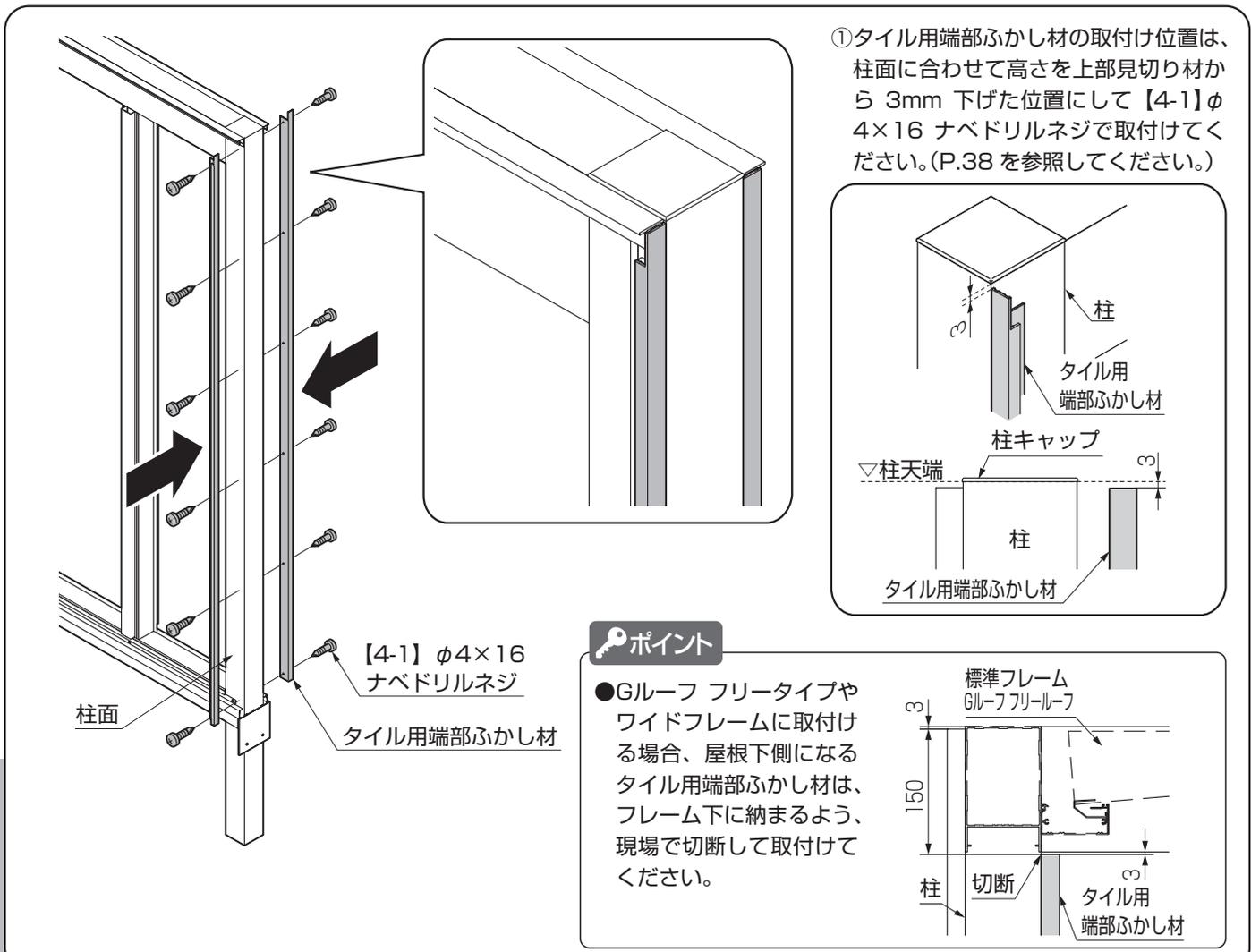
- Gルーフ フリータイプやワイドフレームに取付ける場合、端部見切り材は屋根下側部分に納まるよう150mm切断して取付けてください。端部見切り材の上部は、切断した部分の切り欠き加工を現場でしてください。



14. タイル小口巾木の取付け (セラミックタイル仕様の場合)



15. タイル用端部ふかし材の取付け



9 150角フレーム・150角柱の下地材の取付け

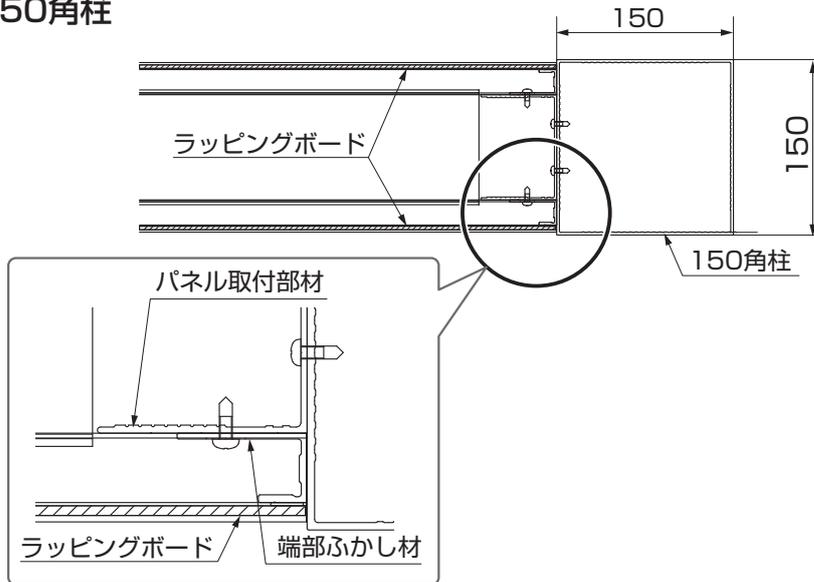
1. 150角フレーム・150角柱のGウォールの納まり

ポイント

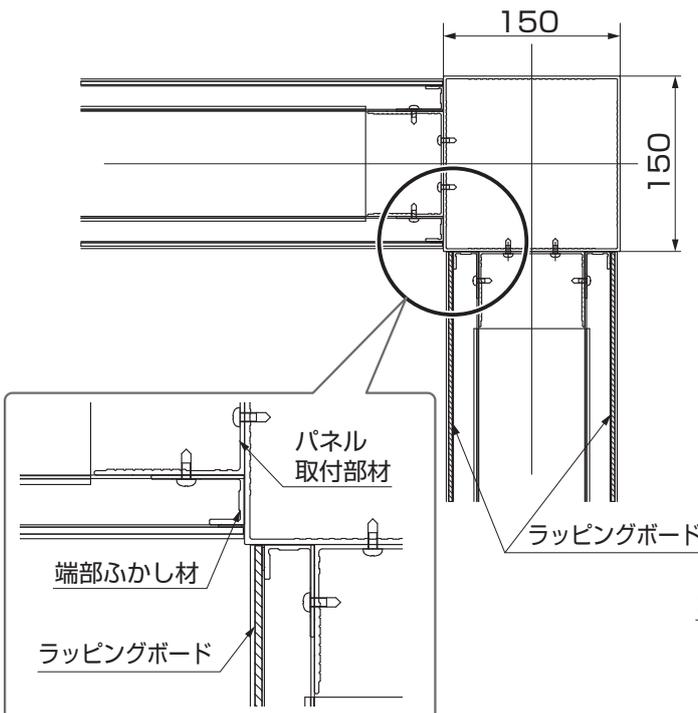
- 150角フレーム・150角柱施工の場合、巾木・下枠・上部見切り・ふかし材等は、現場で切断加工をして取付けてください。（施工方法は各部材の説明部分を参照してください。また、P55からの説明も参照してください。）
- 150角フレーム・150角柱施工の場合、ラッピングボードは、現場で切断加工をして取付けてください。（ラッピングボードの加工と取付けは、P57・P74を参照してください。）

1-1 ラッピングボードを使用した納まり

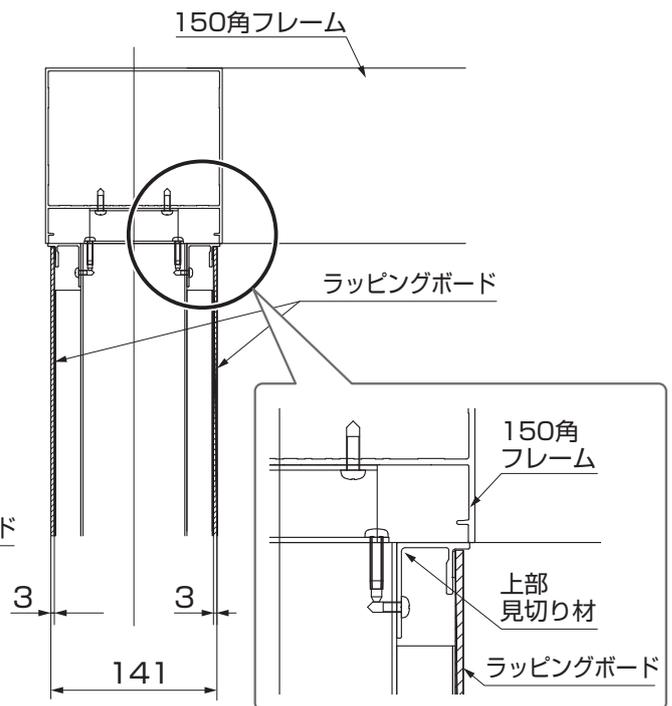
(1) 150角柱



(2) 150角柱のコーナー仕様



(3) 150角フレーム



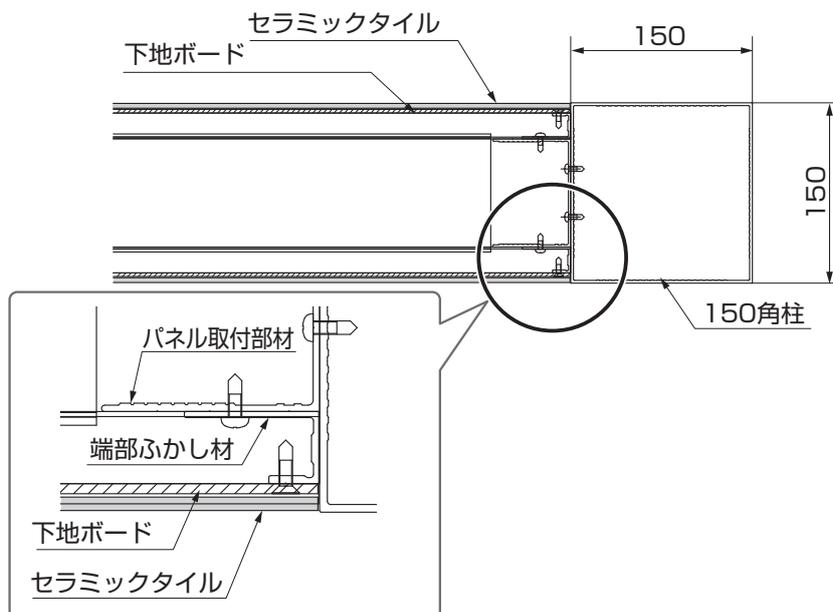
1. (つづき)

ポイント

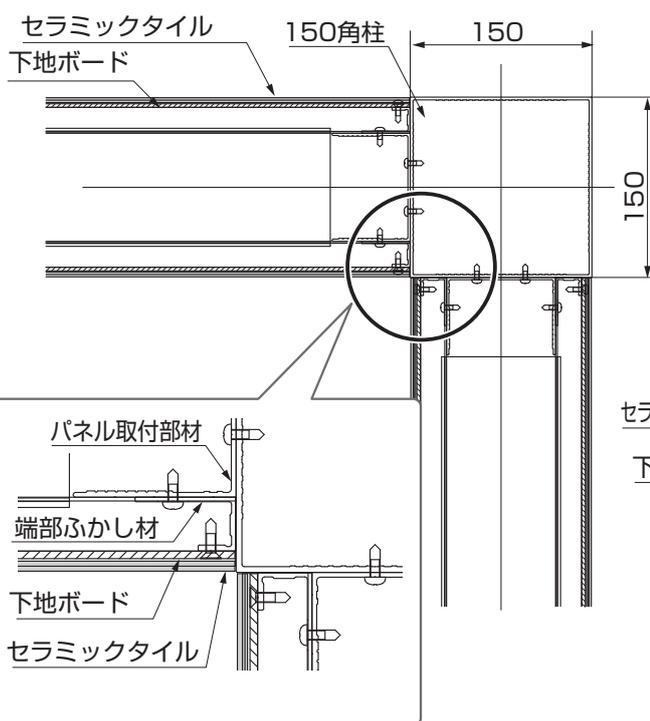
- 150角フレーム・150角柱施工の場合、巾木・下枠・上部見切り・ふかし材等は、現場で切断加工をして取付けてください。（施工方法は各部材の説明部分を参照してください。また、P55からの説明も参照してください。）
- 150角フレーム・150角柱施工の場合、セラミックタイル・下地ボードは、現場で切断加工をして取付けてください。（セラミックタイル・下地ボードの加工と取付けは、P73からの説明を参照してください。）

1-2 セラミックタイルを使用した納まり

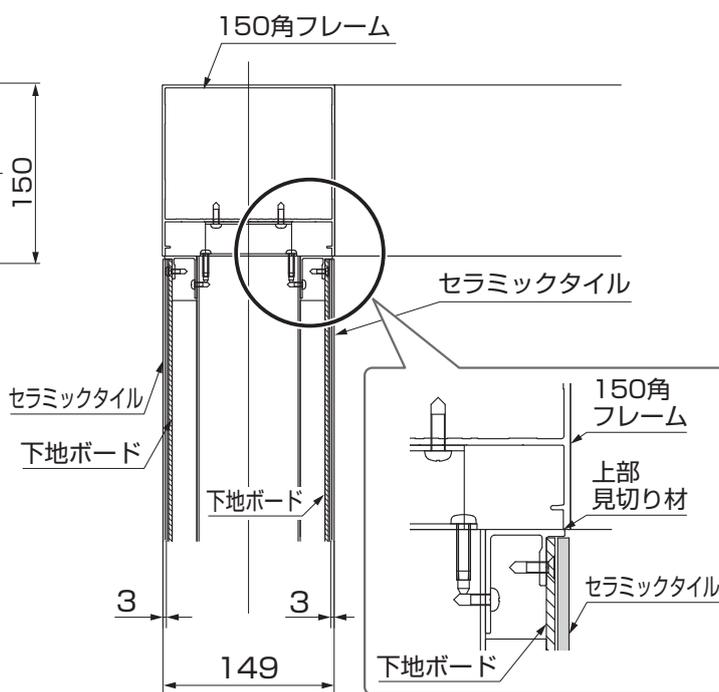
(1) 150角柱



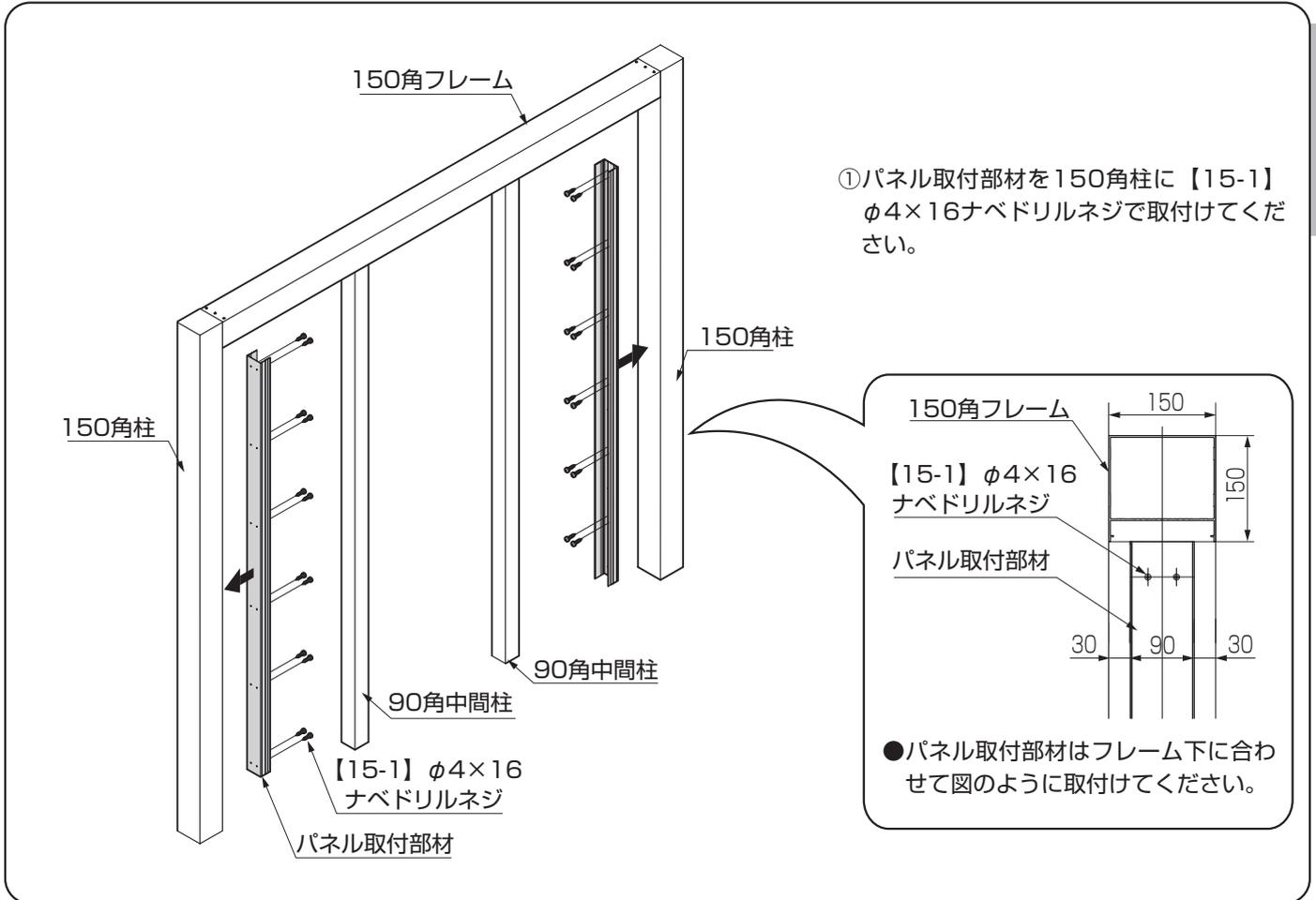
(2) 150角柱のコーナー仕様



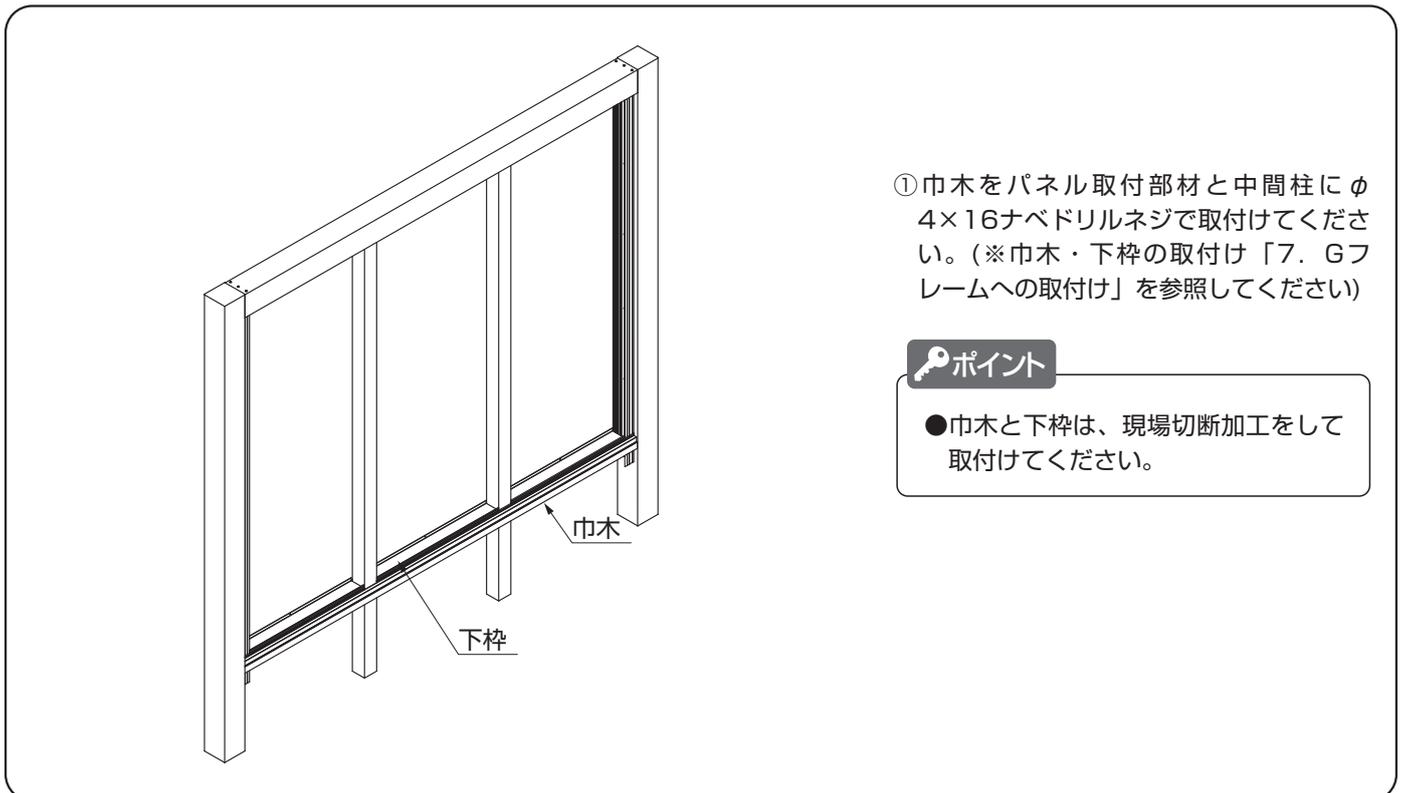
(3) 150角フレーム



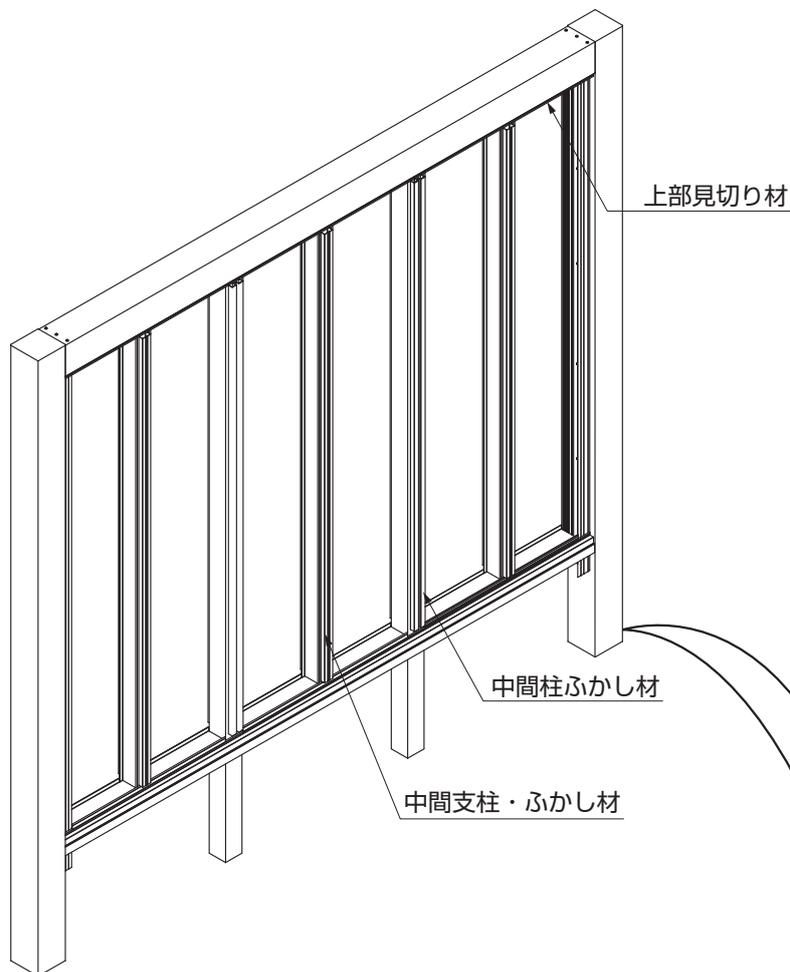
2. パネル取付部材の取付け



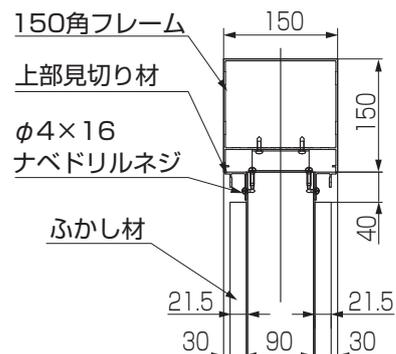
3. 巾木の取付け



4. 中間支柱とフレームの取付け

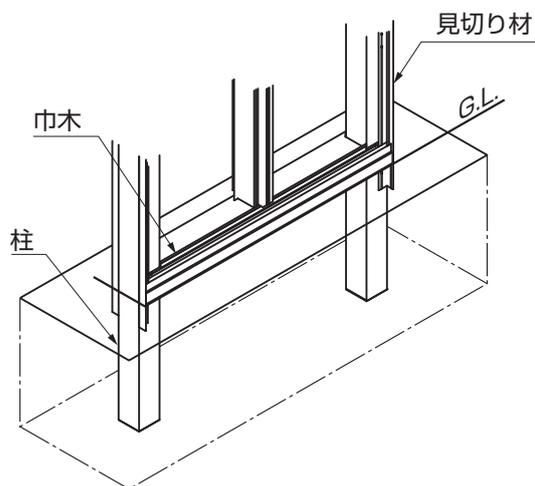


- ① 中間柱ふかし材と中間支柱ふかし材を150角フレーム下端から40mm開けるように切断します。
 - ② 中間柱に中間柱ふかし材を $\phi 4 \times 25$ ナベドリルネジで取付けてください。
 - ③ 中間支柱を150角フレームに $\phi 5 \times 16$ ナベドリルネジで取付けてください。
 - ④ 中間支柱に中間支柱ふかし材をはめ込んでください。
 - ⑤ 中間支柱を下枠に $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジで取付けてください。
 - ⑥ 上部見切り材を150角フレーム下に合わせて、 $\phi 4 \times 16$ ナベドリルネジで取付けてください。
- ※ 中間柱ふかし材・中間支柱・上部見切り材の取付けは「7. Gフレームへの取付け」を参照してください。



- ふかし材は150角フレーム下から-40mm切断して取付けてください。

5. 基礎の打設

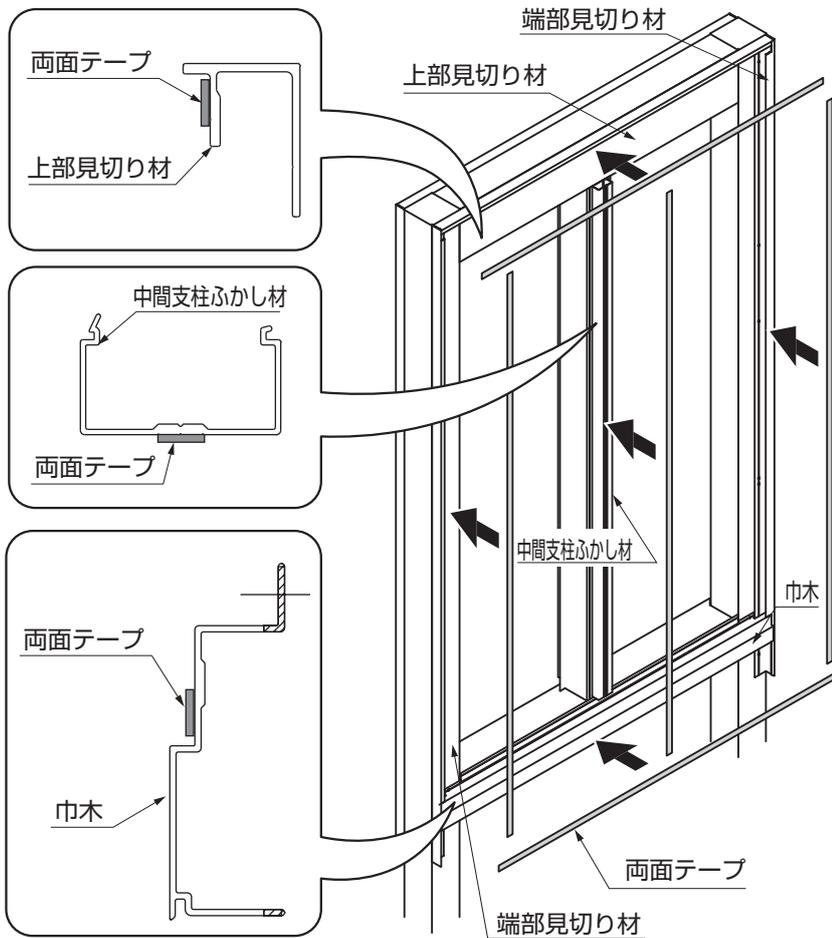


- ① 基礎の打設を行なってください。

ポイント

- 基礎寸法はP.28を参照してください。

6. ラッピングボード取付用両面テープの取付け



ポイント

●両面テープを貼る時は、ゆっくり貼ってください。急いで貼ると両面テープが伸びて使用できなくなるので注意してください。

- ①上部見切り材に両面テープを貼り付けます。
- ②端部見切り材に両面テープを貼り付けます。
- ③中間支柱ふかし材に両面テープを貼り付けます。
- ④巾木に両面テープを貼り付けます。

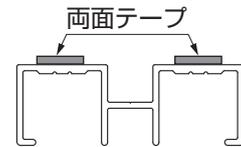
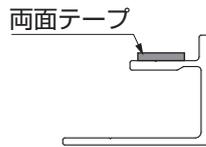
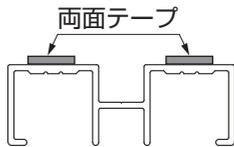
ポイント

●以下の部材には各列に貼付けを行なってください。

・中間柱ふかし材：2列貼付け

・柱端部見切材：1列貼付け

・中間横材：2列貼付け



・スマート宅配ポスト取付枠：上下各1列貼り付け

ポイント

●両面テープの貼付けが完了したら、以下を参照してラッピングボードまたは、下地ボード・セラミックタイルを取付けてください。

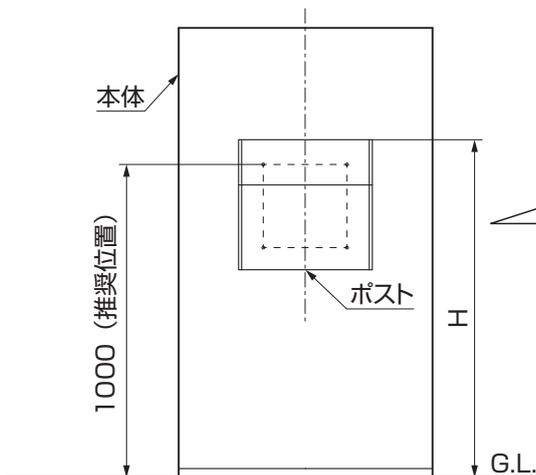
・ラッピングボードの取付け：P.74

・下地ボード・セラミックタイルの取付け：P.73, 75

10 後付けポストの取付け

1. 各種ボードの加工と取付け

1-1 取付け可能な後付けポストの種類と取付高さ



ポイント

●左図は取付説明書上の推奨高さになりますが、取付け位置によってポスト投函口とサイン等が干渉する場合があります。取付け位置を事前に確認してください。

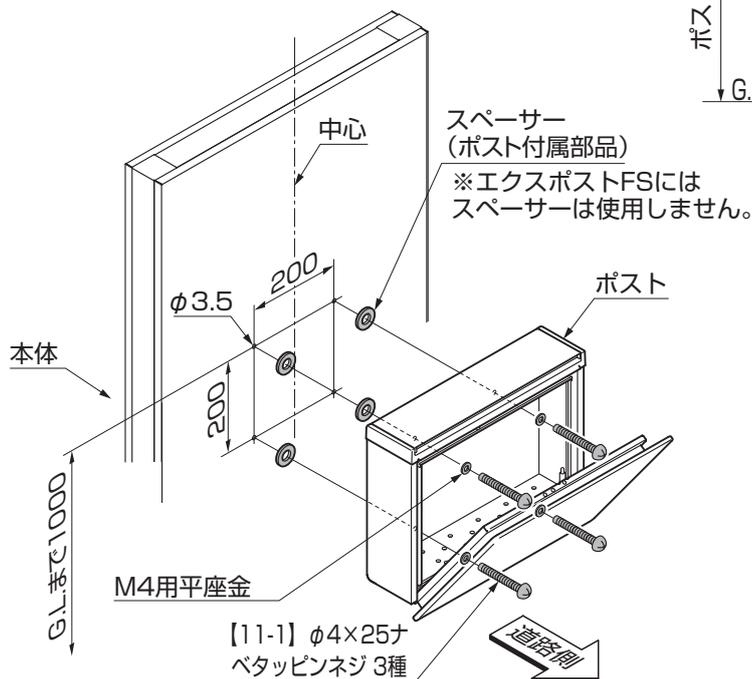
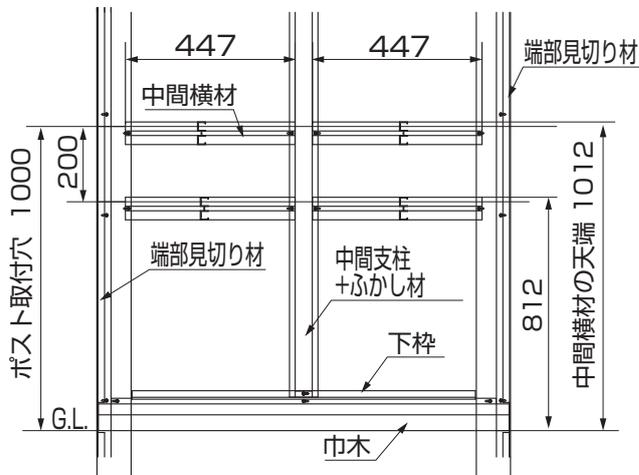
対応ポスト	H
L-1型	1065
フラット横型ポスト	1110
グレイス	1010
エクスポストFS	1110

①ポストの取付け位置およびサイン・インターホン・照明の取付け位置を事前に確認してください。

1-2 ラッピングボードへの取付け ● ラッピングボードに後付けポストを取付ける場合

- ①中間横材を右図のように合わせて、柱と中間支柱にφ3.5の下穴をあけます。
- ②中間横材を【11-1】φ4×25タッピンネジ3種で取付けます。

※上記の作業はラッピングボードを取付ける前の作業です。



- ③ラッピングボードを取付けた面にポスト取付穴の位置をケガいてからφ3.5の穴をあけてください。
- ④あけた穴に合わせて、ポスト本体に【11-1】とポスト付属部品のM4用平座金で取付けてください。

ポイント

- ポストの設置高さの変更は可能です(図は推奨位置)。
- ポストの穴位置、加工の詳細はポストの取付説明書を参照してください。

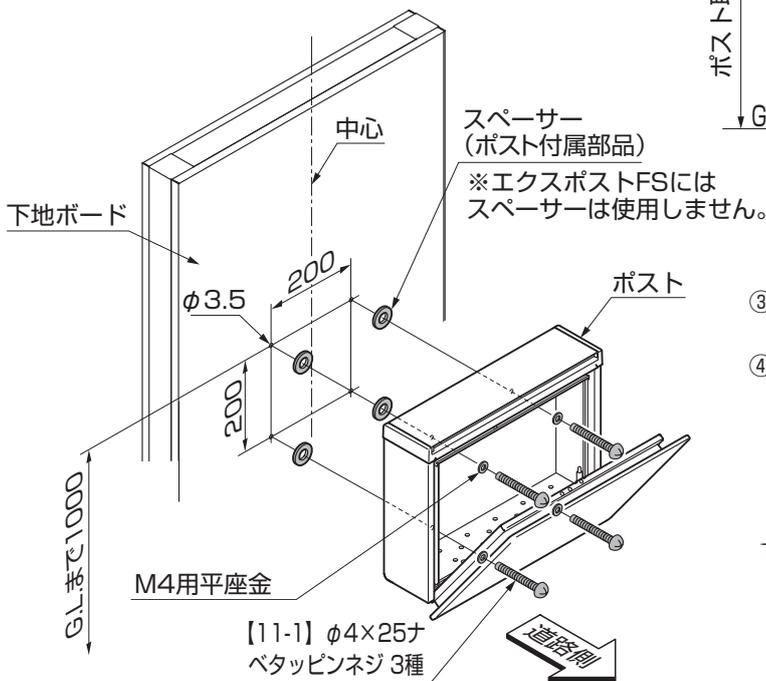
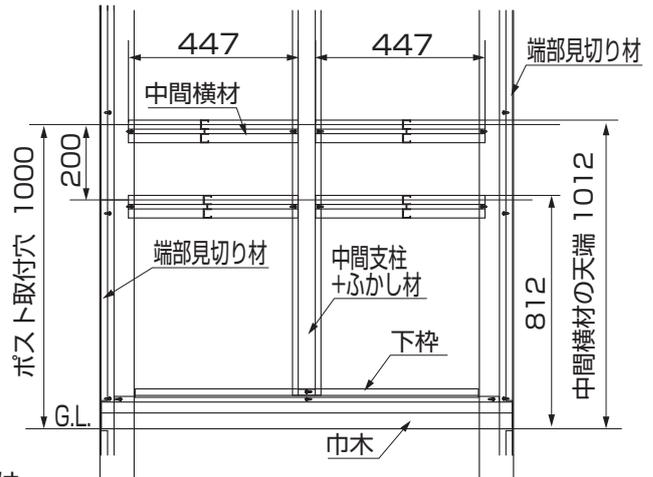
1. (つづき)

1-3 セラミックタイルへの取付け ● 下地ボードに後付けポストを取付ける場合

ポイント

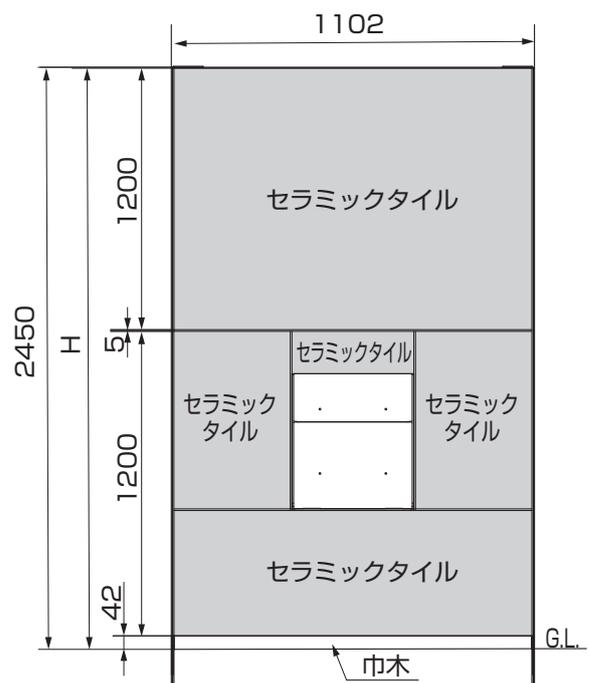
- セラミックタイル仕様の場合は、下地ボードを取付けた後に、ポストを取付けてください。セラミックタイルは、取付けたポストを避けた寸法で切断加工して貼ってください。
- ポストを取付け後に、切断加工したタイルを貼付け、ポストの周りにシーリングします。

- ①中間横材を右図のように合わせて、柱と中間支柱にφ3.5の下穴をあけます。
- ②中間横材を【11-1】φ4×25タッピンネジ3種で取付けます。
※上記の作業は下地ボードを取付ける前の作業です。



- ③下地ボードを取付けた面にポスト取付穴の位置をケガいてからφ3.5の穴をあけてください。
- ④あけた穴に合わせて、ポスト本体に【11-1】とポスト付属部品のM4用平座金で取付けてください。

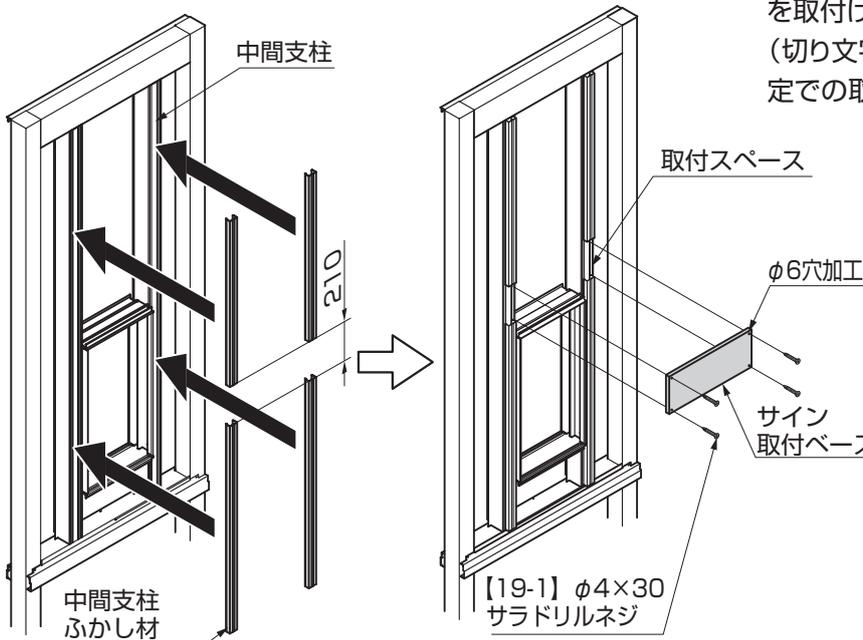
- ⑤後付けポストまわりに張るセラミックタイルを寸法を測り切断加工をします。(右図参照)
- ⑥切断加工したセラミックタイルを下地ボードに張り付けます。(セラミックタイルの切断加工と張り付け片はP.83を参照して作業をしてください)
- ⑦後付けポスト廻りにシーリングを行ってください。



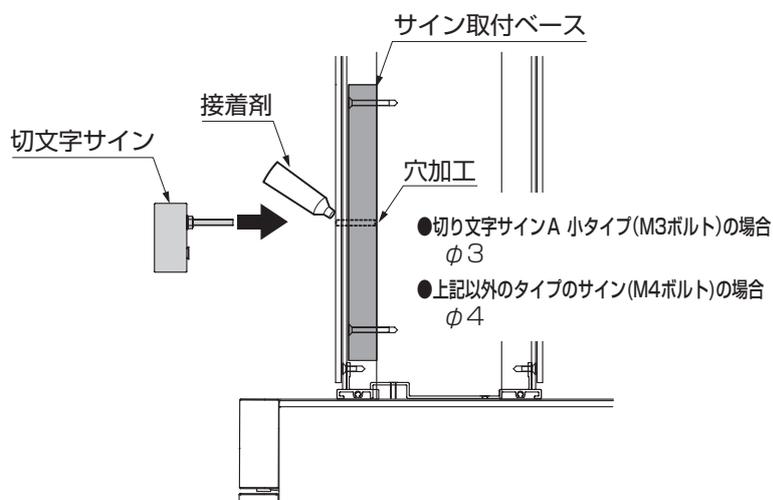
1. (つづき) ※施工時に必要なサインを取付ける場合 ※ここでの施工はラッピングボード・セラミックタイル使用で取付ける場合でも共通になります。

1-4 セラミックタイルへの取付け ● サイン取付ベースを使用する場合

※セラミックタイル仕様の場合で切り文字サインを取付ける場合の事前準備作業になります。
(切り文字サインは、スマート宅配ポストの上限定での取付になります)



- ①サイン取付ベースの高さを出したら、中間支柱ふかし材を切断加工します。
- ②サイン取付ベースが取られるスペースを空けて中間支柱に中間支柱ふかし材を組付けください。
- ③サイン取付ベースのそれぞれの角内側10mmの位置に、取付ネジ用のφ6の穴加工を行ってください。
- ④見切り材の上部にサイン取付ベースを中間支柱と中間支柱の間に【19-1】φ4×30サラドリルネジで取付けます。
- ⑤下地ボードを貼り後えたらセラミックタイルを貼ってください。



- 切り文字サインA 小タイプ(M3ボルト)の場合 φ3
- 上記以外のタイプのサイン(M4ボルト)の場合 φ4

- ⑥サイン取付けベースに切り文字サインの取付け位置をけがきます。
- ⑦けがいた位置に上記寸法の穴加工をします。
- ⑧下穴に接着剤を適量注入します。
- ⑨切り文字サインを下穴に差し込み、固定します。

ポイント

- 指定の穴径よりも大きい穴をあけるとボルトが抜けやすくなるため、寸法を守ってください。
- 切り文字サインを下穴に差し込むときに、接着剤がはみ出ないように、注入する量に注意してください。
- 接着剤が硬化するまでは下記を行なってください。
 - ・水に濡れないように養生をしてください。
 - ・ズレないように固定をしてください。
- 一時的な固定のためにテープを使うことで、より簡単に取付けることができます。
壁面によってはテープがはがれるおそれがありますので注意してください。

ポイント

※Gウォールに取付け可能なオプション

●宅配ボックス取付枠

- ・スマート宅配ボックスTA型
- ・ボックスセットKN型

●後付けポスト

- ・L-1型
- ・フラット横型ポスト
- ・グレイス
- ・エクスポストFS型

●サイン

- ・切文字サインA、B、C、D、S
- ・切文字サインA、B、C、D (小)
- ・ガラスパーサイン
- ・チタンサイン150角タイプ
- ・切文字サインF (300角)
- ・チタン切文字サイン

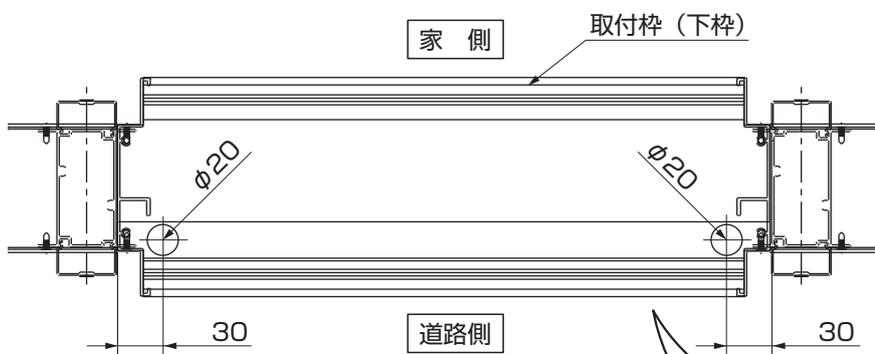
●照明

- AC100V表札灯
- ・LPJ-16型、LML-7型、LPK-34型、LPK-35型

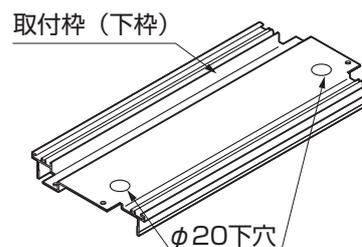
11 宅配ポスト・宅配ボックス取付枠の取付け

※スマート宅配ポストTA型とボックスセットKN型を取付けるための作業になります。

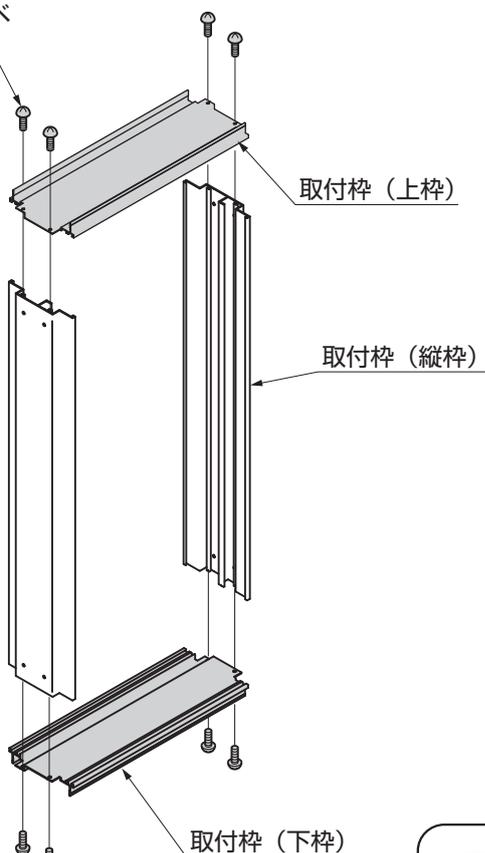
1. 取付枠の組立て



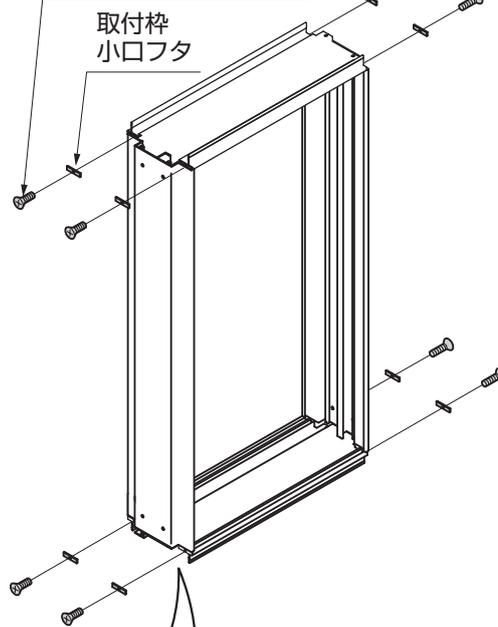
- ①取付枠（下枠側）に下から立ち上げた電源線がある側にφ20の配線用穴をあけます。
 ※取付枠（下枠側）のφ20の穴あけ作業は宅配ボックスのみです。



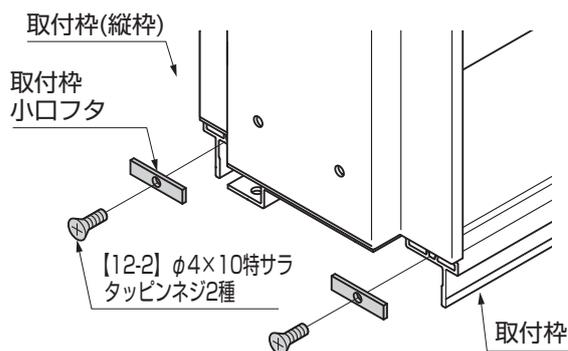
【12-1】φ4×25ナベ
 タッピンネジ2種D5



【12-2】φ4×10特サラ
 タッピンネジ2種



【12-1】φ4×25ナベ
 タッピンネジ2種D5



- ②取付枠（上枠）を取付枠（縦枠）に【12-1】で取付けます。
 ③取付枠（下枠）を取付枠（縦枠）に【12-1】で取付けます。
 ④取付枠小口フタを【12-2】で取付け枠の端部に取付けます。

2. 取付枠の施工

※本製品で取付枠が使用できるのは、スマート宅配ポストTA型とボックスセットKN型です。

2-1 中間支柱の取付け

フレーム枠

※中間支柱と中間柱取付金具の取付け、ふかし材の取付け方法はP.32を参照してください。

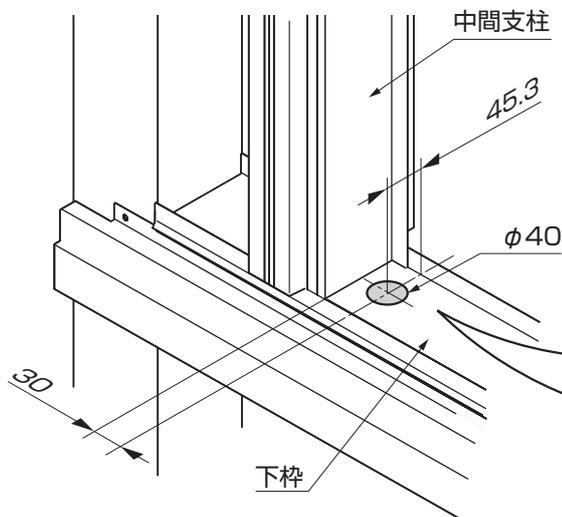
①下地となるフレーム枠に中間支柱ふかし材付きの中間支柱を2本仮置きします。

ポイント

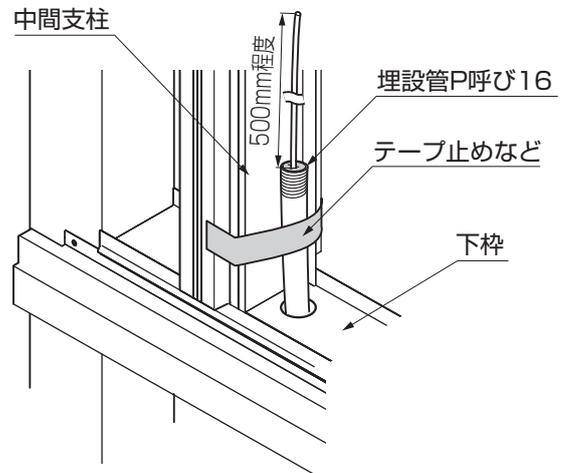
斜めに置く

- 中間支柱の片側を斜めにして置きます。
- 見切り枠を組み終わってから、片側の中間支柱に組み込み、斜めにした中間支柱を垂直にして見切り枠をセットして取付けます。

2-2 下枠の加工と電源ケーブルの取回し ※スマート宅配ポストTA型のための作業です。



②下枠にφ40の配線管用の下穴を開けておきます。

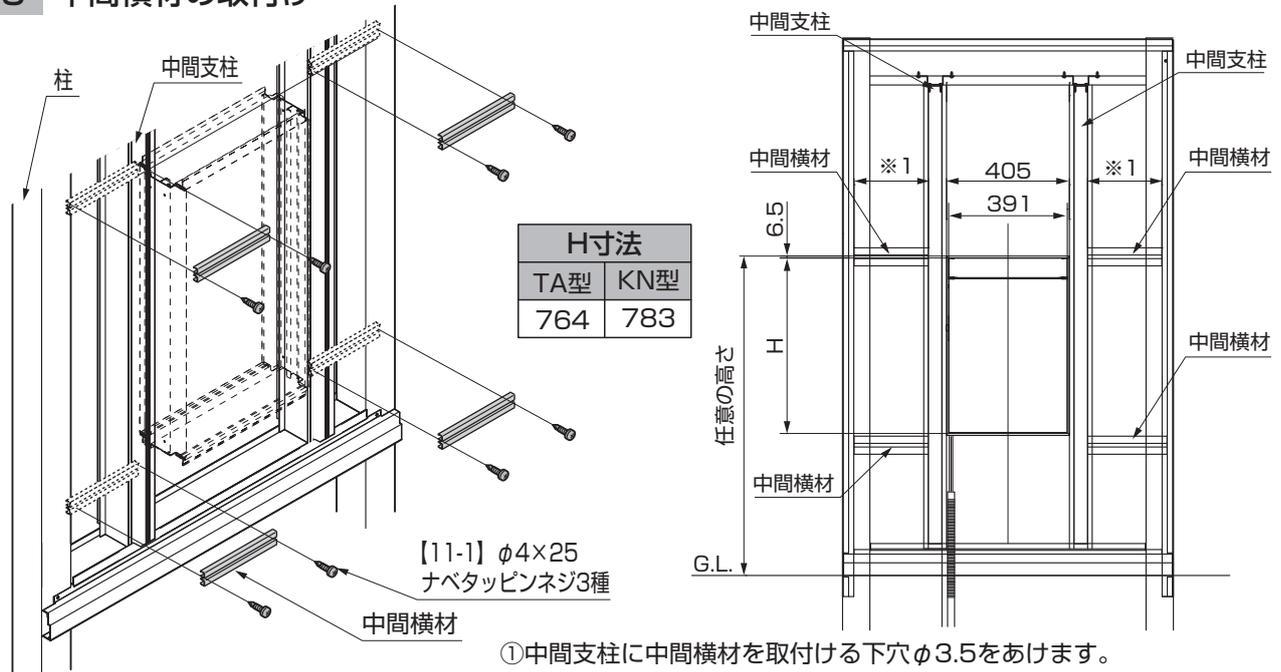


- VVF1.6電源線を工具で500mmくらいに線だけを露出させてください。
- 埋設管を中間支柱にテープで仮固定しておきます。

2. (つづき)

※スマート宅配ポストTA型とボックスセットKN型共通作業です。

2-3 中間横材の取付け

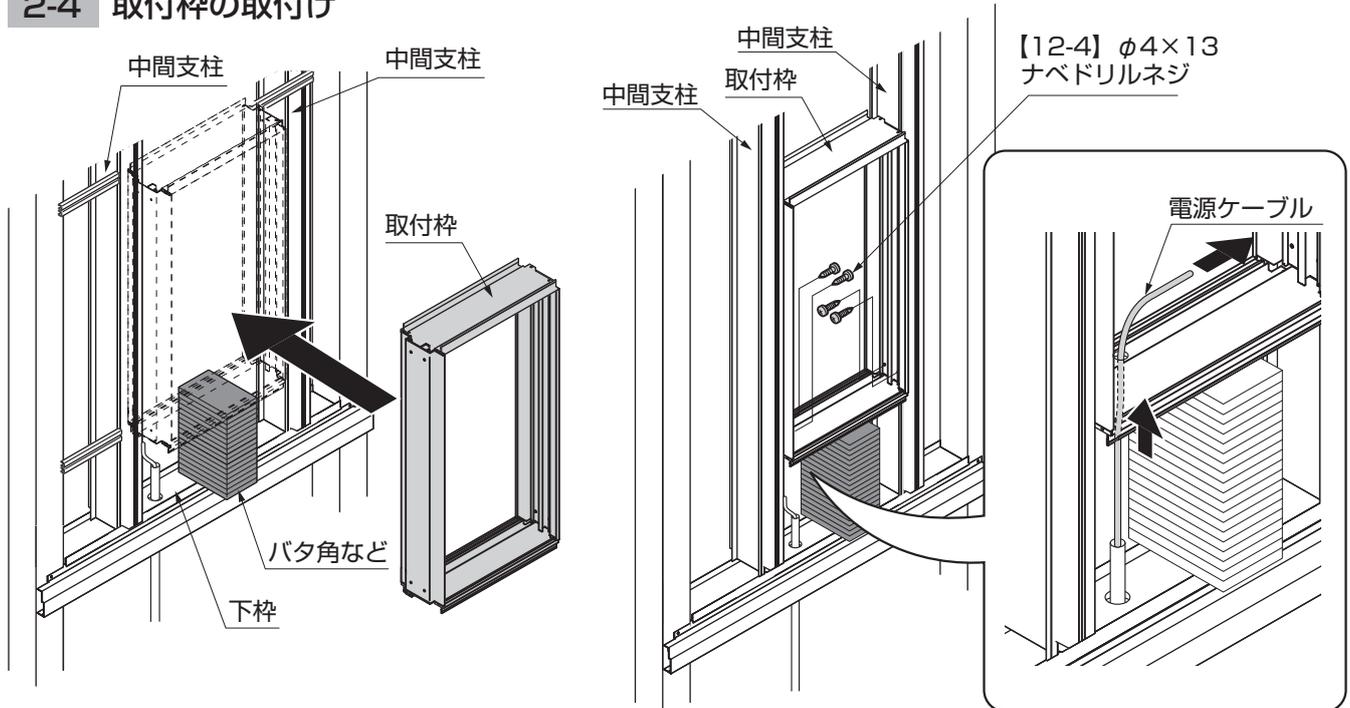


- ① 中間支柱に中間横材を取付ける下穴 $\phi 3.5$ をあけます。
- ② 中間支柱に中間横材を【11-1】 $\phi 4 \times 25$ ナベタッピンネジ3種で取付けます。

ポイント

- 中間横材は、スマート宅配ポストTA型・ボックスセットKN型を取付ける高さによって、取付ける寸法が決まります。
- 中間横材は、ラッピングボードのジョイント部に必要になる部材です。
- 中間横材は、現場の状況により、切詰めをして取付けてください。その際、取付け忘れないように注意してください。(※1)

2-4 取付枠の取付け



- ① 下枠に高さ調整用のバタ角などを置きます。
- ② 中間支柱と中間支柱の間に組み上げた取付枠を入れてください。
- ③ 取付枠を中間支柱に【12-4】で取付けます。
- ④ テープで仮固定してあるケーブルを取付枠の穴を通して取回します。

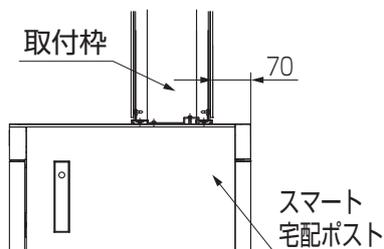
2. (つづき)

※本図はスマート宅配ポストTA型の取付を示します。ボックスセットKN型は、「宅配ボックスKN 取付説明書(EXM-135)」と「エクスポストKN 取付説明書(EXM-137)」も併せて参照してください。

2-5 本体の取付け

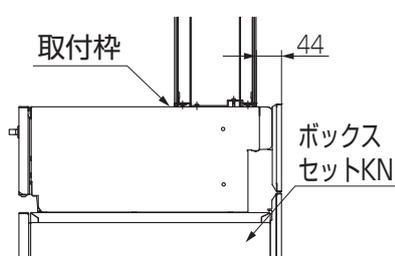
ポイント

【スマート宅配ポストTAの場合】

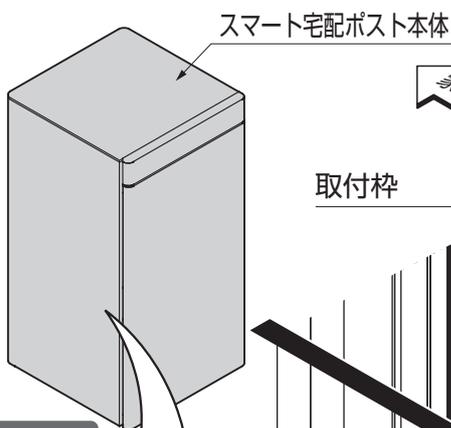


- 取付枠から70mm出して取付けてください。

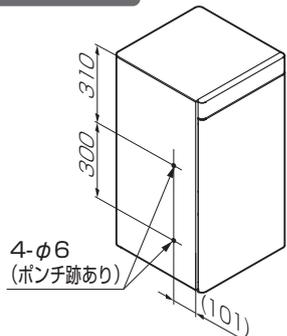
【ボックスセットKNの場合】



- 取付枠から44mm出して取付けてください。
※ボックスセットKN型の外扉から取付穴までは、104.5mmの位置になります。

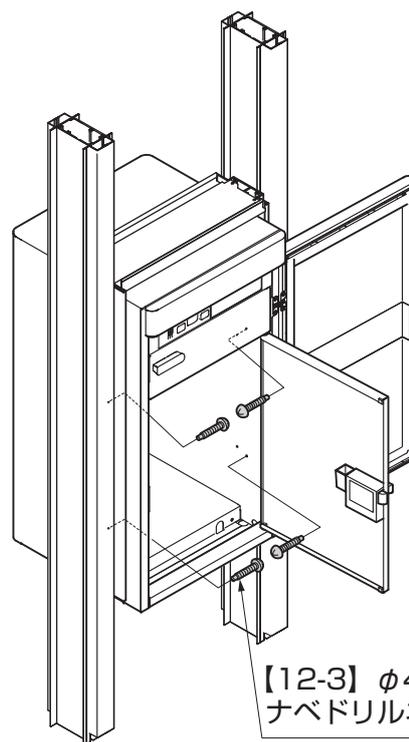
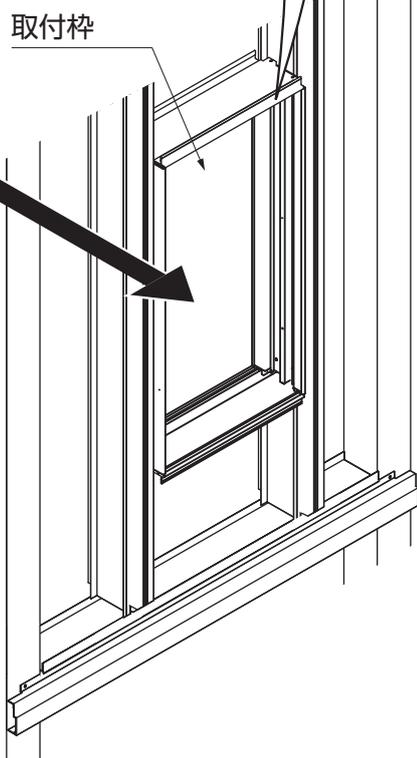


ポイント



- 電装ボックスにφ6の穴をあけてください。
- スマート宅配ポストを取付ける際は、キズを付けないようにゆっくり取付けてください。

- ①スマート宅配ポスト本体にφ5の穴加工をしてください。
- ②後ろ側(家側)からスマート宅配ポストを取付枠に入れてください。スマート宅配ポスト本体をゆっくりとキズを付けないよう入れていきます。



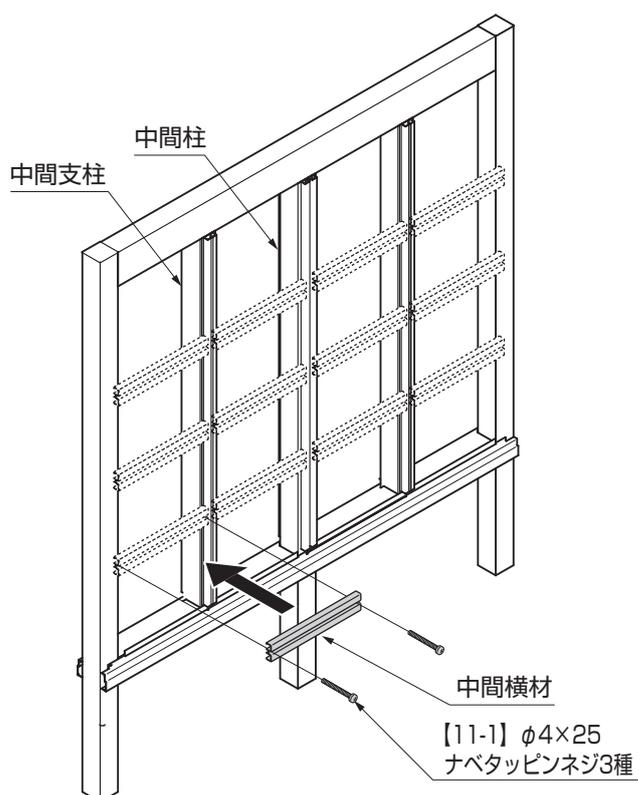
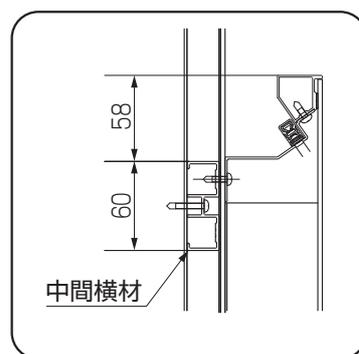
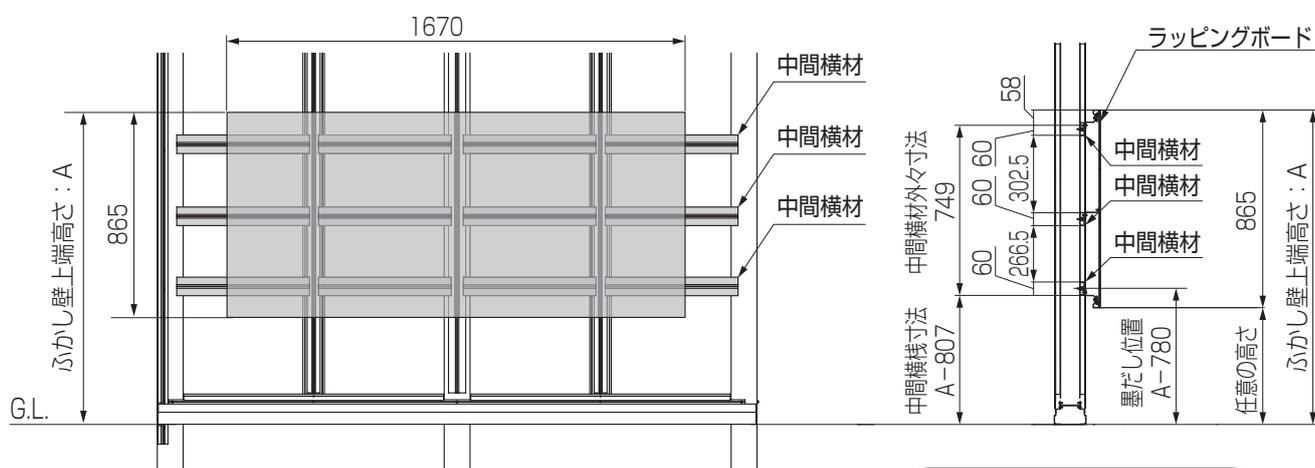
- ③スマート宅配ポストを取付枠に【12-3】φ4×35ナベドリルネジで取付けます。
- ④取付枠の下に仮固定したVVF1.6電源線を工具(ニッパ)等で引き出してください。

【12-3】φ4×35
ナベドリルネジ

12 ふかし壁の取付け ※ふかし壁を取付ける場合の作業になります。

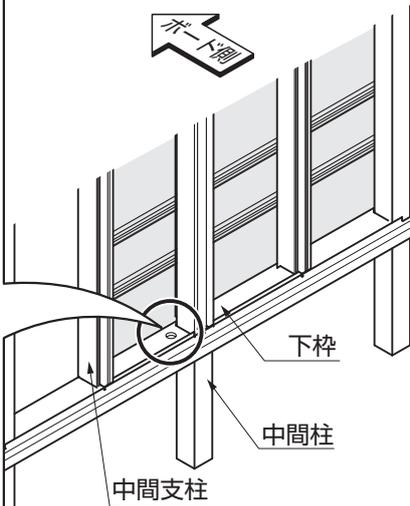
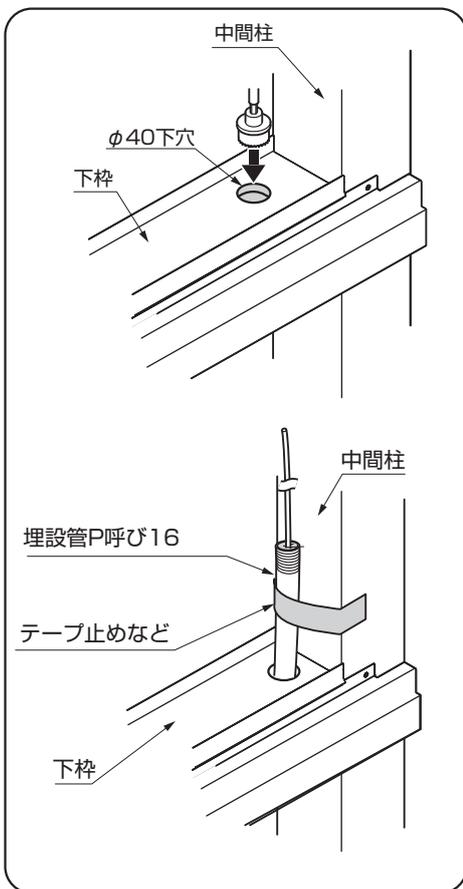
1. Gウォールの壁下地作業

1-1 中間横材の取付け

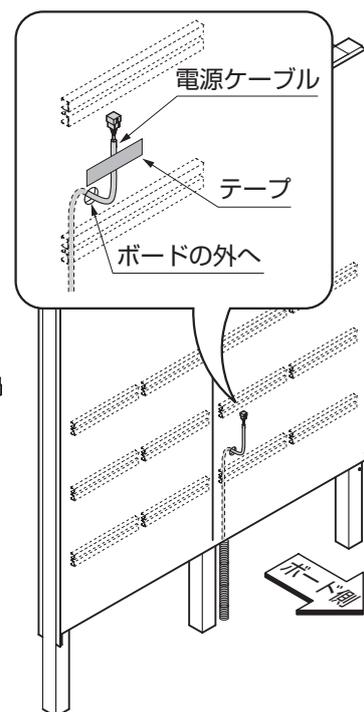
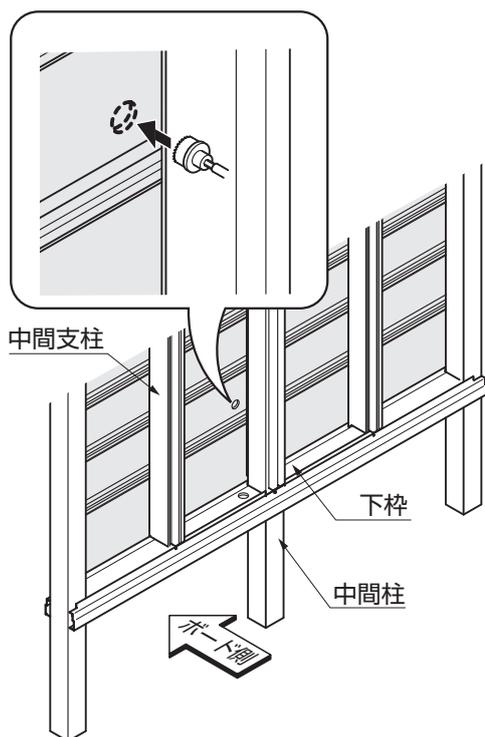


- ①下地材のときに、ふかし面枠を取り付ける位置決めをしてください。
- ②柱・中間支柱・中間柱に中間横材を取付ける下穴φ3.5を空けます。
- ③中間横材を【11-1】φ4×25ナベタッピンネジ3種で取付けてください。

2. 電源ケーブルの取回し（ビームラインライトを取付ける場合）



- ① ぶかし壁の取付け位置が決まったら、中間柱付近の下枠に電源線を通す穴を開けます。
- ② VVF1.6電源線を工具で500mm程度線だけを露出させてください。
- ③ 埋設管を中間柱にテープで仮固定しておきます。



- ④ ラッピングボードまたは壁下地ボードに電源線を引き出す穴を開けます。
- ⑤ ボードに空けた穴から電源線を通し、ボードに仮固定（テープ止め）してください。

3. ラッピングボード取付用両面テープの取付け

※図はW10の場合になります。

ポイント

- 両面テープを貼る時は、ゆっくり貼ってください。急いで貼ると両面テープが伸びて使用できなくなるので注意してください。

ポイント

- 以下の部材には各列に貼付けを行なってください。
 - ・柱ふかし材：2列貼付け
 - ・柱端部見切材：1列貼付け
 - ・中間横材：2列貼付け
 - ・スマート宅配ポスト取付枠：上下各1列貼り付け

4. ラッピングボードまたはタイル用下地材の貼付け

ポイント

- ラッピングボードは巾木に乗せてから上に向かって貼ってください。

ポイント

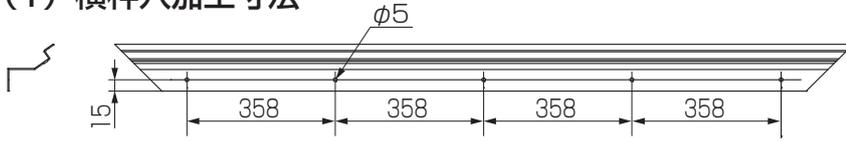
- ラッピングボードの加工・取付は、P.74を参照する事。ラッピングボードを両面テープにしっかり圧着させてください。ラッピングボードをしっかり圧着させないと脱落するおそれがあります。
- タイル用下地ボードの加工・取付は、P.73・P.75を参照してください。

【18-1】φ4×16 サラドリルネジ

5. ふかし壁の取付け

5-1 ふかし壁面枠の組付け

(1) 横枠穴加工寸法

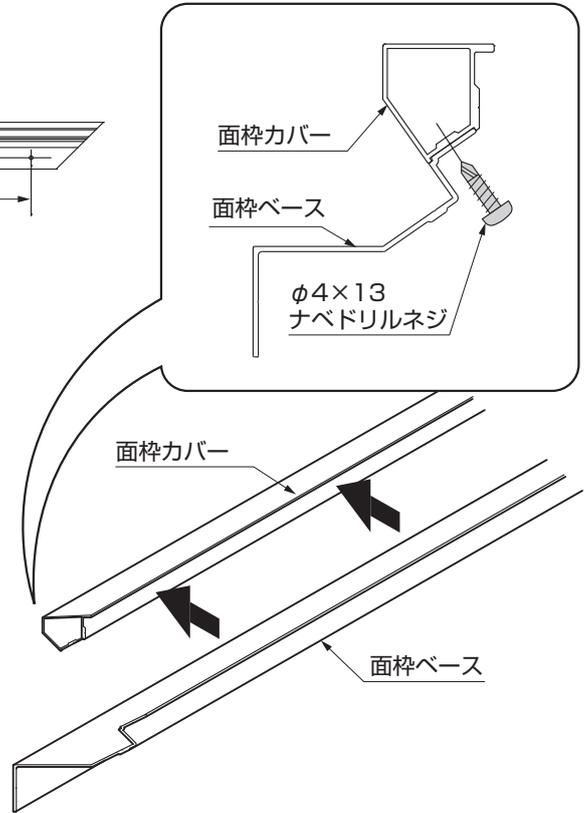


(2) 縦枠穴加工寸法

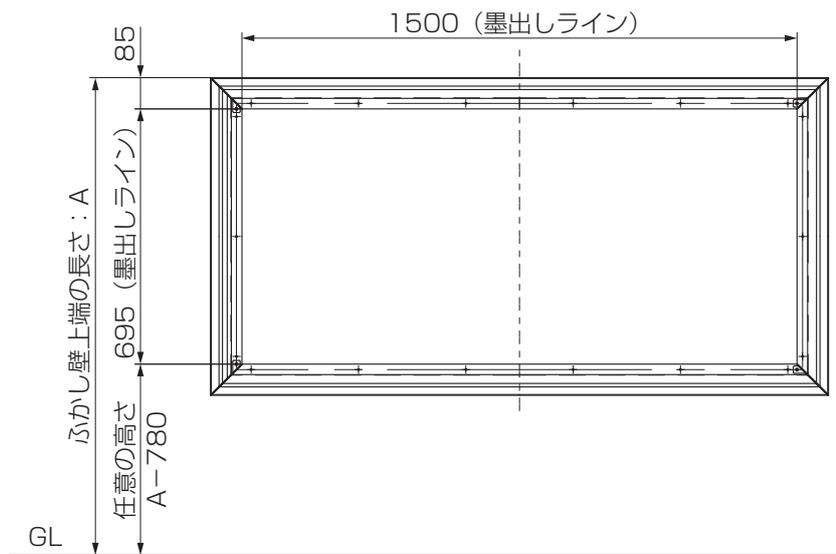


- ①面枠ベースにφ5の穴をあけます。
- ②面枠カバーの溝の中に面枠ベースを組み合わせて、長手方向を合わせます。
- ③長さがあったら、φ3.5の下穴をあけて、φ4×13ナベドリルネジで取付けてください。

※ビームラインライトを取付ける場合は、続けて面枠にビームラインライトを取付けてください(P.69)。

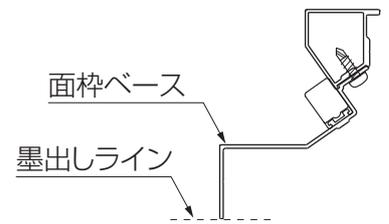


5-2 ふかし壁取付け位置の墨出し



- ①下地ボードまたはラッピングボードにふかし壁の面枠を取付けるための墨出しを行います。

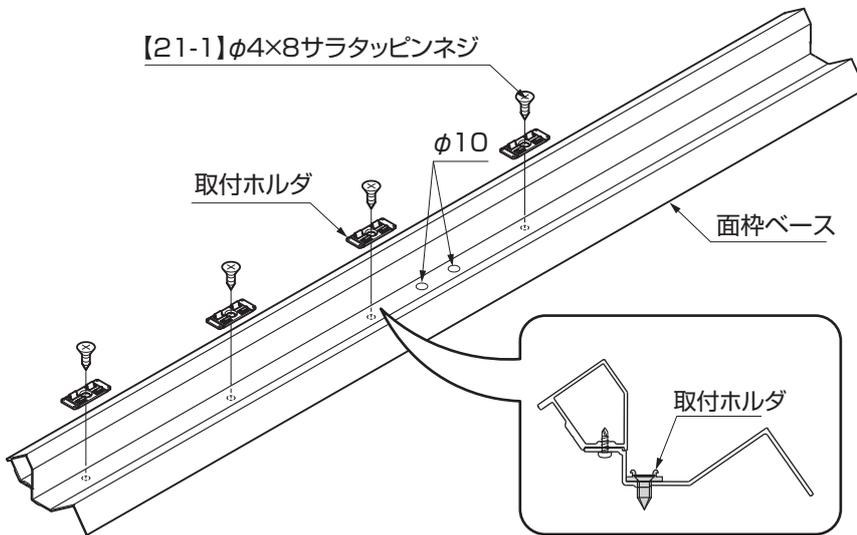
ポイント



- 墨出しする際は、面枠ベースの下のラインを墨出しします。

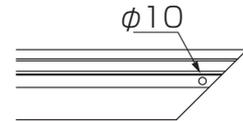
5. (つづき)

5-3 ビームラインライトの取付け (L80を使用した場合)

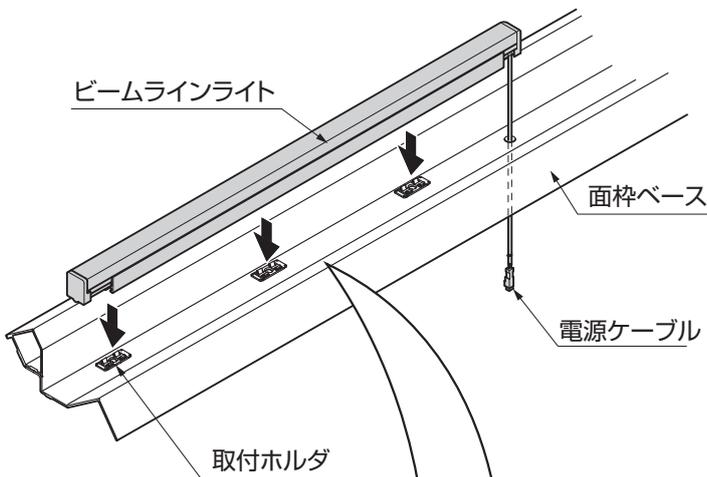


- ①面枠ベースの取付けホルダを取付ける位置にφ3.5の下穴を開けてください。
- ②取付けホルダを面枠ベースに【21-1】φ4×8サラタツピンネジで取付けます。
- ③横方向の面枠の中心から左右に20mmの位置にφ10の穴あけをします。

ポイント

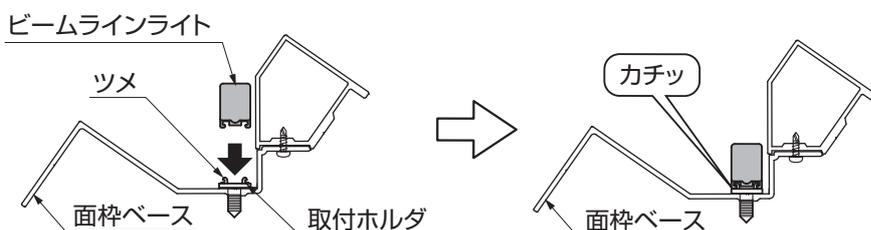


- 縦方向の枠にビームラインライトを取付ける場合は、縦方向枠の端部に1箇所だけφ10の穴加工をしておきます。



- ①電源ケーブルの先端を、面枠ベースの加工穴へ通します。
- ②通したケーブルは面枠ベースに養生テープで仮止めしておいてください。
- ③ケーブルを挟み込まない様に注意しながら、ビームラインライトを取付けホルダにはめてください。

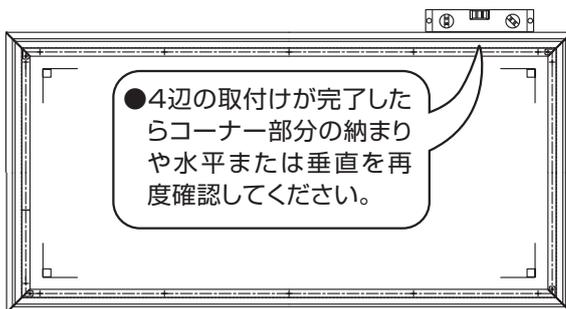
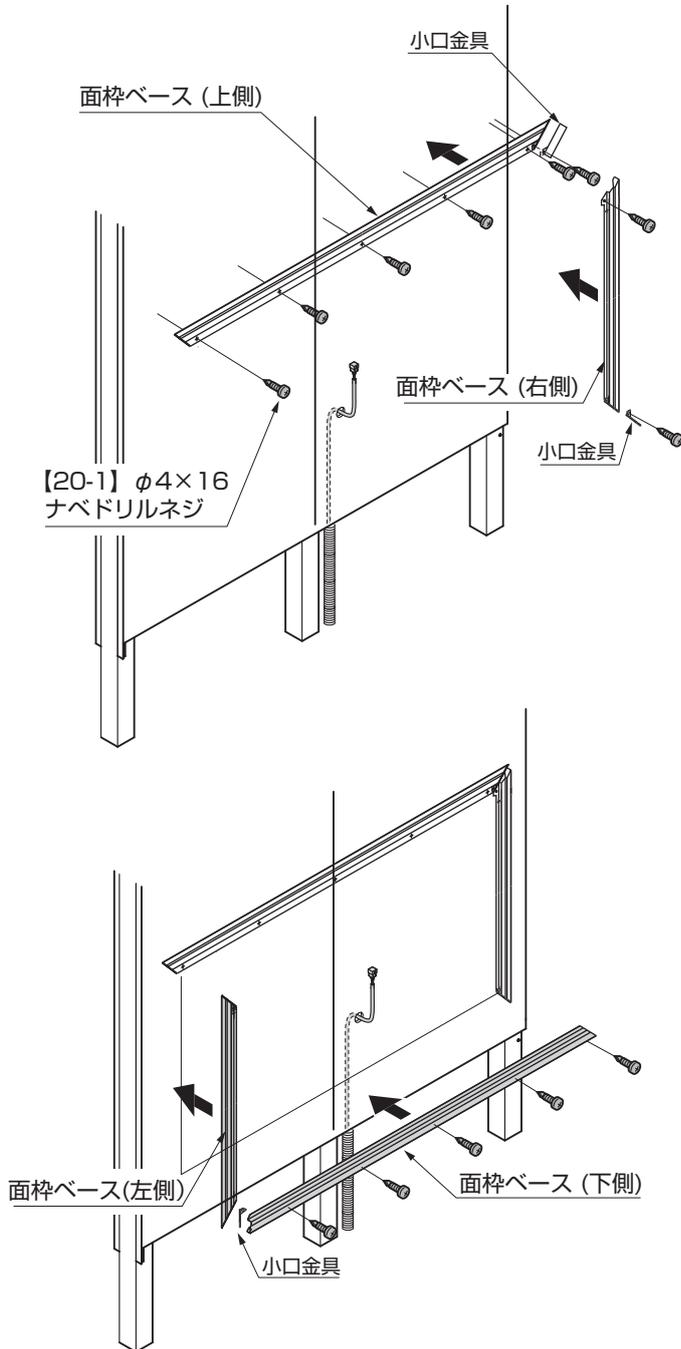
ポイント



- 取付けホルダの位置を確認しながらビームラインライトのツメを「カチッ」と音がするまで押し込んでください。

5. (つづき)

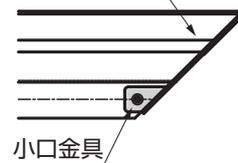
5-4 面枠ベースの取付け



①面枠ベース(上側)を墨に合わせて【20-1】φ4×16ナベドリルネジ 3種で取付けます。

ポイント

面枠ベース(上側)



●面枠ベース(上側)の右端に小口金具を右端部に合わせて、φ4×13ナベドリルネジ3種で共締めして取付けてください。

②面枠ベース(上側)を墨に合わせて【20-1】φ4×16ナベドリルネジ3種で取付けます。

ポイント

面枠ベース(右側)

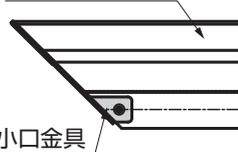


●面枠ベース(右側)の下端に小口金具を右端部に合わせて、φ4×13ナベドリルネジ3種で共締めして取付けてください。

③面枠ベース(下側)を墨に合わせて【20-1】φ4×16ナベドリルネジ 3種で取付けます。

ポイント

面枠ベース(下側)

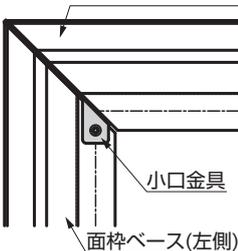


●面枠ベース(下側)の左端に小口金具を右端部に合わせて、φ4×13ナベドリルネジ3種で共締めして取付けてください。

④面枠ベース(左側)を墨に合わせて【20-1】φ4×16ナベドリルネジ3種で取付けます。

ポイント

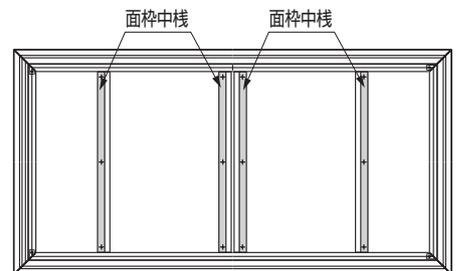
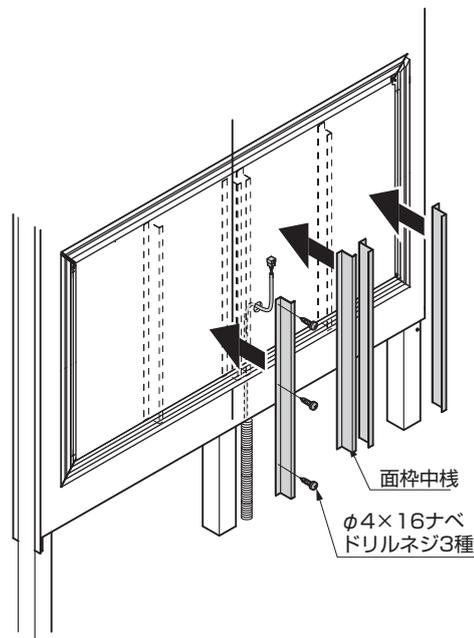
面枠ベース(上側)



●面枠ベース(左側)の上端に小口金具を右端部に合わせて、φ4×13ナベドリルネジ3種で共締めして取付けてください。

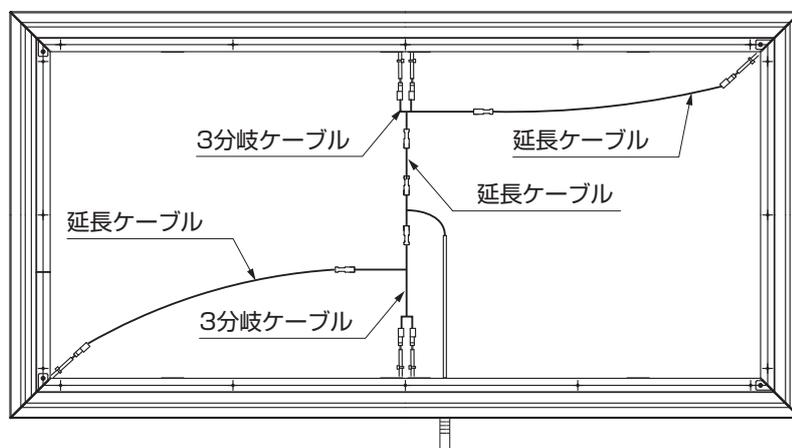
5. (つづき)

5-5 面枠中棧の取付け



- ① 縦4列に面枠中棧を図の配列でφ4×16ナベドリルネジ3種で取付けてください。

5-6 ビームラインライトの配線と接続



- ① 配線例をもとに電源ケーブルを取り回し、ビームラインライトの配線と結線を行なってください。

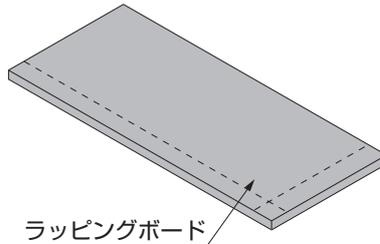
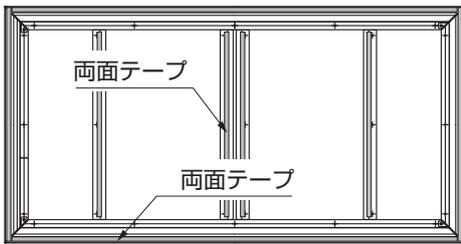
ポイント

- 配線を行ったら、ボードを取付ける前に必ず点灯確認を行なってください。

5. (つづき)

5-7 ラッピングボードまたはセラミックタイルの取付け

(1) ラッピングボード



注意

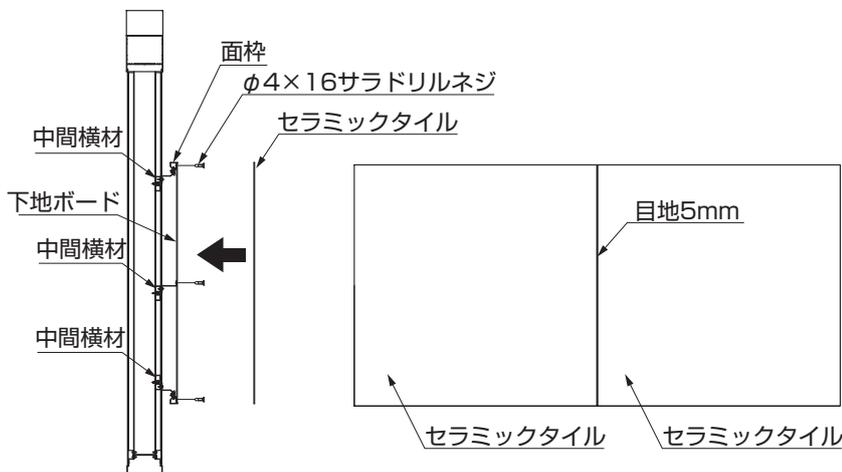
- ラッピングボードには養生シートが貼られています。施工が完了してから剥がしてください。

- ①面枠の4辺と面枠中棧に両面テープを貼ります。
- ②面枠の見切りの内々寸法を測り、ラッピングボードを切断してください。
- ③両面テープのはくり紙をはがしたら、ボードを面枠に貼り付けます。

ポイント

- ラッピングボードを切断する際は、厚めのカッターで切断線を表に2~3回入れてから裏に1回入れると折りやすくなります(P.74参照)。
- ラッピングボードの木目を縦目にする場合は、2枚にして貼り合わせてください。
- ボードをしっかり面枠に押し込み、両面テープに圧着させてください。

(2) セラミックタイル ※図は150角フレーム・150角柱仕様を示す

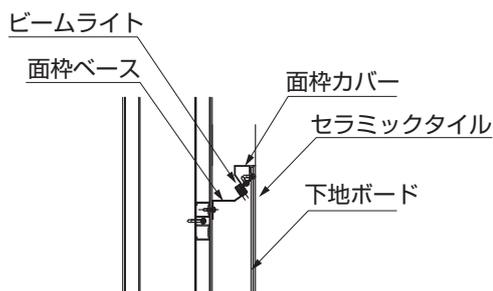


- ①面枠に下地ボードをφ4×16サドラリルネジで取付けてください。
- ②P.83を参照し、下地ボードにタイル専用の接着剤を塗ってセラミックタイルを貼付けてください。

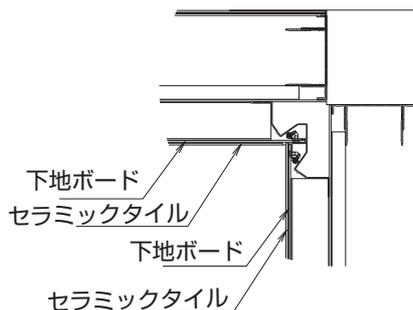
ポイント

- 下地ボードを切断する際は、厚めのカッターで切断線を表に2~3回入れてから裏に1回入れると折りやすくなります。
- セラミックタイルの貼付け方はP.75以降を参照してください。
- 目地詰め(シーリング)はP.88を参照してください。

●ふかし壁納まり

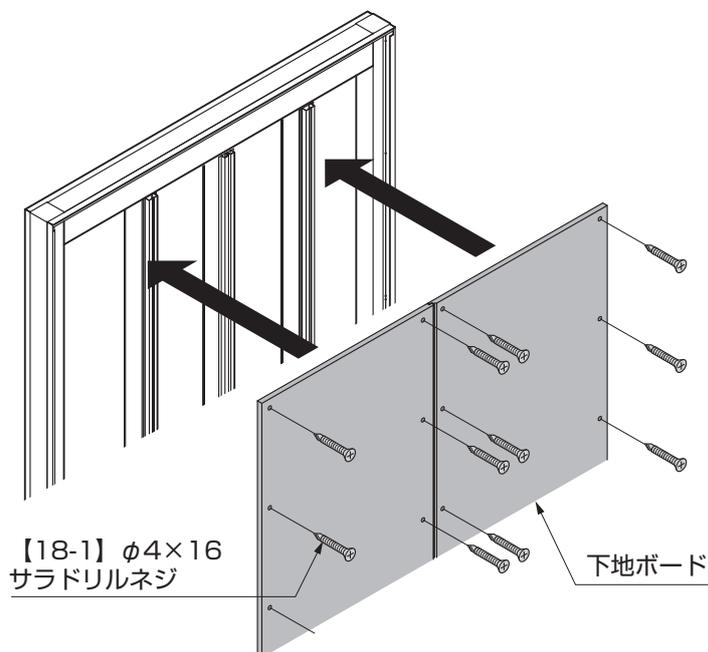


●ふかしコーナー壁納まり



13 タイル用下地ボードの取付け

1-1 標準仕様の場合

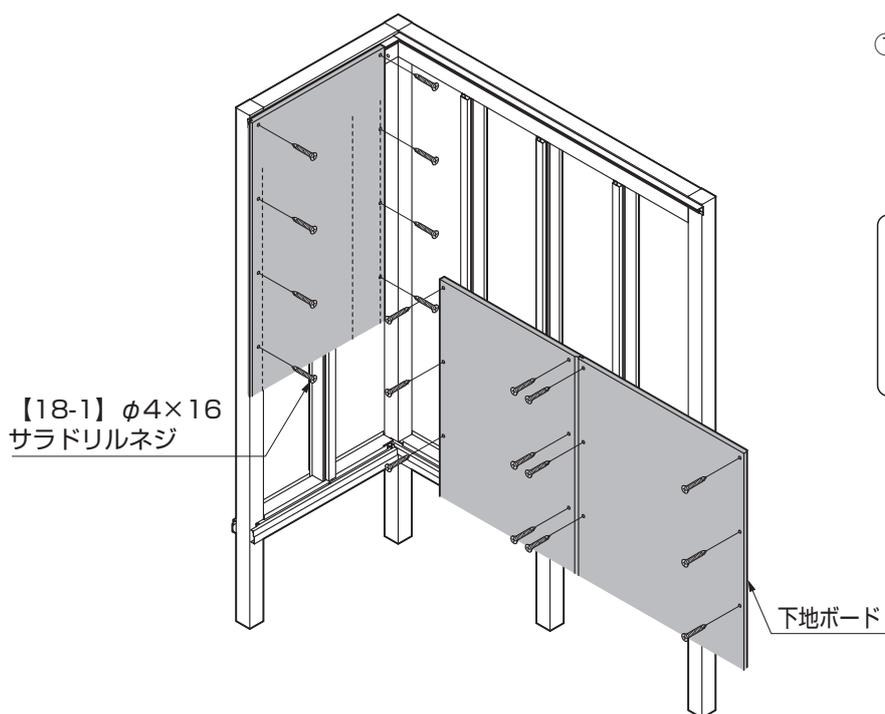


- ①下地ボードを巾木の上に載せ、端部ふかし材から2mm内側に合わせて、上部見切り材・端部ふかし材等に【18-1】で取付けてください。

ポイント

- 下地ボードをジョイントする時、隙間を1mmあけて取付けてください。

1-2 コーナー仕様の場合



- ①下地ボードを巾木の上に載せ、端部ふかし材から2mm内側に合わせて、上部見切り材・端部ふかし材等に【18-1】で取付けてください。

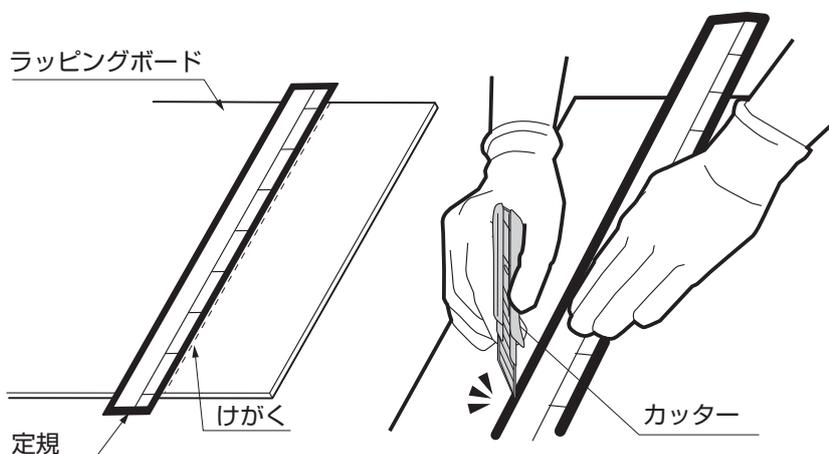
ポイント

- コーナー仕様の場合は、下地ボードの切断加工があります。下地ボードを取付ける部分の寸法を測り切断加工をしてください。

14 施工仕上げ：ラッピングボードの取付け

1. ラッピングボードの加工と取付け

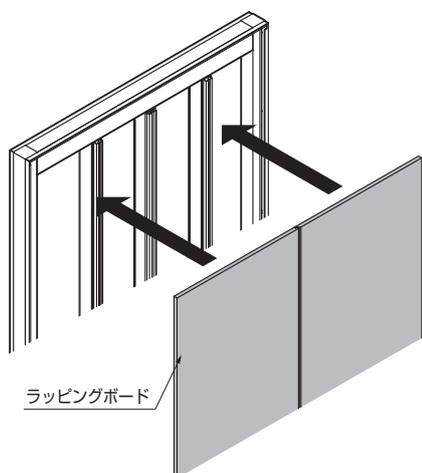
1-1 ラッピングボードの切断加工 ※タイル用下地ボードの切断も同様の作業になります。



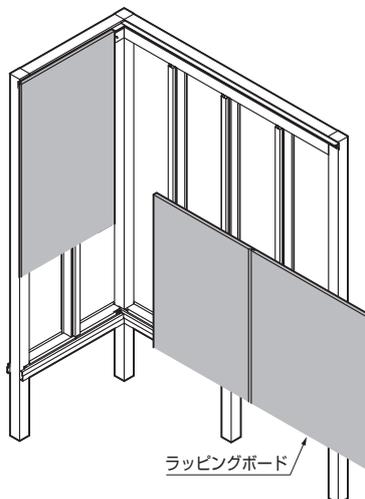
- ①ラッピングボードに切断する部分にケガキを入れます。
- ②ラッピングボードに定規を当てて、カッターで2～3回程度切込みを入れます。
- ③ラッピングボードを裏返して、再度カッターで切込みを入れてください。
- ④ラッピングボードの短い方を曲げて切断してください。

1-2 ラッピングボードの取付け

(1) 標準仕様

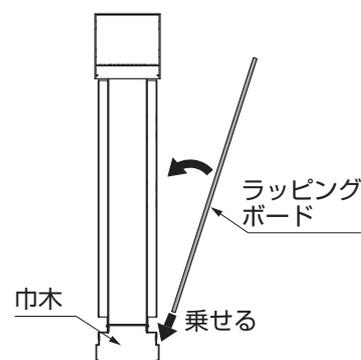


(2) L字コーナー仕様



ポイント

- ラッピングボードは巾木に乗せてから上に向かって貼ってください。



- ①両面テープのはく離紙を剥がしてください。
- ②ラッピングボードの下部を巾木に乗せます。
- ③ラッピングボードを端部見切り材の方へ寄せていきます。
- ④ラッピングボードを下側からゆっくりと立てながら貼付けていきます。

注意

- 両面テープを貼付け後は、汚れ・油分を取り除き、十分な力(5kg f/cm²)で圧着してください。
- ラッピングボードには養生シートが貼られています。施工が完了してから剥がしてください。

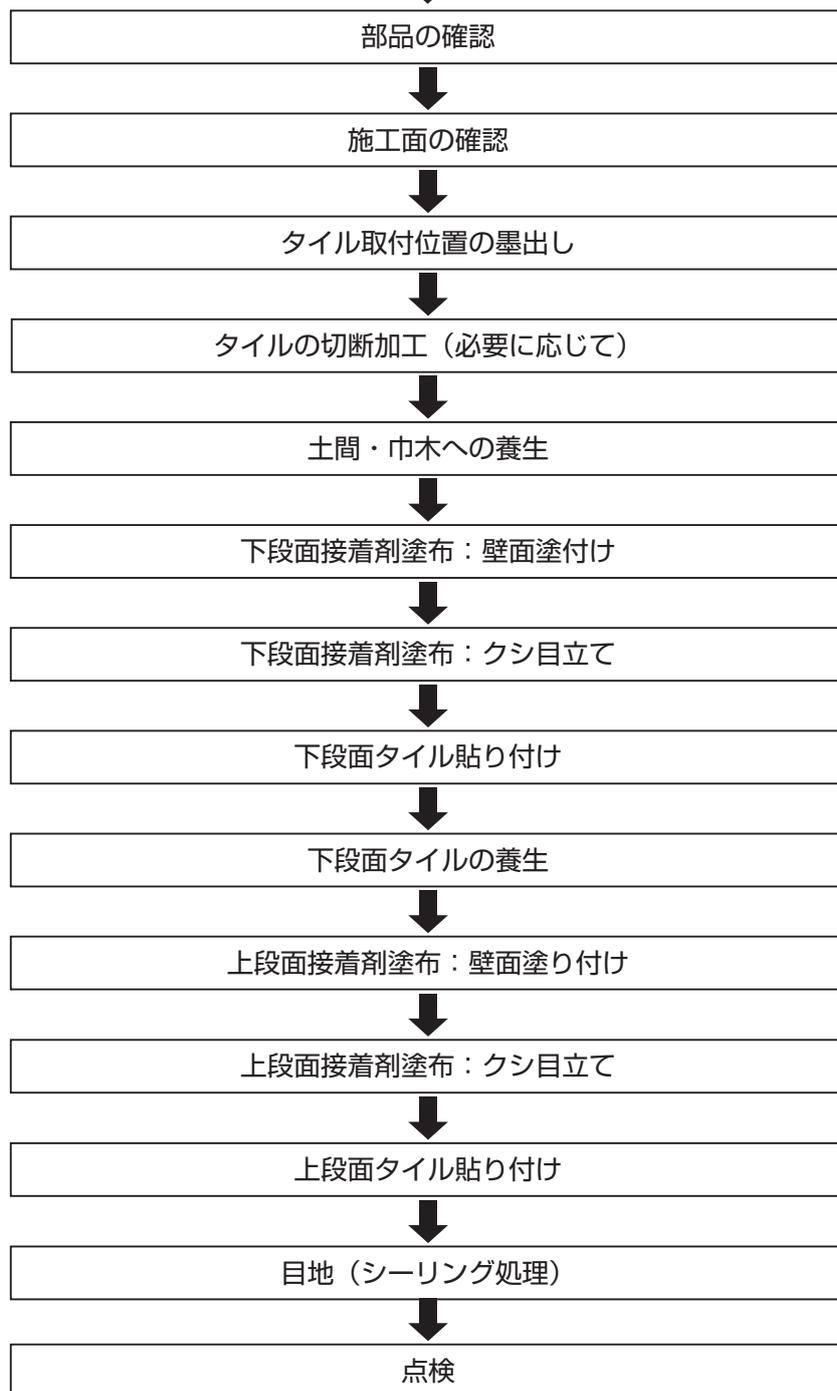
15 仕上げの施工：セラミックタイル仕上げ

1. 施工フロー

ポイント

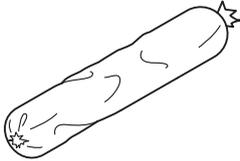
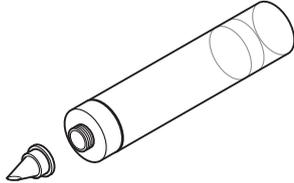
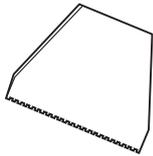
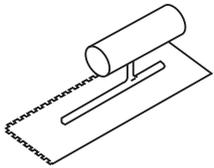
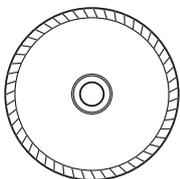
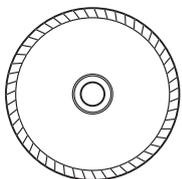
●仕上げ材は「はるかべタイル仕上げ」になります。以下の手順にしたがって仕上げを行なってください。

はるかべタイル仕上げ

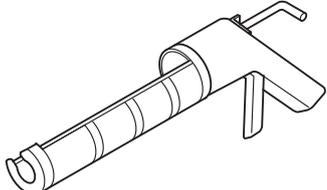
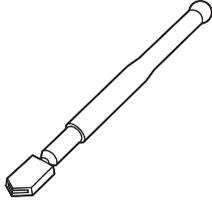
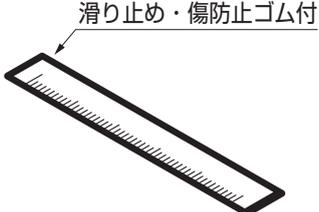
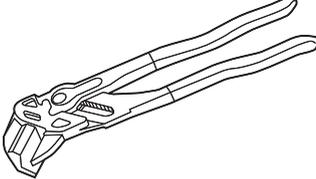
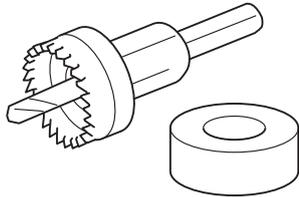
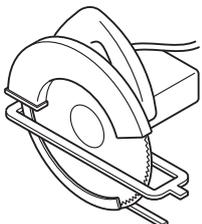
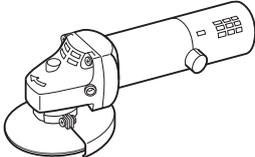


2. 施工部材の準備と施工面の確認（養生）

施工部材形状一覧

商品名	外装用弾性接着剤 (V1LT)	接着剤用アダプターノズルセット	3mmクシ目ヘラ
材質	変成シリコン系 1kgアルミパック	PE	PE
形状			
商品名	3mmクシ目コテ	タイル用切断刃 (105F)	タイル用切断刃 (105PT)
材質	ステンレス	直径：φ105	直径：φ105
形状			

現場手配工具（施工道具市販品）

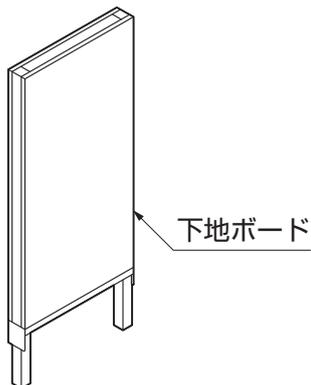
商品名	カートリッジガン	オイルガラスカッター	ミシンオイル
材質			
形状			
商品名	タイル用定規(L=1250)	ランニングプライヤー	ダイヤモンドコアドリル
材質			直径：12mm以上
形状			
商品名	丸のこ	グラインダー	
材質			
形状			

2. (つづき)

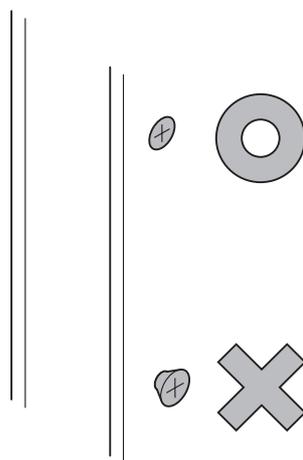
ポイント

●下地ボードが下記の条件になっているか確認してください。
確認できたら を入れてください。

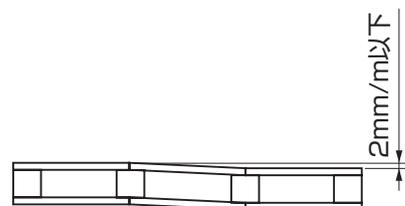
所定の下地ボードが取付いているか？



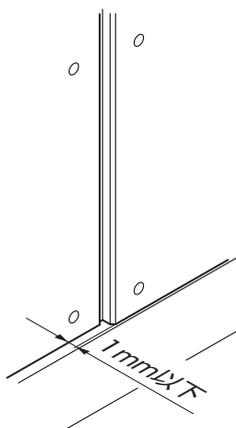
取付ネジ頭が突出していないか？



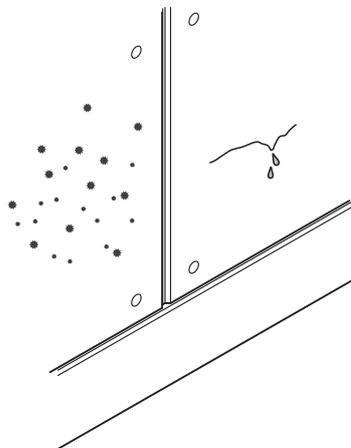
表面の不陸は2mm/m以下か？



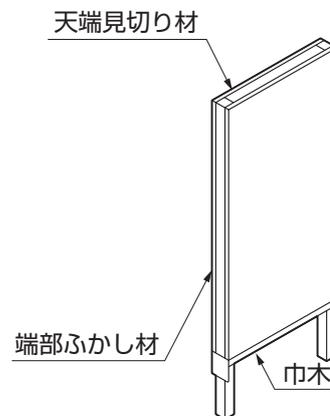
下地ボード間の段差は1mm以下か？



表面にゴミやホコリ、水濡れはないか？



取付け部品の施工が完了しているか？



3. タイル取付位置の墨出し ※図はW10になります。

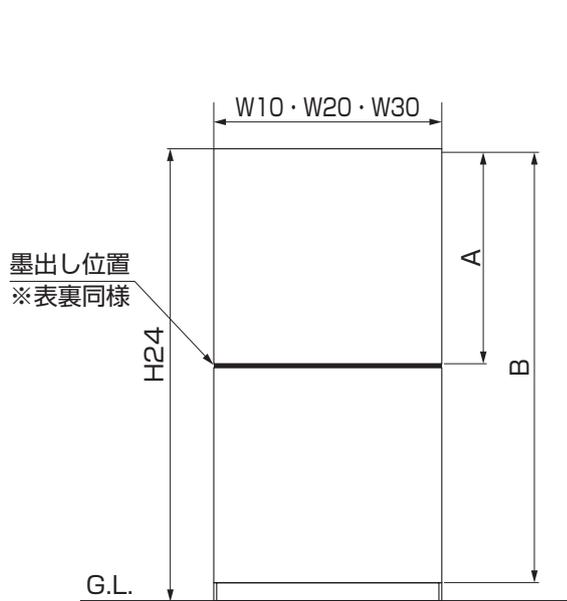


図3-1 H24

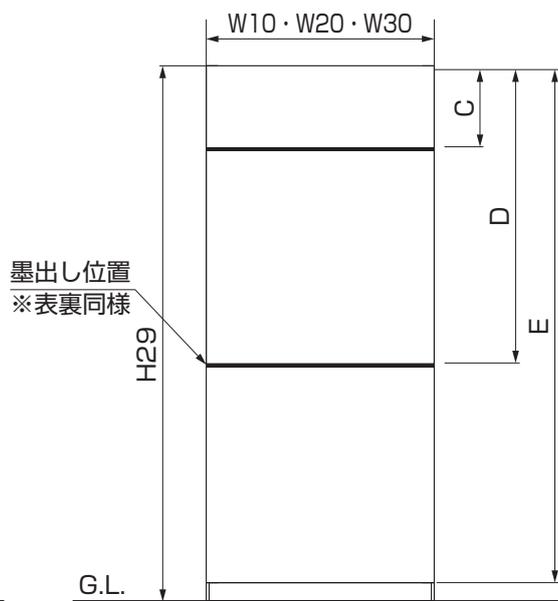


図3-2 H29

表3-1

	ユニット高さ	A	B
セラミックタイル	1200	1200	2405

表3-2

	ユニット高さ	C	D	E
セラミックタイル	1200	450	1655	2860

①下地ボードに墨出ししてください。

ポイント

- セラミックタイトルの目地幅は5mmです。
- W寸法は現場切断加工になります。
- W20は2分割・W30は3分割でタイルのサイズは均等にしてください。(P.24~25を参照)

4. タイルの切断と加工

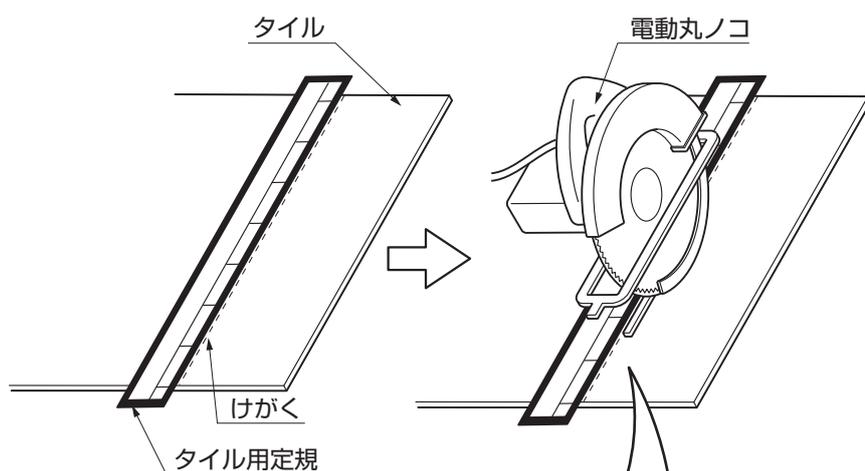
4-1 タイルの切断加工（電動丸ノコでセラミックタイルを切断する場合）

※加工が必要な場合の作業です。

⚠ 注意

- タイルの意匠面には柄目があります。左右に貼るタイルの柄目が合うように切断してください。
- タイルを切断する前に下記の点に注意してください。
 - ・タイルを切断する場合、セラミックタイルの取り回しができる場所を確保してください。セラミックタイルのサイズは1200角です。
 - ・平らで安定した加工台を準備してください。加工台が不安定だと、セラミックタイルを落として怪我をする原因になります。
 - ・雨で加工場所が濡れていたり、セラミックタイルや工具が濡れてる場合、怪我や加工ミスの原因になります。
 - ・セラミックタイルを加工するときの状況が強風の場合、風であおられると危険ですので加工は中止してください。
 - ・タイル切断の時使用する定規は、滑り止め付の厚手の定規を使用してください。

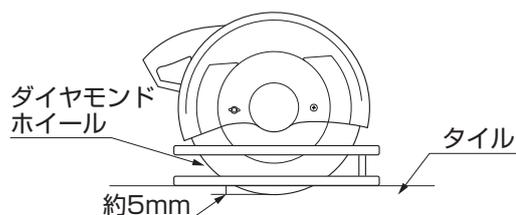
※タイル用切断刃（ダイヤモンドホイール）を電動丸ノコに装着する際は、タイル用切断刃（ダイヤモンドホイールまたは電動丸ノコの取扱説明書を参照してください。



- ①切断するセラミックタイルを平らな安定した加工台に載せます。
- ②切断する寸法（ケガキ線）出しをして、電動丸ノコで切断できるように、定規を固定してください。
- ③電動丸ノコにタイル用切断刃（ダイヤモンドホイール）を取付けてください。
- ④電動丸ノコの切り込み深さを調整してください。
- ⑤電動丸ノコをしっかり保持し、切断刃（ダイヤモンドホイール）の回転数が完全に上昇し安定したら、そのまま静かに前方へゆっくり進め、切り終わるまでこの状態を保ってください。

🔑 ポイント

- セラミックタイルを切断する時は、切り込みの深さを浅くして使用してください（約5mmくらい）。
- 切断刃（ダイヤモンドホイール）の切込みの深さが深かったり切断する速度が速い場合は、ピッチング（欠け）などが起きてしまいます。



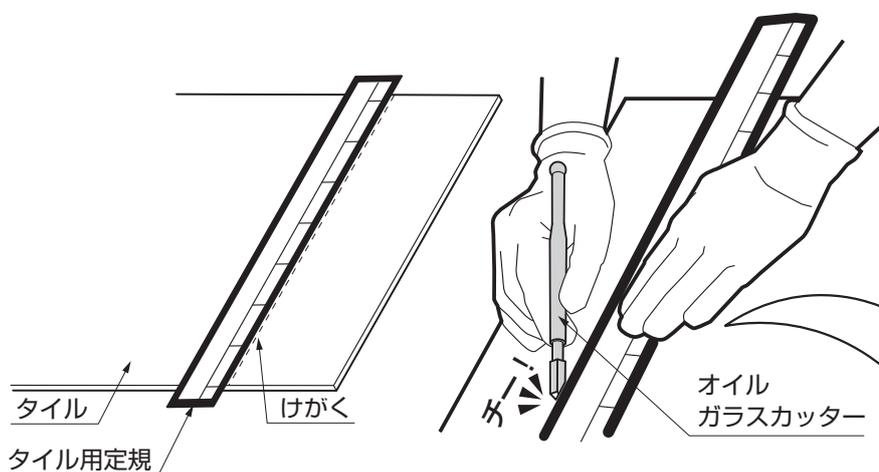
4. (つづき)

4-2 タイルの切断加工（オイルガラスカッターでセラミックタイルを切断する場合）

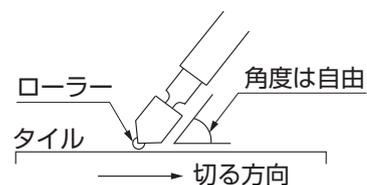
※加工が必要な場合の作業です。

⚠ 注意

- タイルの意匠面には柄目があります。左右に貼るタイルの柄目が合うように切断してください。
- タイルを切断する前に下記の点に注意してください。
 - ・タイルを切断する場合、セラミックタイルの取り回しができる場所を確保してください。セラミックタイルのサイズは1200角です。
 - ・平らで安定した加工台を準備してください。加工台が不安定だと、セラミックタイルを落として怪我をする原因になります。
 - ・雨で加工場所が濡れていたり、セラミックタイルや工具が濡れてる場合、怪我や加工ミスの原因になります。
 - ・セラミックタイルを加工するときの状況が強風の場合、風であおられると危険ですので加工は中止してください。
 - ・タイル切断の時使用する定規は、滑り止め付の厚手の定規を使用してください。



- ①タイルに切断用のけがきを入れます。
- ②カッター本体に市販のミシン油を注入しタイルを切断します。



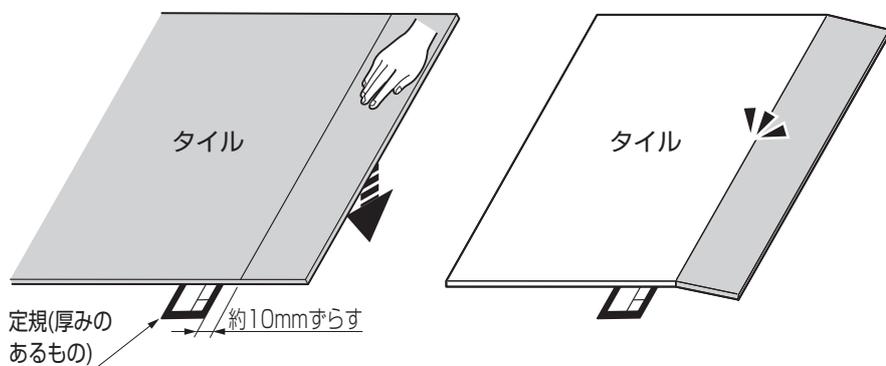
🔑 ポイント

- オイルガラスカッター使用には、付属の取扱い説明書をご確認ください。
- タイルにケガキ・切断線を入れる時にタイルに乗る場合にはタイルにキズが付かない用養生をしてタイルに乗って作業をしてください。
- タイルカッターで切断線の入れ方が浅い（「チー」音が小さい）などの場合、タイルがきれいに割れない場合があります。

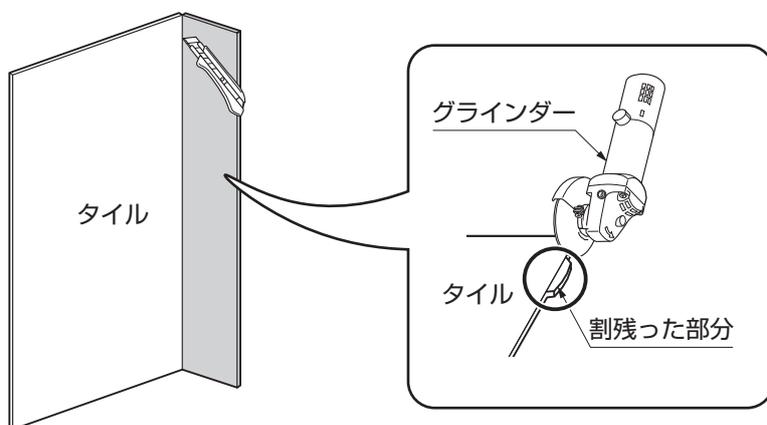
- 厚手の定規を当てがい、手前に寝かせ軽く力を加えその角度を維持しながらゆっくりとタイル表面に切断線入れて切ってください。正しく切れている場合は、「チー」という音がして連続したきれいな切断線が付きます。

4. (つづき)

4-3 タイルの切断加工 ※加工が必要な場合の作業です。



- ①切断線を入れたら、タイルの裏側に定規を敷き、切断線の中心から約10mmずらした位置に定規を合わせ、片手で押さえ反対側を上から押さえて割ってください。(テコの原理)

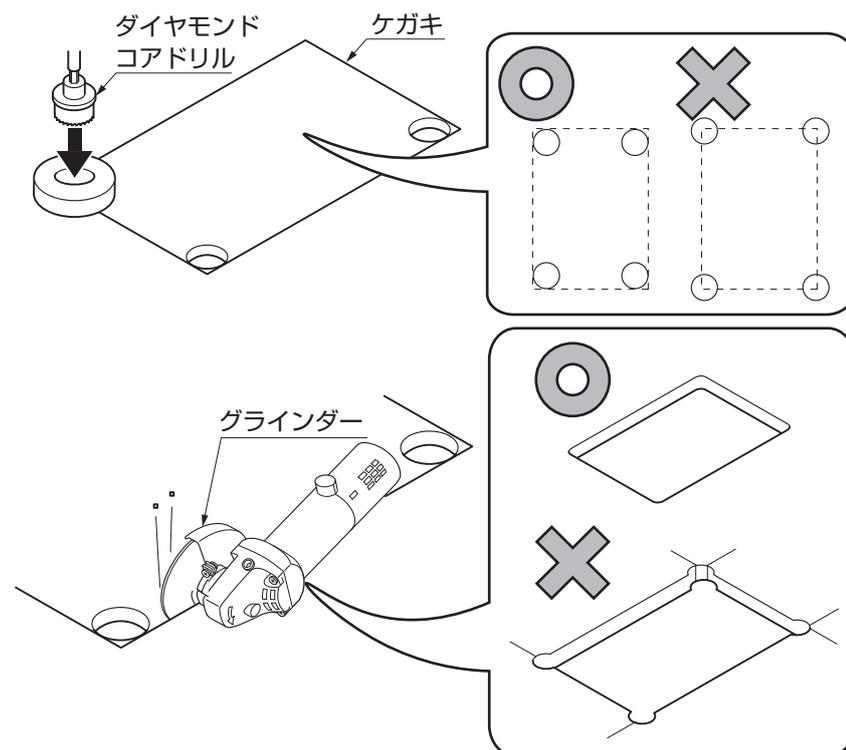


- ②割った後ガラス繊維が残っている場合はカッターなどで切ってください。

ポイント

- タイルの規格寸法は1200角あるため、タイルを割る際は2人で作業を行ってください。

4-4 タイルの切欠き加工 ※切欠き加工が必要な場合の作業です。



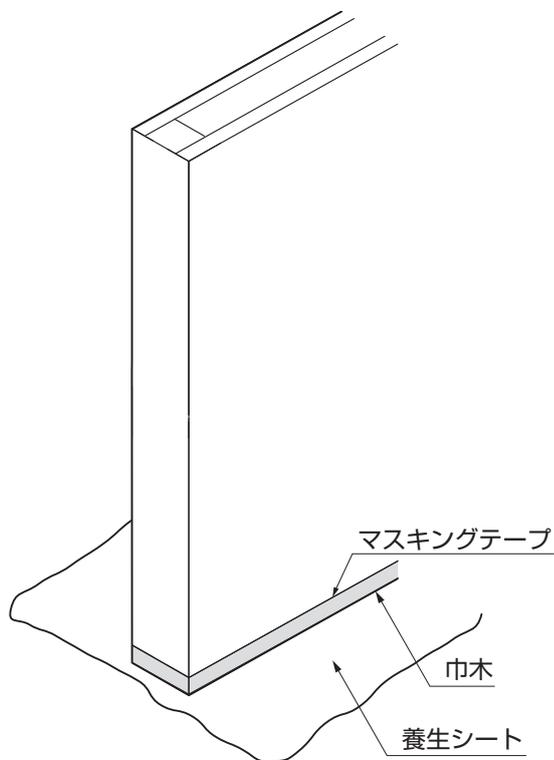
- ①タイルに切り欠きする部分にケガキをします。
- ②ケガキをした角部分にダイヤモンドコアドリルで穴をあけます。

ポイント

- ドリルの径は12mm以上を使用してください。径が小さいとタイルが破損する場合があります。
- ダイヤモンドコアドリルを使用する場合は、付属の取扱説明書を読んで使用してください。

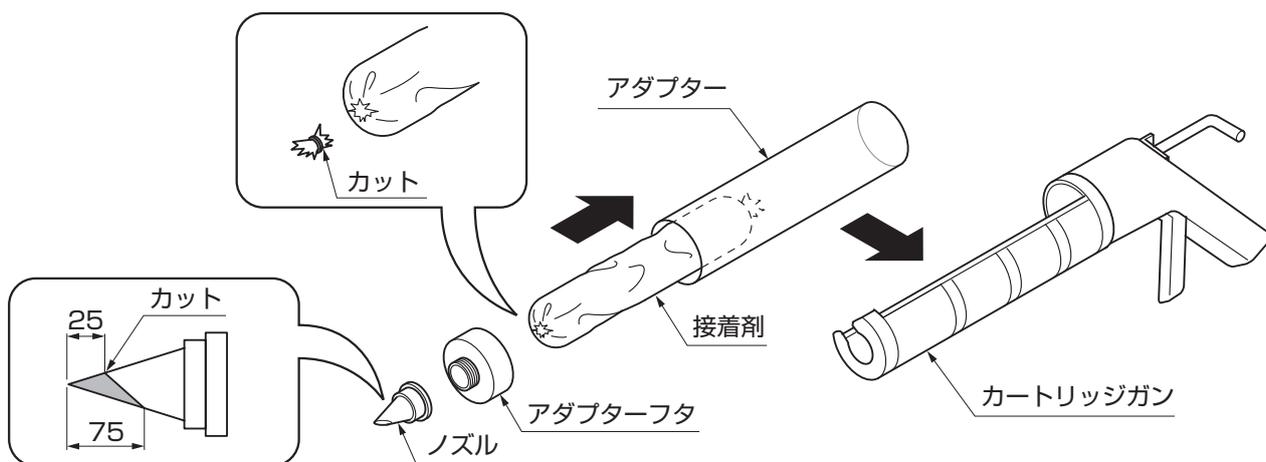
- ③グラインダーでけがき線に合わせて、タイルを切断してください。

5. 土間・巾木への養生



- ①巾木に接着剤が付かないようにマスキングテープなどで養生してください。
- ②土間に接着剤が付かないように養生シートを広げて作業してください。

6. カートリッジガンの準備



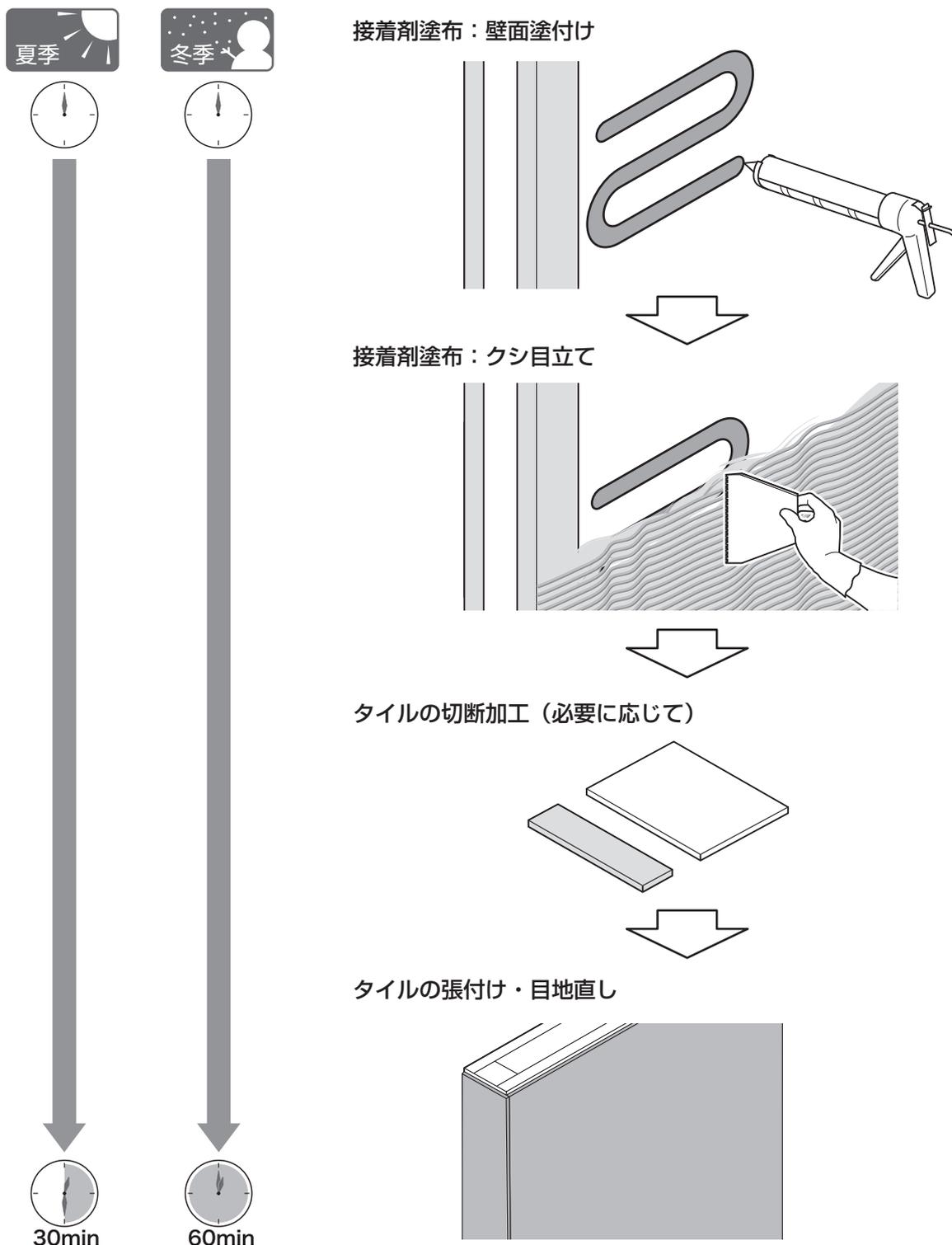
- ①ノズルの先端をカットしてください。(上記寸法は目安です。)
- ②接着剤の先端をカットして、アダプターに挿入し、アダプターフタとノズルをはめてください。
- ③アダプターをカートリッジガンに取付けてください。

7. セラミックタイルの取付け ※セラミックタイルの目地は5mmとしてください。

7-1 接着剤塗布～タイル張付け・目地直しまでの作業時間

ポイント

- 接着剤を塗布してからタイルの張付け・目地直しまでの作業は下記の時間内に行なってください。
- 作業時間は、環境条件により変動する場合があります。
- 冬季の作業は5℃以上で行なうようにしてください。5℃を下回る環境では接着剤の硬化が遅くなります。



7. (つづき)

7-2 接着剤塗布

⚠ 注意

- 作業時には、手袋・長袖等を着用して皮膚を保護してください。
- ※本接着剤は体質によっては、まれにかぶれる場合があります。

🔑 ポイント

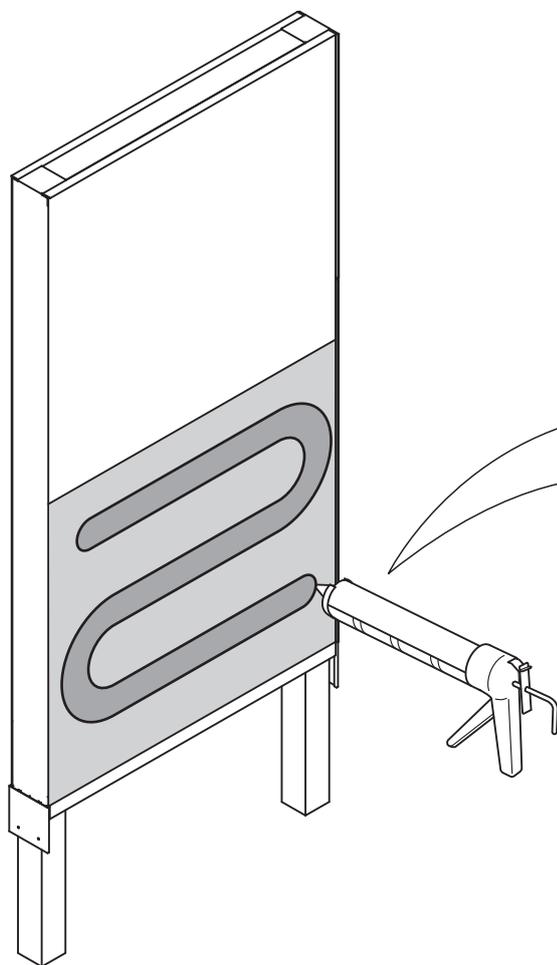
- 接着剤塗布からタイルを張付け終えるまでの時間が、指定の作業時間内に納まるよう接着剤塗布の範囲を区切りながら作業を行なってください。



30min



60min

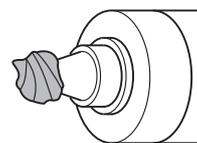


①接着剤を下地ボードに塗布してください。

🔑 ポイント

- ビード状に塗布してください。
・使用量目安:0.75㎡/本(1.5kg/㎡)
- ノズルの開口面を壁面に密着させながら接着剤を塗布してください。

✎ 補足



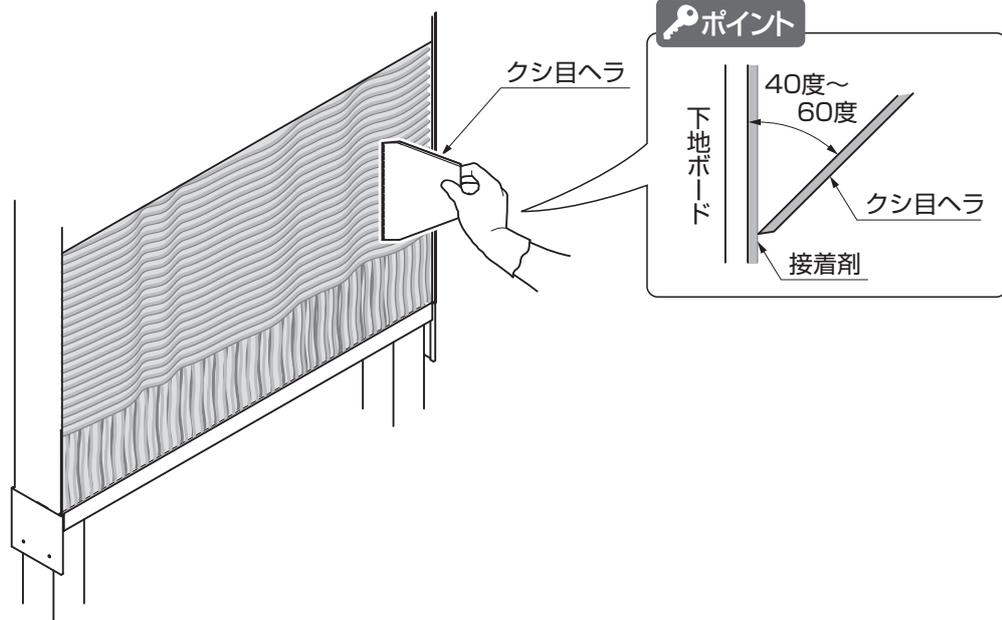
- 作業を中断する場合、ノズル先端の接着剤をふき取り、ビニールテープなどで覆ってください。

7. (つづき)

7-3 クシ目立て

ポイント

- 他部材に接着剤が付着した場合、すぐにふき取ってください。
- クシ目はかならず3mmのクシ目ヘラを使用してください。
3mm以上のクシ目を立てると、接着剤の量が多くなり接着不良の原因となります。

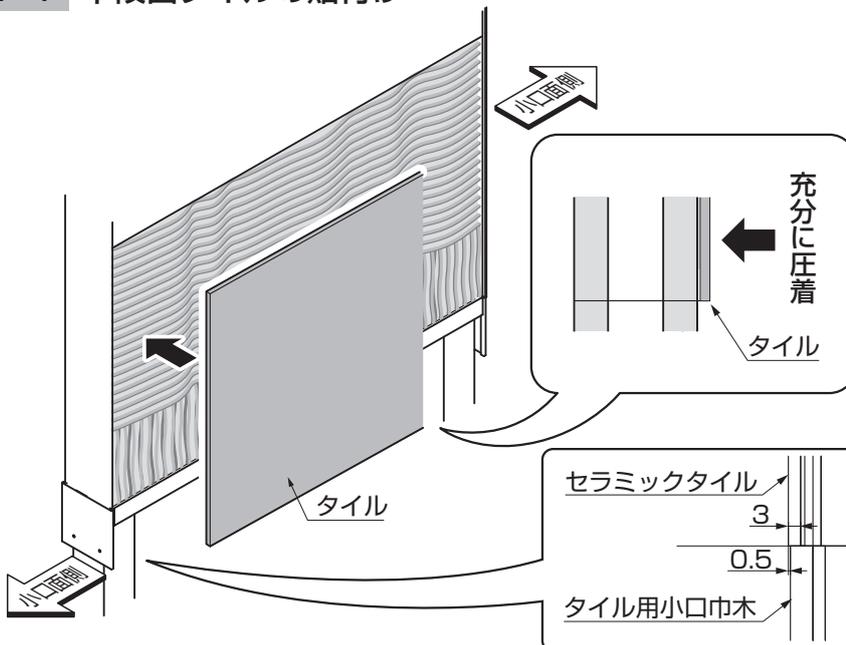


- ①クシ目ヘラ (またはクシ目コテ) を使用し、接着剤面をかき取るようにしてクシ目を立ててください。

ポイント

- かき取りはヘラを40度～60度程度に傾けて、下地が透けない程度にかき取ってください。

7-4 下段面タイルの貼付け



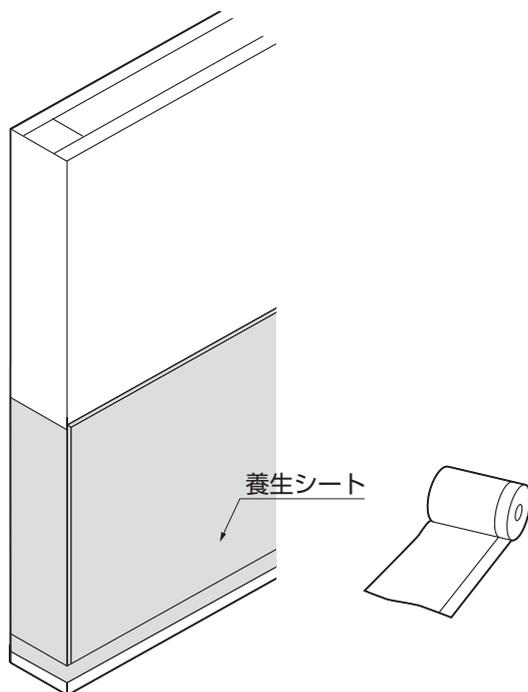
- ①セラミックタイルを巾木に乗せ、小口面の位置を合わせてから十分な力で圧着していきます。

ポイント

- タイル目地部から接着剤がはみ出す場合は、接着剤の塗りすぎであるため再度クシ目ヘラ (コテ) でかき取ってください。
- 下地ボードの面取部にも接着剤を十分に充填してください。
- やむを得ずタイル張りを中断する場合は、接着剤を塗布した範囲を張り終えてから中断してください。

- ②小口タイルを貼る場合、タイル用小口巾木の小口面が見えないように0.5mm程タイル用小口巾木より出してタイルを貼ってください。

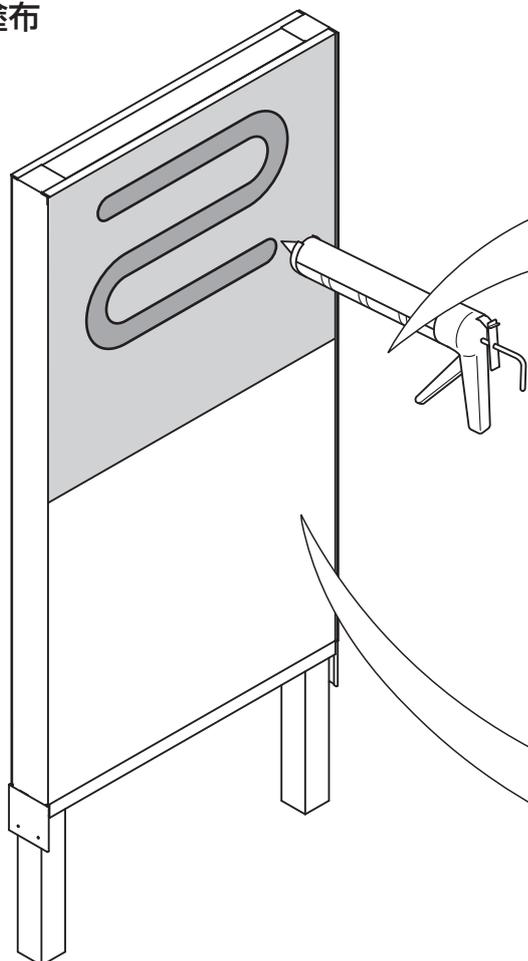
8. 下段タイルの養生



- ①下段タイルを貼り終わったら、養生シートを広げてタイルの目地から下に貼り付けてください。

9. 上段タイルの張付け

9-1 接着剤塗布

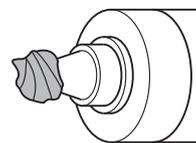


- ①下段のタイルの養生が完了したら、下段と同じ手順で上段のタイルを貼り付けてください。

ポイント

- ビード状に塗布してください。
・使用量目安:0.75㎡/本(1.5kg/㎡)
- ノズルの開口面を壁面に密着させながら接着剤を塗布してください。

補足



- 作業を中断する場合、ノズル先端の接着剤をふき取り、ビニールテープなどで覆ってください。

ポイント

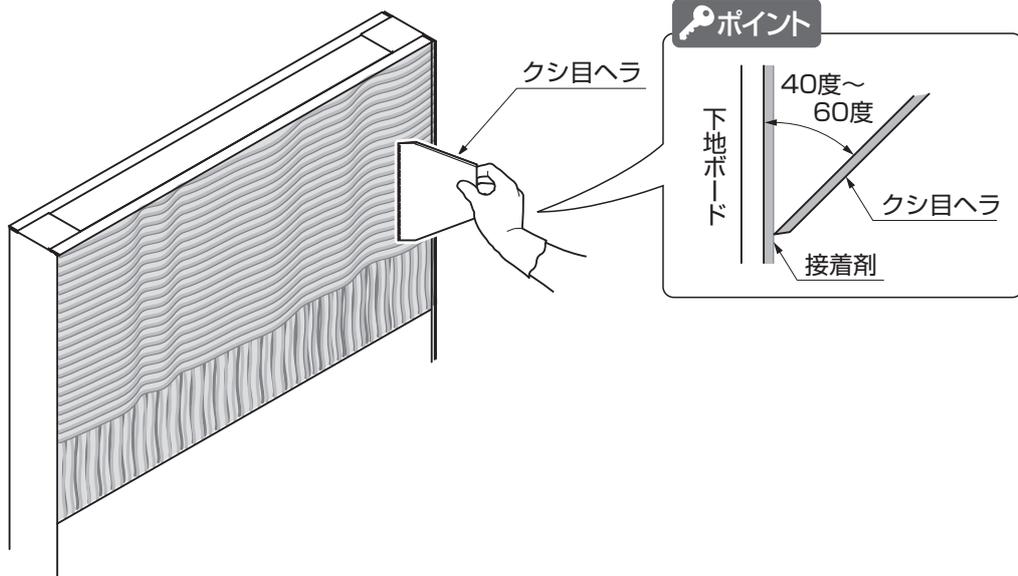
- 上段と下段のタイルの間隔は5mmあるため、上段のタイルを貼る時は5mmの目地棒があると目地を取りやすくなります。

9. (つづき)

9-2 クシ目立て

ポイント

- 他部材に接着剤が付着した場合、すぐにふき取ってください。
- クシ目はかならず3mmのクシ目ヘラを使用してください。
3mm以上のクシ目を立てると、接着剤の量が多くなり接着不良の原因となります。

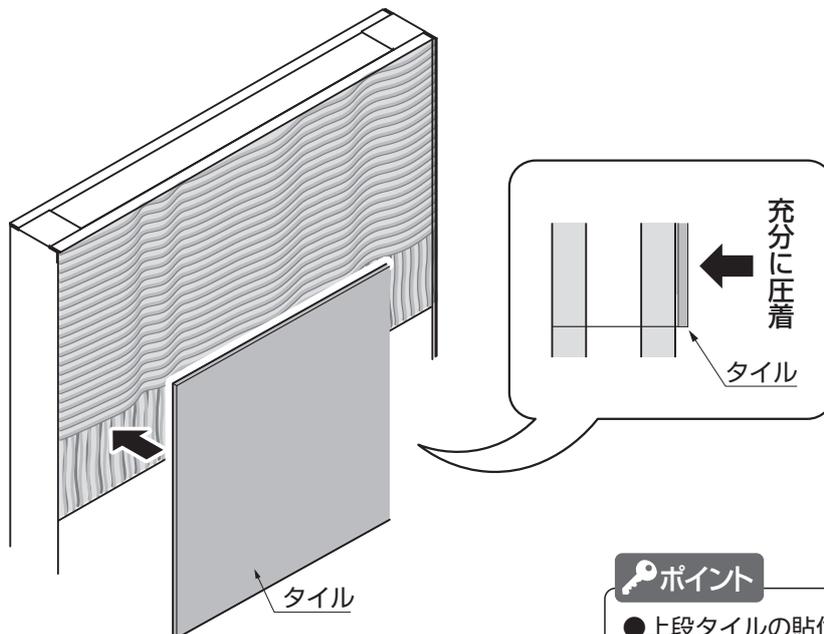


①クシ目ヘラ（またはクシ目コテ）を使用し、接着剤面をかき取るようにしてクシ目を立ててください。

ポイント

- かき取りはヘラを40度～60度程度に傾けて、下地が透けない程度にかき取ってください。

9-3 上段面タイルの貼付け



①下段に貼ったセラミックタイルの上に5mmのスペーサーを置き、上段にセラミックタイルを十分な力で圧着して貼ってください。

ポイント

- タイル目地部から接着剤がはみ出す場合は、接着剤の塗りすぎであるため再度クシ目ヘラ（コテ）でかき取ってください。
- 下地ボードの面取部にも接着剤を十分に充填してください。
- やむを得ずタイル張りを中断する場合は、接着剤を塗布した範囲を張り終えてから中断してください。

②前側のセラミックタイルを貼り終えたら、後側、小口側のセラミックタイルを貼ってください。

ポイント

- 上段タイルの貼付けが完了したら、下段タイルと同様に養生を行なってください。

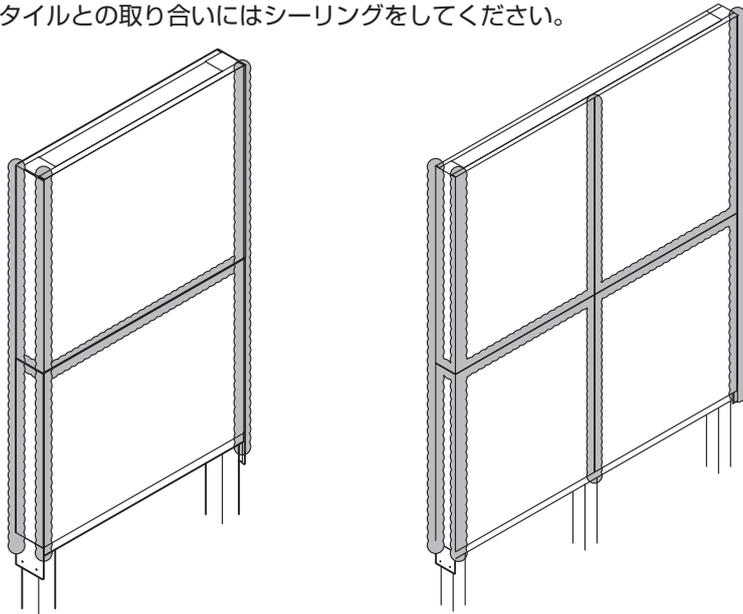
10. セラミックタイルの目地詰め・シーリング・仕上げ作業

ポイント

●接着剤・目地材が硬化後に、仕上がりの点検を行なってください。

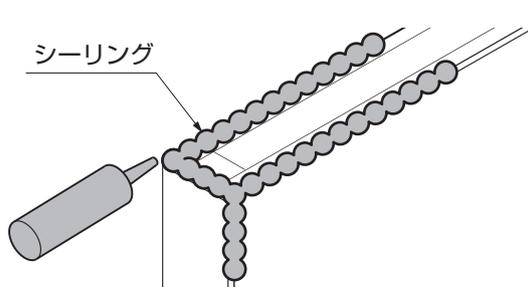
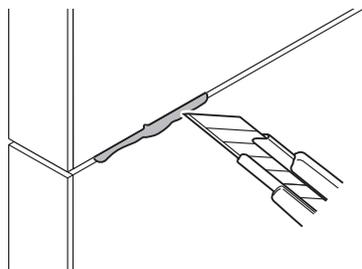
●セラミックタイルの目地に目地詰め、シーリングする

※スマート宅配ポストやボックスセットKN・インターホンなど、セラミックタイルとの取り合いにはシーリングをしてください。

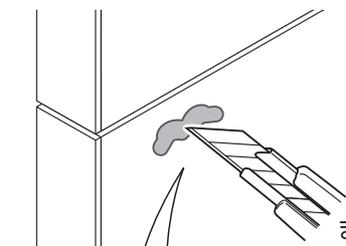


●タイル目地部からの接着剤のはみ出しを除去する

●必要箇所にシーリングする



●表面に付着した接着剤を除去する



砂消しゴム



または

取れない場合は…



溶剤
(アセトン・シンナー)

ポイント

●表面をキズ付けないようにしてください。

ポイント

●ウエスなどで乾拭きしてください。

ポイント

●他部材に使用する際は、事前に変色・変質確認をしてください。
●溶剤の取扱いには十分に注意してください。

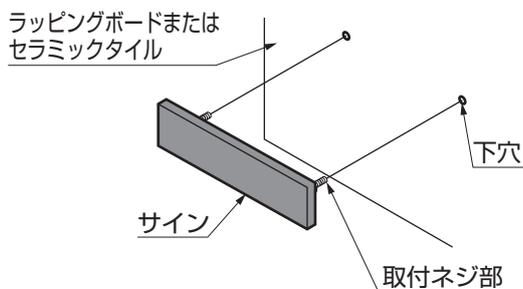
16 サイン取付け

1. サイン取付け時の確認事項

ポイント

- サインには「施工時に取付けが必要なサイン」と「施工後でも取付け可能なサイン」があります。
 - ・施工時に取付けが必要なサインM4またはM6ボルト仕様場合：サイン下地（サイン取付ベース）と接着剤（スーパーX）を使用します。
 - ・施工後でも取付け可能なサインの場合：ターンナット（M4またはM6）またはノーブルアンカーを使用します。
- 施工時はサインの取付説明書を参照してください。
- 施工時にサインを取付ける位置は、サイン下地（サイン取付ベース）を取付けた位置に取付けてください。
- サインを取付ける前にラッピングボードの養生シートを必ずはがしてください。
- セラミックタイルにサインを取付ける下穴をあける時、振動ドリルの回転数を最初から上げないで下穴をあけてください。最初から回転数を上げて下穴をあけるとタイルが欠けたり、割れる恐れがあります。

2. 施工時に取付けが必要なサインの場合 ※図は2点止めの場合を示します。



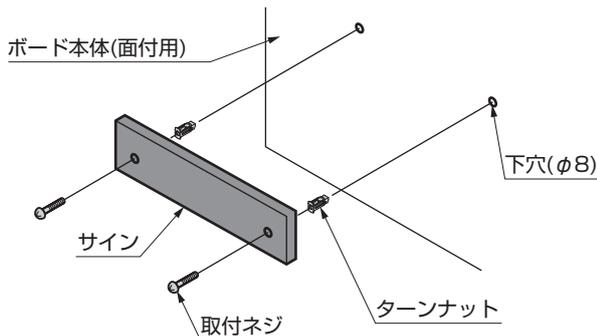
※施工時に取付けが必要なサインの場合は、P.60に記載しているサイン取付ベースを下地材に先に取付けてください。

- ① サインを取付ける位置（寸法）を確認してください。
- ② 下穴をボードまたはタイルにあけてください。
- ③ サインをボードまたはタイルに取付けてください。

	M4ネジ	M6ネジ
下穴径	φ5	φ8

3. 施工後に取付け可能なサインの場合 ※図は2点止めの場合を示します。

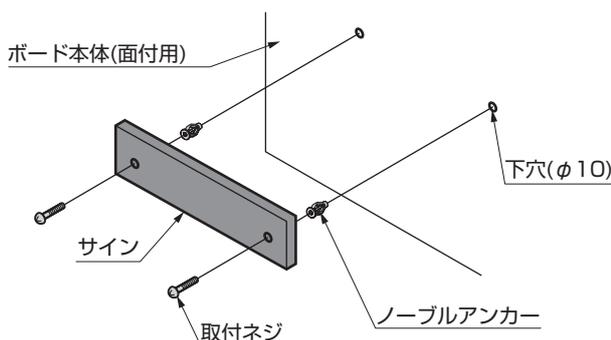
(1) ラッピングボード仕様の場合



- ① サインを取付ける位置（寸法）を確認してください。
- ② 下穴をボードまたはタイルにあけてください。
- ③ サインをボードまたはタイルに取付けてください。

	M4 ターンナット	M6 ターンナット
下穴径	φ8	φ10

(2) セラミックタイル仕様の場合

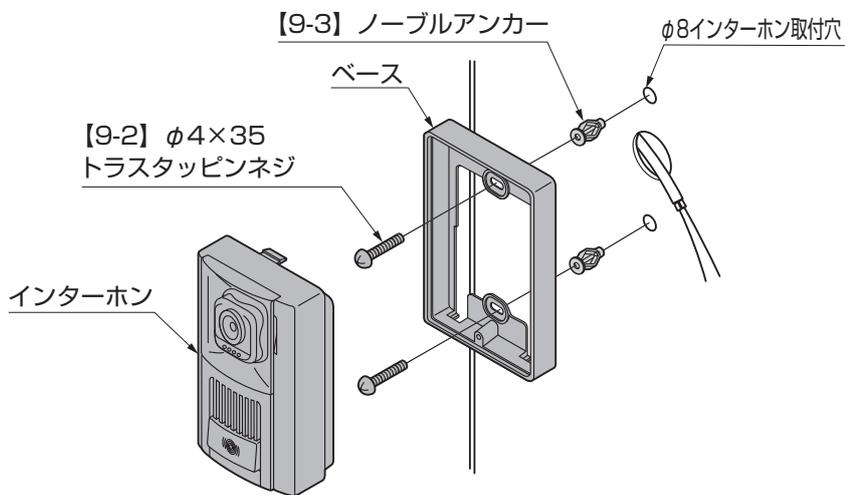


- ① サインを取付ける位置（寸法）を確認してください。
- ② 下穴をボードまたはタイルにあけてください。
- ③ サインをボードまたはタイルに取付けてください。

	M4 ノーブルアンカー
下穴径	φ10

17 インターホンと照明器具の取付け

1-1 インターホンの取付け ※本図は後付けの場合を示します。



ポイント

- インターホンを取付ける前に、必ずボード本体の養生シートをはがしてください。
- インターホンの取付けは、インターホンの取付説明書を参照してください。
- インターホンの電源線は、Gウォールを仕上げる前に仕上げ材に穴をあけて出しておいてください。

- ① φ8インターホン取付穴に [9-3] ノーブルアンカーを差し込んでください。
- ② インターホンを [9-2] φ4×35トラストピンネジで取付けてください。

ポイント

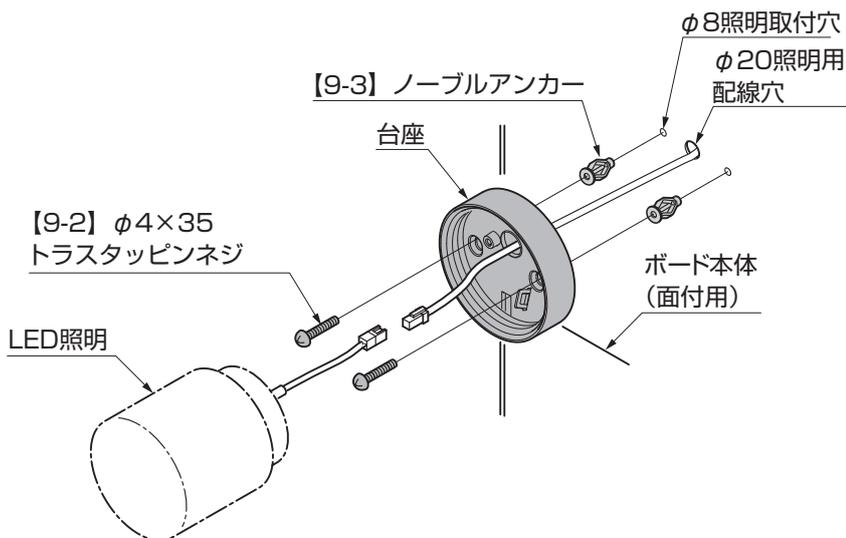
- 照明器具を取付ける前に、必ずボード本体の養生シートをはがしてください。
- 照明器具の組立てや結線方法は照明器具に付属している取付説明書を参照してください。

- ① φ8照明取付穴に [9-3] ノーブルアンカーを差し込んでください。
- ② 照明器具を [9-2] φ4×35トラストピンネジで取付けてください。

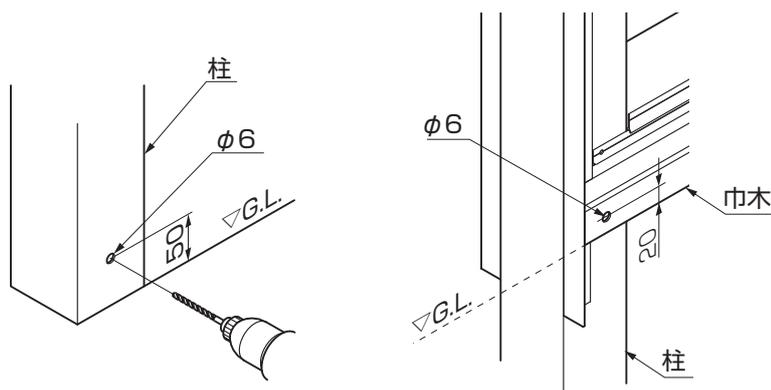
ポイント

- 取付け方法は照明器具の取付説明書を参照してください。
- 照明器具の電源線は、Gウォールを仕上げる前に仕上げ材に穴をあけて出しておいてください。

1-2 照明器具の取付け



18 水抜き穴の加工



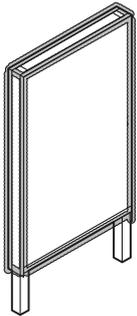
- ① 柱にφ6の水抜き穴をあけてください。
- ② 巾木へφ6の水抜き穴をあけてください。

19 シーリング

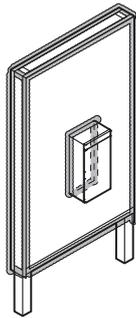
ポイント

●下記の場所を確認し、シーリングを行なってください。

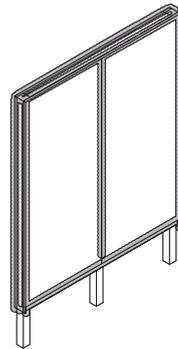
●見切り材とラッピングボードとの取り合い



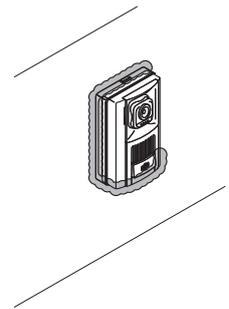
●スマート宅配ポストやボックスセットKNとラッピングボードとの取り合い



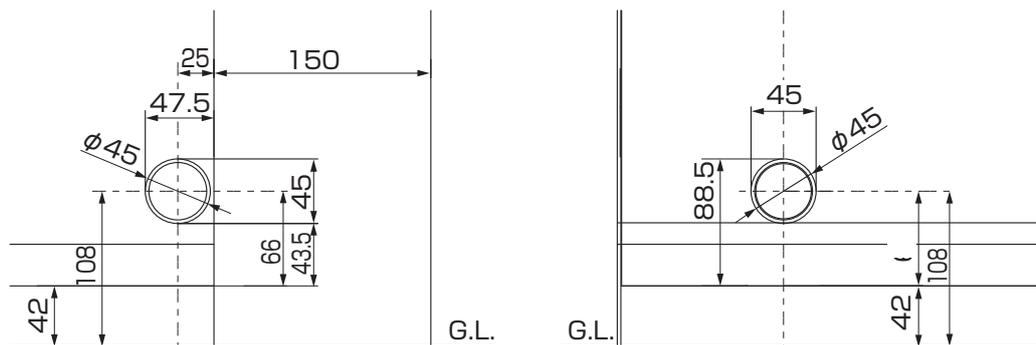
●ラッピングボードジョイント部分



●インターホンや照明

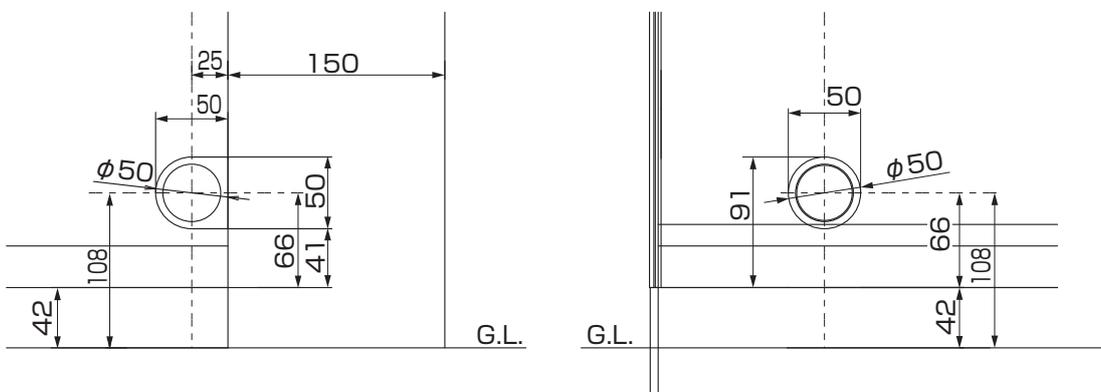


●化粧樋（外側排水）した場合の切り欠き部分（ラッピングボードの納まりの場合）



- ① 樋の納まり位置を確認後、寸法を測りラッピングボードに穴あけの寸法をケガいでください。
- ② ラッピングボードにφ45の穴あけを行ない、樋とラッピングボードの隙間にシーリングを行なってください。

●化粧樋（外側排水）した場合の切り欠き部分（セラミックタイルの納まりの場合）



- ① 樋の納まり位置を確認後、寸法を測り下地ボード、セラミックタイルに穴あけや切り欠きの寸法をケガいでください。
- ② 下地ボードにφ45の穴あけ、タイルにφ50の穴あけを行ない、タイルに穴があけられない場合はタイルを切り欠いてください。
- ③ 樋とセラミックタイルの隙間にシーリングを行ってください。

取説コード
EXM-017
JZZ637536C
202101_1049
202503C_1049